

令和4年度

第29回恩納村学力向上推進実践報告会 ～学びを確かめ・つなぐ集い～

【推進目標】

幼児児童生徒一人一人に夢や希望を持たせるとともに、確かな学力を身につけさせ、生きる力を育む

— 学校・家庭・地域の連携を通して —



▲計画的な家庭学習（うんな中：スケジュール帳の活用）



恩納村民憲章

【青と緑の豊かな活力のある村】

私たちは、天然の美を誇る恩納村民であることに生きがいと責任をもち、平和で明るく豊かな美しい村を築くために、みんなが力を合わせて実践する道しるべとして、ここに村民憲章を定めます。

《私たちは》

- 1 自然を愛し、自ら美しい村をつくります。
 - ① 花・みどりを大切に育てる村民
 - ② 生きものを大切にする村民
 - ③ 身のまわりや村を清潔にする村民
- 1 人間を尊び、愛情豊かな村をつくります。
 - ① あいさつを交わしあう村民
 - ② 温かい心で交わる村民
 - ③ 敬老心のある村民
- 1 きまりを守り、明るく村をつくります。
 - ① 時間を守る村民
 - ② 他人に迷惑をかけない村民
 - ③ 公共物を大切にする村民
- 1 伸びゆく力を育て、活力ある村をつくります。
 - ① 青少年に一声かけあう村民
 - ② 積極性のある村民
 - ③ 教育を身につける村民
- 1 心と体をきたえ、健康な村をつくります。
 - ① スポーツに親しむ村民
 - ② 家庭を楽しくする村民
 - ③ 働く喜びをもつ村民

昭和 63 年 4 月 1 日制定

あいさつ

今年度もコロナ禍の影響を大きく受け、恩納村学力向上推進の諸活動が困難を極めました。そのような中でも、学校、地域や保護者の皆様の積極的な活動により、子どもたちの成長に大きく寄与して頂きました。改めまして関係者の皆様に敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、コロナ禍が続く中でも学習指導要領のもと教育現場では、「社会に開かれた教育課程」を重点に、知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を育成する中で「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに幼児児童生徒の資質、能力、学びに向かう力を育む事や人間性の涵養が求められています。

本村の児童生徒の学習成果に目を向けますと、諸調査の結果から、学力面において小学校・中学校ともに一定の成果をあげており、教職員においては、日々子どもたちの成長を願い、研修等を通して子どもたちの課題解決に向けて更に取り組んでおります。今年度からは、学校と家庭の課題である「計画的な家庭学習の推進」に取り組んでいくことになりました。

また、本村では、令和2年度に恩納村立うんな中学校が開校し、今年度は、喜瀬武原小学校が休校となり、一中、四小、四幼稚園の新しい体制となりました。それぞれの幼稚園、学校では、家庭・地域との連携を強化した魅力のある幼稚園、学校となるようその支援のための施策も進めているところです。その中でも特に、恩納村教育委員会では、文部科学省が推進しております「GIGA スクール構想」にいち早く取り組み、児童生徒一人一人に携帯端末となるパソコンを配備し、「分かる授業の実践」や家庭でのGIGA 端末の活用を推進しております。恩納村学力向上推進委員会としては、本村の幼児児童生徒の教育課題の解決を図るために、学力向上推進の重点を「授業改善」におき、RPDCA のマネジメントサイクルを機能させ、全校体制で「確かな学力の定着」を図ることを目指しています。具体的には、「地域人材の活用推進」、「家庭教育 10 の凡事徹底」、「恩納村学実践 7 項目・授業実践 7 項目」の設定、「教科等の指定研究」を行っております。今後も地域・家庭・学校の連携を通して子どもたちの成長につながる施策を展開して参ります。

結びになりますが、この「恩納村学力向上推進実践報告書」による取組の共有が、子どもたちの将来に夢や希望をもたらす取組につながり、課題の解決・改善となり、成果が得られますことを期待し、併せて関係者の皆さまのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、あいさつとします。

恩納村学力向上推進委員会
委員長 當 山 欽 也

目

次

第29回 令和4年度 恩納村学力向上対策推進実践報告会

(1) 安富祖幼稚園・安富祖小学校	1
(2) 恩納幼稚園・恩納小学校	7
(3) 仲泊幼稚園・仲泊小学校	14
(4) 山田幼稚園・山田小学校	23
(5) うんな中学校	33

令和4年度 恩納村教育の日 被表彰者（学校推薦者）一覧	38
-----------------------------	----

I 恩納村学力向上推進要項及び事業年間活動報告

1 恩納村学力向上推進要項	39
2 恩納村学力向上推進事業年間活動報告	48
3 恩納村教育委員会教科等指定研究報告	
(1) うんな中学校	52

II 恩納村学力向上対策専門部会活動報告

1 学校教育推進部会〈各幼稚園及び小中学校の実践報告〉	
(1) 安富祖幼稚園	66
安富祖小学校	69
(2) 恩納幼稚園	84
恩納幼小学校	87
(3) 仲泊幼稚園	100
仲泊幼小学校	105
(4) 山田幼稚園	118
山田小学校	121

2 家庭・地域教育部会（各地域の実践報告）

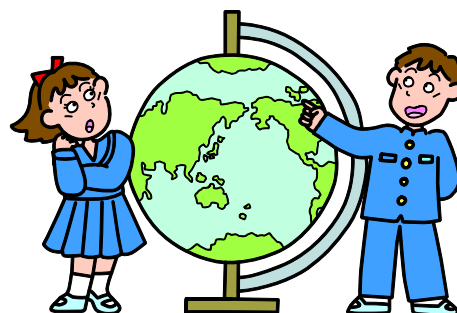
（1）喜瀬武原地区支部	136
（2）安富祖地区支部	139
（3）太田地区支部	142
（4）恩納地区支部	144
（5）塩屋地区支部	148

3 諸検査・調査の結果

（1）全国学力・学習状況調査	150
（2）沖縄県学習到達度調査の結果	152
（3）学びの確かめ 結果	153
（4）学校図書館、読書活動の実態調査	154
（5）児童生徒質問紙	156
（6）恩納村学推実践7項目の評価	162
（7）問題行動等及び長期欠席者等に関する実態	170
（8）泳力調査	171

Ⅲ 各学校の教育活動の実績

1 安富祖小学校	172
2 恩納小学校	174
3 仲泊小学校	175
4 山田小学校	176
5 うんな中学校	178



第29回 令和4年度 恩納村学力向上対策推進実践報告会

- (1) 安富祖幼稚園・安富祖小学校
- (2) 恩納幼稚園・恩納小学校
- (3) 仲泊幼稚園・仲泊小学校
- (4) 山田幼稚園・山田小学校
- (5) うんな中学校

令和4年度 恩納村教育の日 被表彰者（学校推薦者）一覧



令和4年度 学力向上推進実践報告会実施要領

恩納村立安富祖幼稚園・安富祖小学校

1. 趣旨

本校の今年度の学力向上推進の実践報告を行い、成果と課題を明らかにし、課題に対しては、取組改善を学校、地域、家庭で取り組むことで、幼児児童生徒一人一人に夢や希望を持たせるとともに、確かな学力を身につけさせ、生きる力を育む。

2. 日 時 : 令和4年12月4日(日) 10:05～10:35 (30分間)

3. 場 所 : 本校体育館

4. 参加者

- (1) 保護者
- (2) 恩納村教育委員会
- (3) 学校運営協議会運営委員

5. 報告内容 :

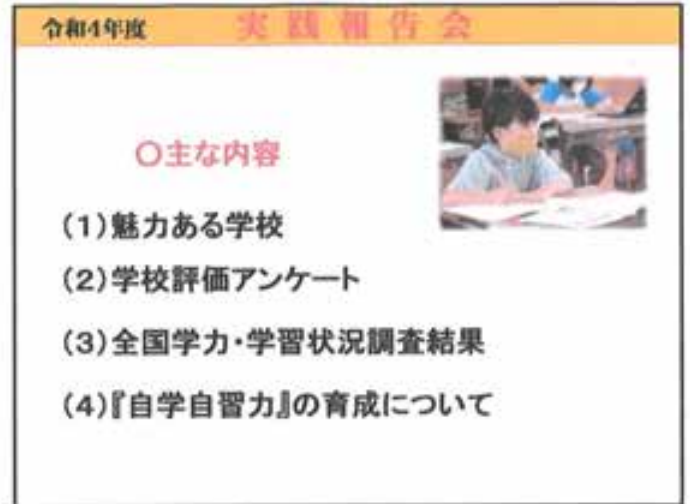
- (1) 児童の実態について
- (2) 学推における主な取り組み
- (3) 取組の成果
- (4) 取組の課題
- (5) 課題に対する次年度に向けての対応策

6. 会順

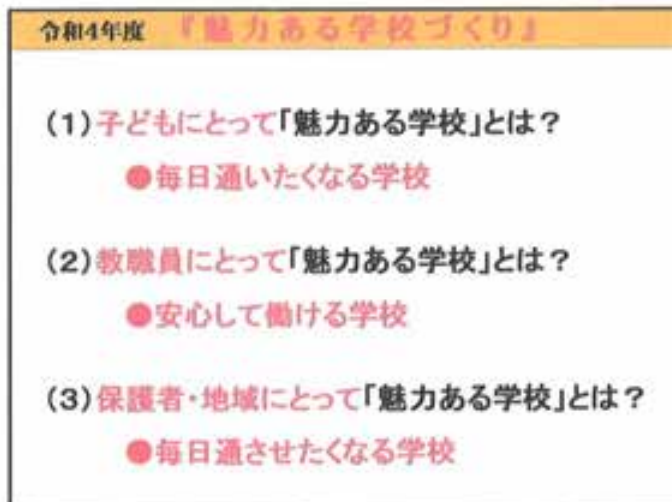
司会【教務：池原豊】

- (1) 開会のことば(2分) 【教頭：我如古弥宏】
- (2) 保育実践報告(10分) 【教諭：山本鉄平】
- (3) 学力向上実践報告(12分) 【教諭：宮里靖代】
- (4) 校長あいさつ 【渡慶次安弘】
- (5) 閉式のことば(3分) 【司会】

【安富祖小学校】 令和4年度実践報告会資料 NO.1



今年度は、上記の4点を中心に報告。



3つの視点から捉えた「魅力ある学校」について



①安全・安心が保証されている



各行事を全児童・全職員で参加する



各種行事でも、交流を意識して

【安富祖小学校】 令和4年度実践報告会資料 NO.2

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(1)子どもにとって「毎日通いたくなる学校」とは？

①安心・安全が確保されている

体験活動の充実



計画的に体験活動を重視した取り組み

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(1)子どもにとって「毎日通いたくなる学校」とは？

①安心・安全が確保されている

体験活動の充実



身近な自然を生かした取り組み

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(1)子どもにとって「毎日通いたくなる学校」とは？

①安心・安全が確保されている

体験活動の充実



本校の地理的環境を生かしながら

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(1)子どもにとって「毎日通いたくなる学校」とは？

①安心・安全が確保されている

体験活動の充実



地域に支えられ、子ども達の健全育成に

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(1)子どもにとって「毎日通いたくなる学校」とは？

②授業がわかる、学校生活を楽しめる

●しっかり教える
モデリング
コーピング
フィードバック
→組織的な関わり

●じっくり考え、させてみる
主体的・対話的な深い学び
支持的風土の醸成
→学び・育ちの風景

●たっぷり価値づける
価値づけ
ほめ言葉
承認
→自己肯定感の高まり

原納村実践7項目
①支持的風土・学習環境
②タイムマネジメント
③めあて・まとめ・振り返り
④発問
⑤思考力・判断力・表現力
⑥評価・改善
⑦板書・ノート、1人1台端末

※お友達にはいい話を、先生方には敬語をお願いします。 ※ボイスシャワー



②授業がわかる、学校生活を楽しめる

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(1)子どもにとって「毎日通いたくなる学校」とは？

②授業がわかる、学校生活を楽しめる

少人数のよさを生かす

一人ひとりに活躍の場がある

特別支援教育支援員の配置

ICT教育への取り組み



少人数のよさを生かしながら

【安富祖小学校】 令和4年度実践報告会資料 NO.3

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(1)子どもにとって「毎日通いたくなる学校」とは？

③成長を実感できる



感染症拡大防止のため、オンライン表彰も実施

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(2)教職員にとって「安心して働ける学校」とは？

①子どもの成長を見て感じ取れる

ホームページの充実



子ども達や先生方のがんばりを地域に伝えるように。

(2) 教職員にとって「安心して働ける学校」とは？

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(2)教職員にとって「安心して働ける学校」とは？

②職員同士・信頼し支え合える

少人数を『よさ』と捉え・・・。



② 教職員にとって「安心して働ける学校」とは？
職員同士・信頼し支え合える環境づくり

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(2)教職員にとって「安心して働ける学校」とは？

③管理者が職員一人ひとりを理解し後押ししてくれる

全職員との毎学期の面談を実施
ほぼ毎日の授業参観
共に考え指導にあたる姿勢

指導主事による年2回の「教科支援訪問」



③管理者が職員一人ひとりを理解し後押しを

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(3)保護者・地域にとって「毎日通わせたい学校」とは？

①子どもたちに活躍の場がある

ホームページの充実



(3) 保護者・地域にとって「毎日通わせたい学校」とは？

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

(3)保護者・地域にとって「毎日通わせたい学校」とは？

①子どもたちに活躍の場がある

開校お祝い会
ハロウィンパーティ
熱田ファームでの秋葉で幼稚園へ絵本のプレゼント(8年生のアイデア)



①子ども達に活躍の場があること

【安富祖小学校】 令和4年度実践報告会資料 NO.4



②信頼され、地域とともにある
『家庭で育ち、学校が磨き、地域で鍛え大きくする』



「浜下り」などの行事も継承しながら



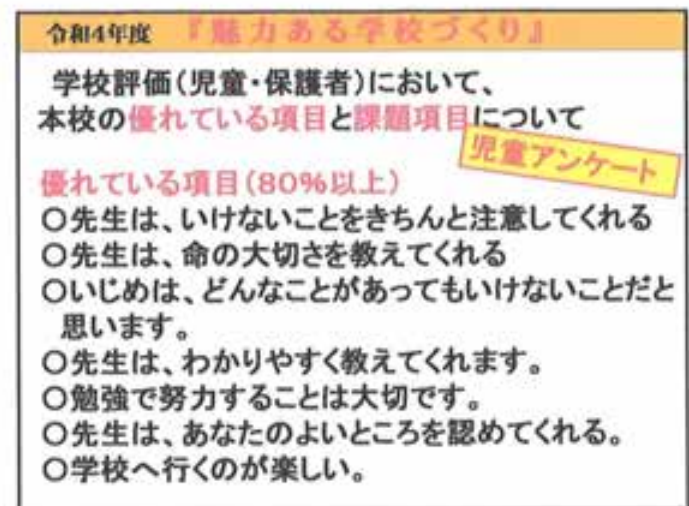
子どもの想いに寄り添いながら進めていく



本校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしっかり全児童・全職員が意識して



③保護者・地域が気軽に足を運べる学校へ



児童による学校評価(優れている項目)

【安富祖小学校】 令和4年度実践報告会資料 NO.5

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

全体的には、よかったです。
児童が課題だと捉えている項目。

児童アンケート

課題のある項目

- 家で、自分で計画を立てて、勉強をしています。
（「できていない」と答えた児童が33%）
- 友達と勉強で話し合うと、自分の考えを深めたり
広げたりすることができていると思います。
（「できていない」と答えた児童が19%）

児童による学校評価（課題のある項目）

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

保護者アンケート

優れている項目（90%以上）

- 学校は、生命を大切に作る心や社会のルールを守る態度を育てている。
- 情報機器を活用した教育活動を行っている。
- いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる。
- 整理整頓され、きれいな学校づくりに努めている。
- 子どもの安全確保・健康管理のための取組を行っている。
- 学校の教育活動や子どもの様子を保護者や地域にわかりやすく伝えている。
- わかりやすい授業を工夫して行っている。

保護者による学校評価（優れている項目）

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

全体的には、よかったです。
保護者が課題だと捉えている項目

保護者アンケート

課題のある項目

- お子さんは、整理整頓する力がついてきたと思う。
（「できていない」と答えた保護者が16.7%）
- 校内美化やPTA活動に参加している。
（「できていない」と答えた保護者が27.8%）

保護者による学校評価（課題のある項目）

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果

	国語	算数	理科
本校の 平均正答率（%）	57.1	55	59.4
県の 平均正答率（%）	59.9	59.4	60.4

全国学力・学習状況調査結果（国語・算数）

令和4年度 『魅力ある学校づくり』

— 注釈次校長先生による「学校経営」より —

人として当たり前のことができるようにし、その上で、児童の高い志を育み、個々の児童の個性が光り輝き、感動でいっぱいになる学校づくりの推進。

『子どもたちの学びに責任を持ち、
育ちを見届け、未来につなげる』

↓

『魅力ある学校づくり』につながる

『子ども達の学びに責任を持ち、
育ちを見届け、未来につなげる』

令和4年度 学力向上推進実践報告会実施要領

恩納村立恩納幼稚園・恩納小学校

1. 趣旨

本校の今年度の学力向上推進の実践報告を行い、成果と課題を明らかにし、課題に対しては、取組改善を学校、地域、家庭で取り組むことで、幼児児童生徒一人一人に夢や希望を持たせるとともに、確かな学力を身につけさせ、生きる力を育む。

2. 日 時 : 令和4年12月11日(日) 紙面による報告

3. 場 所 : 本校体育館

4. 参加者

- (1) 保護者
- (2) 恩納村教育委員会
- (3) 学校運営協議会運営委員

5. 報告内容 : 当該年度の学力向上推進における実践報告

(1) 実践報告

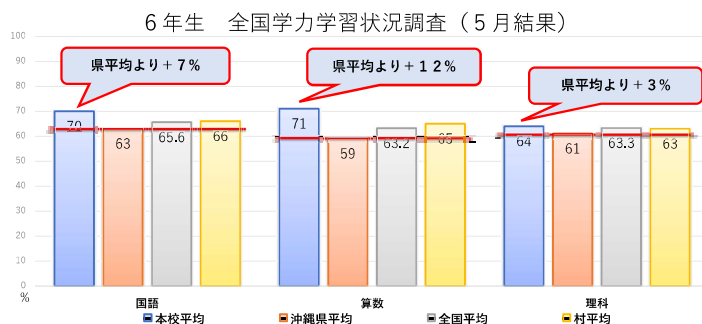
- ①児童の実態について
- ②学推の主な取り組み
- ③地域教育部会の取組(谷茶)

(2) 課題に対する次年度に向けての対応策

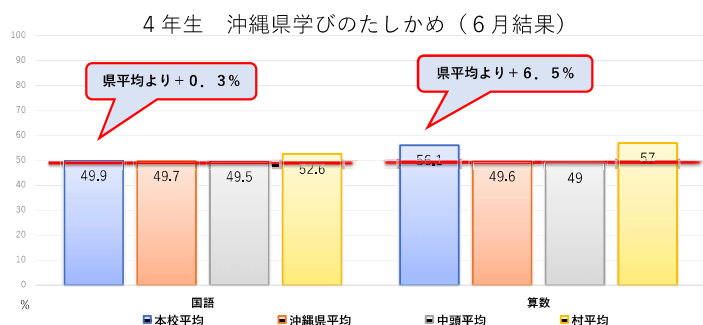
令和4年度恩納小学校 学力向上へ向けての取組実践

～児童一人一人に、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、
確かな学力など生きる力を育む～

令和4年度各種学力調査の結果



令和4年度各種学力調査の結果



学力向上に向けて

これまでの各種学力調査の結果を受けて

令和4年度各種学力調査の結果として、全国・県・中頭・村等の平均を上回る、または、それに近い得点ではあるが、

本校児童の課題

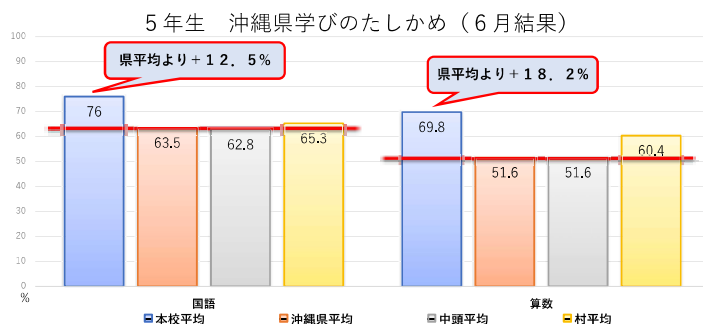
《国語について》

出題の意図を読み取り、出題の条件を満たして記述することに課題が見られる。

《算数について》

出題の意図を読み取り、条件に合った内容で言葉や数を使い順序立てて説明を記述することに課題が見られる。

令和4年度各種学力調査の結果



学力向上に向けて

《本校児童の課題》

・自分の考えを「書く」ことには慣れてきたが、国語、算数共に出題の意図を読み取り、条件に合った内容で順序立てて説明したり文章にしたりすることを苦手とする児童が多いと捉える事ができる。出題の意図を捉え、文章問題を読解し整理して書く練習が継続して必要であると考えられる。

《課題解決に向けて》

児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように国語科を中心に教科横断的な「書く」活動を意識した授業改善に取り組む。

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
 児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

今年度の具体的な取り組み

1. 「恩納小学推実践7項目」「恩納小学校授業スタンダード」の共通確認・共通実践
2. 朝学習、補習時間の活用
 - ・新聞記事を活用した感想文(中・高学年)朝学習
 - ・全学年共通した文章読解ドリルの活用
 - ・過去問題などの取り組み文章題に慣れる
3. 毎日の家庭学習での日記指導と自主学習
4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
 児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

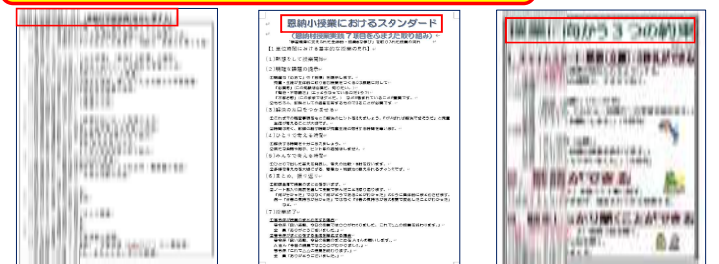
2.朝学習、補習時間の活用
 ・新聞記事を活用した感想文(中・高学年)朝学習



新聞記事を読み感想を書く

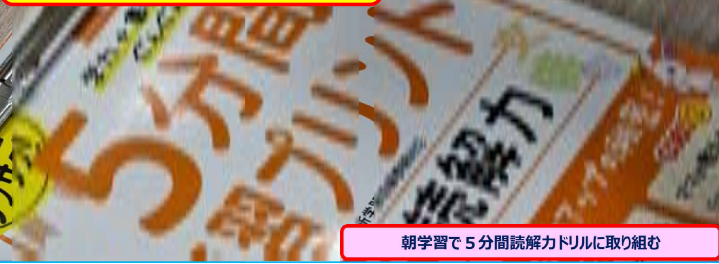
《本校の課題解決に向けての実践紹介》
 児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

1. 「恩納小学推実践7項目」「恩納小学校授業スタンダード」
 「授業に向かう3つの約束」の共通確認・共通実践



《本校の課題解決に向けての実践紹介》
 児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

2.朝学習、補習時間の活用
 ・全学年共通した文章読解ドリルの活用



朝学習で5分間読解力ドリルに取り組む

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
 児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

2.朝学習、補習時間の活用
 ・新聞記事を活用した感想文(中・高学年)朝学習



新聞記事を読み感想を書く

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
 児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

2.朝学習、補習時間の活用
 ・全学年共通した文章読解ドリルの活用



朝学習で5分間読解力ドリルに取り組む

《本校の課題解決に向けての実践紹介》

児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

2. 朝学習、補習時間の活用

・過去問題などの取り組み



文章題に慣れる

《本校の課題解決に向けての実践紹介》

児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

思考の流れに沿った
板書の工夫

「めあて・まとめ・
ふりかえり」の実施

興味・関心を高める教材、
教具、ICT機器の活用

1年生国語の授業



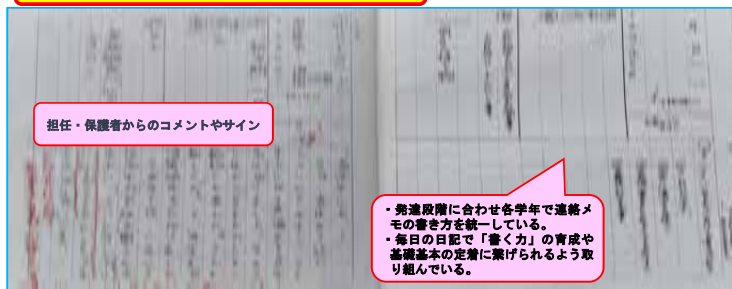
《本校の課題解決に向けての実践紹介》

児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

3. 毎日の家庭学習での日記指導と自主学習

担任・保護者からのコメントやサイン

・発達段階に合わせ各学年で連絡メモの書き方を統一している。
・毎日の日記で「書く力」の育成や基礎基本の定着に繋がられるよう取り組んでいる。



《本校の課題解決に向けての実践紹介》

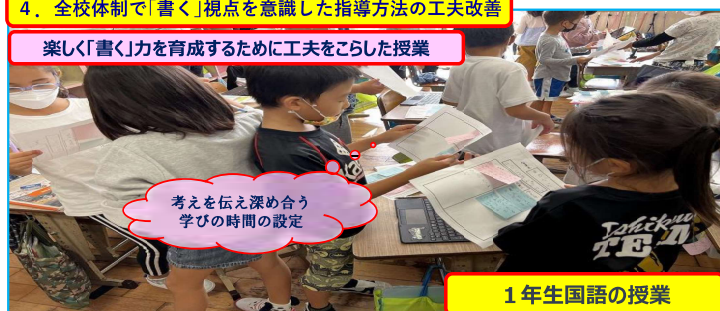
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

考えを伝え深め合う
学びの時間の設定

1年生国語の授業



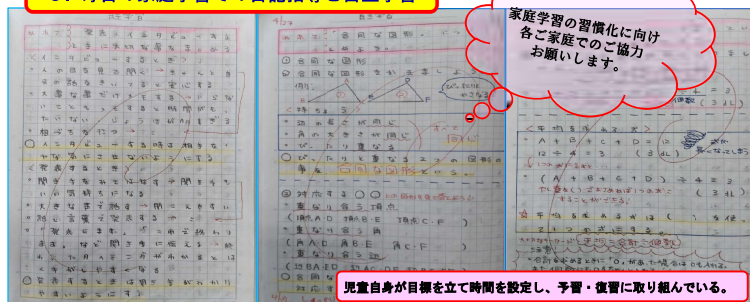
《本校の課題解決に向けての実践紹介》

児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

3. 毎日の家庭学習での日記指導と自主学習

家庭学習の習慣化に向け
各ご家庭での協力
をお願いします。

児童自身が目標を立て時間を設定し、予習・復習に取り組んでいる。



《本校の課題解決に向けての実践紹介》

児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

興味・関心を高める教材、
教具、ICT機器の活用

思考の流れに沿った
板書の工夫

「めあて・まとめ・
ふりかえり」の実施

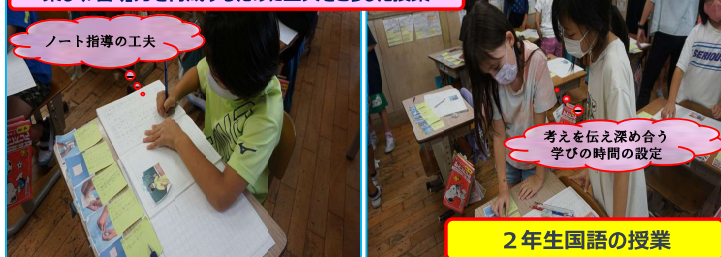
2年生国語の授業



《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

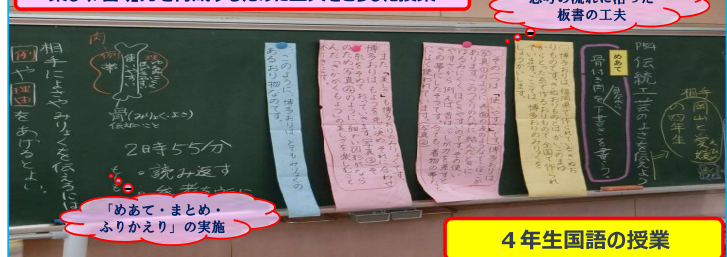


2年生国語の授業

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業



4年生国語の授業

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

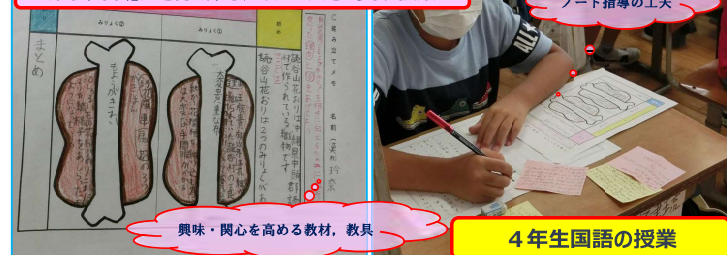


3年生国語の授業

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

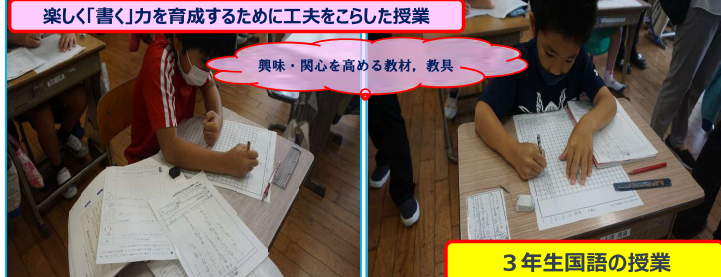


4年生国語の授業

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

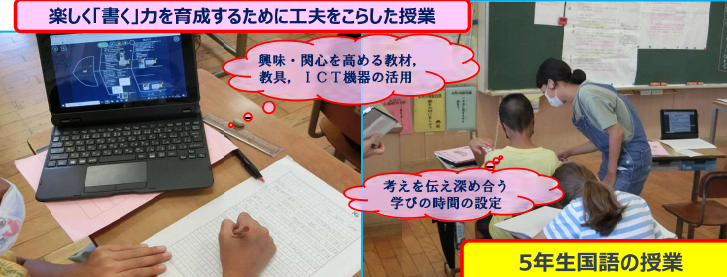


3年生国語の授業

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業



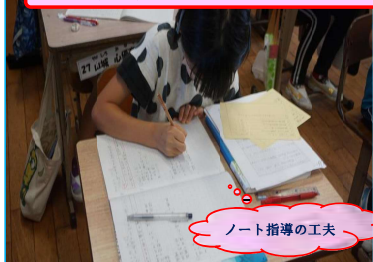
5年生国語の授業

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

考えを伝え深め合う
学びの時間の設定



ノート指導の工夫

6年生国語の授業

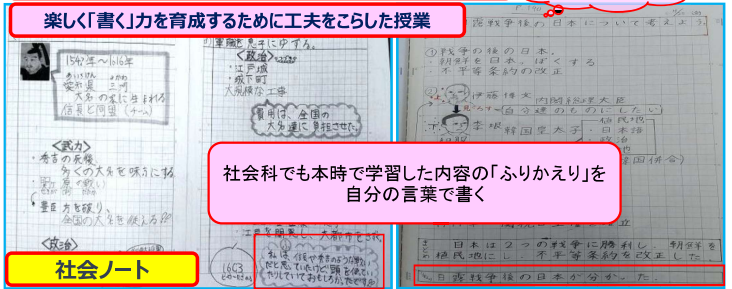
《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

ノート指導の工夫

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

社会科でも本時で学習した内容の「ふりかえり」を
自分の言葉で書く



社会ノート

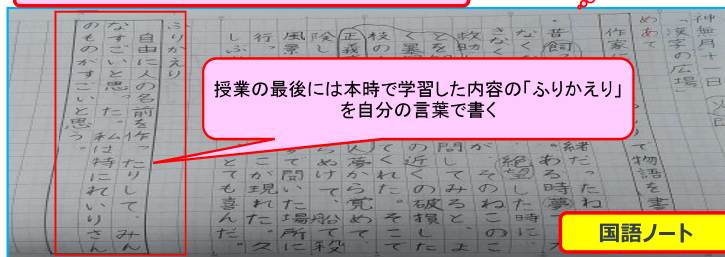
《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

ノート指導の工夫

授業の最後には本時で学習した内容の「ふりかえり」
を自分の言葉で書く



国語ノート

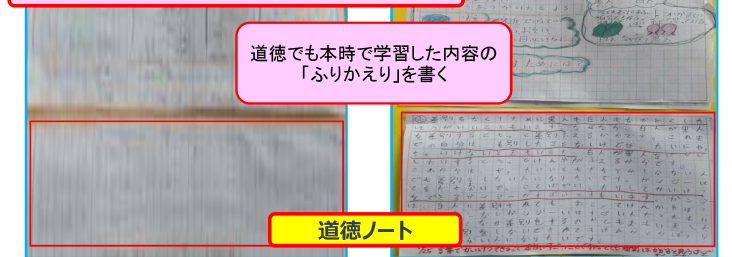
《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

ノート指導の工夫

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

道徳でも本時で学習した内容の
「ふりかえり」を書く



道徳ノート

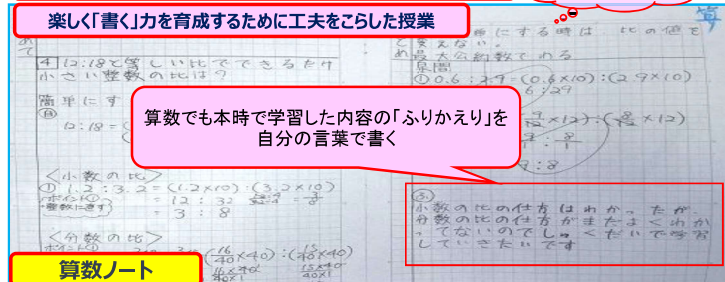
《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

楽しく「書く」力を育成するために工夫をこらした授業

ノート指導の工夫

算数でも本時で学習した内容の「ふりかえり」を
自分の言葉で書く



算数ノート

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

今年度の具体的な取り組み

1. 「恩納小学推実践7項目」「恩納小学校授業スタンダード」の共通確認・共通実践
2. 朝学習、補習時間の活用
 - ・新聞記事を活用した感想文(中・高学年)
 - ・全学年共通した文章読解ドリルの活用
 - ・過去問題などの取り組み文章題に慣れる
3. 毎日の家庭学習での日記指導と自主学習
4. 全校体制で「書く」視点を意識した指導方法の工夫改善

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

今年度の具体的な取り組み

学校全体で共通確認・共通実践に取り組んだ結果

成果

学校全体で取り組み事項を共通確認し、共通実践に向け全職員が発達段階に応じた「書く」活動を意識した授業づくりに取り組んだことにより、児童は、目的や条件に合わせた内容で表現する方法を学び、思考が整理され、論理的な考え方や表現ができるようになってきた。

《本校の課題解決に向けての実践紹介》
児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるように様々な場面で書く活動を取り入れる

今年度の具体的な取り組み

課題

「書く主題を見つける力」、「目的に応じた文を作成する力」に個人差に課題が見られる。

《課題解決に向けて》

児童全員の「書く」力を育成する為に個に応じた手立ての工夫を学校全体で検討、確認し、児童が主体的に楽しく「書く」活動を進められるよう今後も授業改善に取り組んでいく。

報告は以上です。
ありがとうございました。

令和4年度 学力向上推進実践報告会実施要領

恩納村立仲泊幼稚園・仲泊小学校

1. 趣旨

本校の今年度の学力向上推進の実践報告を行い、成果と課題を明らかにし、課題に対しては、取組改善を学校、地域、家庭で取り組むことで、幼児児童生徒一人一人に夢や希望を持たせるとともに、確かな学力を身につけさせ、生きる力を育む。

2. 日 時 : 令和 4年12月4日 (日) 10:05~10:20 15分間

3. 場 所 : 体育館

4. 参加者

- (1) 保護者
- (2) 恩納村教育委員会
- (3) 学校運営協議会運営委員

5. 報告内容 :

- (1) 学推取組
- (2) 取組の成果
- (3) 取組の課題
- (4) 課題に対する次年度に向けての対応策

6. 会順 司会 : 教務主任

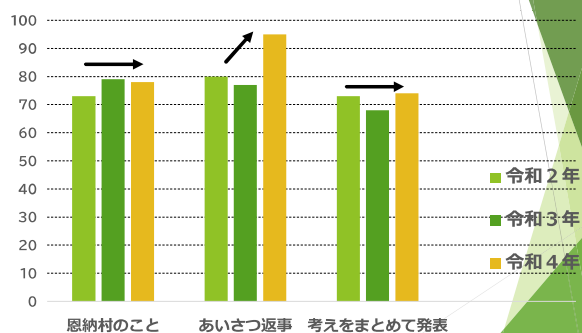
- (1) はじめのことば (司会)
- (2) 実践報告 (小学校)
- (3) 朝食支援の実践について (校長)
- (4) 終わりのことば (司会)



2022年度（令和4年） 学力向上推進実践報告

支持的風土をつくる学級経営を目指し、自ら
考え、よりよく生きようとする児童の育成

学校評価児童アンケートから見られる児童の変容



今年度の重点項目

1. 地域のことを理解し、地域に誇りをもてる児童の育成
2. 人の意見を聞きながら、自分の考えをまとめ、
発表できる児童の育成
3. 相手の立場に立った優しい言葉遣いと、
進んであいさつ、返事のできる児童の育成

地域のことを理解し、 地域に誇りをもてる児童の育成

地域学習の充実



令和3年度の見学アンケートで課題が見られた項目

- 「わたしは、おんな村のことについて、調べて発表
したい（できる）。」
- 「わたしは、元気よくあいさつや返事をしている。」
- 「わたしは『人の意見を聞きながら』自分の考えを
まとめて発表することができる。」

1 学年



社会見学



平和集会

2年生と交流



2 学年

おまわりさんにインタビュー



4 学年



2 学年

ゆうびんきょく見学



4 学年

車椅子サッカー体験



3 学年



5 学年





支援学級



計画を立てて
しっかり学習



自立活動

なわとび

【自らの考えをもつ】

検証授業(2年生)
教材名「モムンとヘーテ」
主題名「ともだちをおもうころ」



じっくりと考え、書く時間

成果

○地域の教育資源を積極的に活用することにより、自分の住む地域に関心を持って主体的に調べ伝えようとする子が増えてきた。

課題

○その場限りの学習ではなく、見学したことを起点に、さらに詳しく調べる自主学習へとつづること。

【 学び合いの様子 】

検証授業(6年生)
教材名「本当にだいじょうぶだろうか」
主題名「『弱い心』をコントロール」



ペアトーク



グループトーク

R4年度 校内研修の取り組み

研究主題

自ら考え、よりよく生きようとする児童の育成
～主体的に考え、議論する道徳科の魅力ある授業を通して～

【 話を聴く姿勢 】

検証授業(4年生)
教材名「雨のバスていりゅう所で」
主題名「社会のきまり」



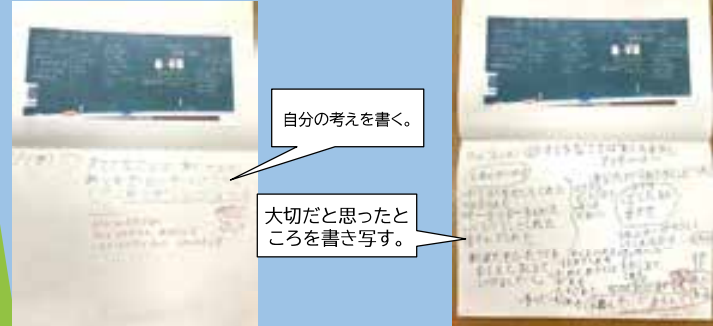
拍手



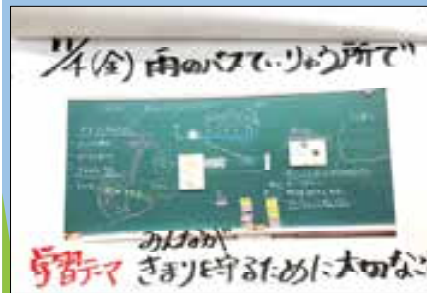
話す人に体を向ける

【 道徳ノートの工夫 】

☆ 1年生のノート



掲示物

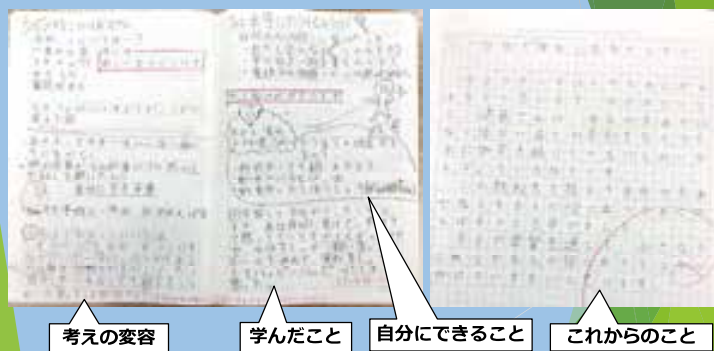


授業の板書と学習テーマ



児童の振り返りノートより

☆6年生のノート



「自ら学ぶ力を育成するための 家庭学習への取組」

☆わくわく学習（自主学習）

☆バッチリ学習（課題学習）

未来の自分のために積み上げていく学習へ

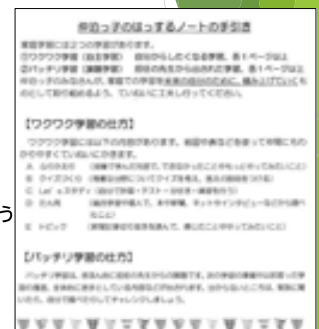
掲示物「学びのあしあと」



仲泊っ子はっするノートの手引き

わくわく学習のすすめ方

- A ふりかえり…授業の内容(連動した学習)
- B クイズづくり…得意な分野でクイズをつくる
(図鑑の活用)
- C Let'sスタディ…自分で計画・分析・練習を行う
(けてぶれ)
- D 探究学習…本や新聞、ネットやインタビュー
などから調べたこと
- E トピック…新聞記事の切り抜きを読んで、感じ
たことをまとめる



はっするノート スケジュール表

はっするノート（自主学習スケジュール表）

やること	日付	時間	予定（内容）	保護者
国語	○		「あすのあ」PC→PC	○
ベネチア学習	○	○	かけ算の学習	○
あくわく学習	○		数字の入る四字熟語集	○
国語	×		「あすのあ」PC→PC	○
ベネチア学習	○	×	漢字ドリル 2号	○
あくわく学習	○		算数「数の関係」	○
国語	×			○
ベネチア学習	○			○
あくわく学習	○			○
国語	○			○

自分で
評価

サインをお
願ひします

内容はできるだけ
自分で決める

一週間の予定を
決める。

終わったら、
サインをもらう

家庭学習（わくわく学習）

の取り組み状況

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
進んで 取り組む		65%	95%	86%	86%	94%
(終了した) ノート 冊数	3.8冊	3.3冊	3.8冊	4.5冊	3.5冊	3.5冊

「なぜ？」から課題を見つけた
探究学習

授業で学んだことを繰り返す
ふりかえり学習



「自立した生活者を育てる取組」

はまゆうキッチン

目的

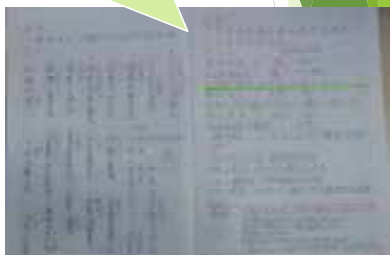
・全員参加で、小学校6学年ま
でに、朝食が作れるうにしよう。

朝食をつくって食べよう。



1ページに収まらず工夫した
探究学習

できなかった問題にチャレンジ
Let'sスタディ



はまゆうキッチン

・子どもができることはさせてみる。



はまゆうキッチン

・子どもができることはさせてみる。



はまゆうキッチン

取り組みで見たこと・・・。

「自分でできることはさせてみる。」ということ。

「食事作りは親の役割」という環境で育った子どもたちが、「自分で作る」チャンスを得たとき、本人の中に芽生える成長や気付きがあります。

子どもの調理体験、家庭でもぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか。

恩納村社会福祉協議会「お米等の提供」・恩納村農協「味噌の提供」・本校PTA・11月30日には、地域の老人会の皆さんの朝食支援

はまゆうキッチン

・子どもができることはさせてみる。



学力 体力



調査結果



はまゆうキッチン

・子どもができることはさせてみる。



全国学力・学習状況調査（R4年 4月 6学年）

	国語	算数	理科
全国平均	65.6	63.2	63.3
県平均	63.0	59.0	61.0
仲泊小	63.0	64.0	57.0
全国平均との差	<u>-2.6</u>	+0.8	<u>-6.3</u>

学びのたしかめ（6月）

	4 学年		5 学年	
国語	県	49.7%	県	63.0%
	仲泊	37.2%	仲泊	62.9%
算数	県	49.6%	県	51.6%
	仲泊	53.3%	仲泊	56.2%
県平均との差	国語	-12.5	国語	-0.1
	算数	+ 3.7	算数	+4.6

ご家庭でのご協力よろしくお願いします！

○基本的な生活習慣

「早寝・早起き・朝ご飯の徹底」

○学習の丸付け、計画表へのサイン

○忘れ物がないよう、声かけ・確認

○家庭でのルール決め（スマホ・ゲーム等）

泳力調査 25m以上泳げる児童

学年	昨年度の泳げる子の割合	今年度の泳げる子の割合	昨年度との比較
3 年生		8 %	
4 年生	1 1 %	2 5 %	+ 1 4
5 年生	3 6 %	6 2 %	+ 2 6
6 年生	8 0 %	9 5 %	+ 1 5

これからも、家庭・地域・学校が一体となり、子どもたちの健やかな成長を見守っていきましょう。



あいさつカップ



運動場の草集め



水やり



朝の清掃活動

令和4年度 学力向上推進実践報告会実施要領

恩納村立山田幼稚園・山田小学校

1. 趣旨

本校の今年度の学力向上推進の実践報告を行い、成果と課題を明らかにし、課題に対しては、取組改善を学校、地域、家庭で取り組むことで、幼児児童生徒一人一人に夢や希望を持たせるとともに、確かな学力を身につけさせ、生きる力を育む。

2. 日 時 : 令和 4年12月4日 (日) 8:50～9:20 (30分間)

3. 場 所 : 体育館

4. 参加者

- (1) 保護者
- (2) 各字自治会長
- (3) 学校運営協議会委員
- (4) 恩納村教育委員会

5. 報告内容 : 当該年度の幼稚園と小学校の学推の状況報告

- (1) 学推取組内容
- (2) 取組の成果
- (3) 課題に対する次年度に向けての対応策

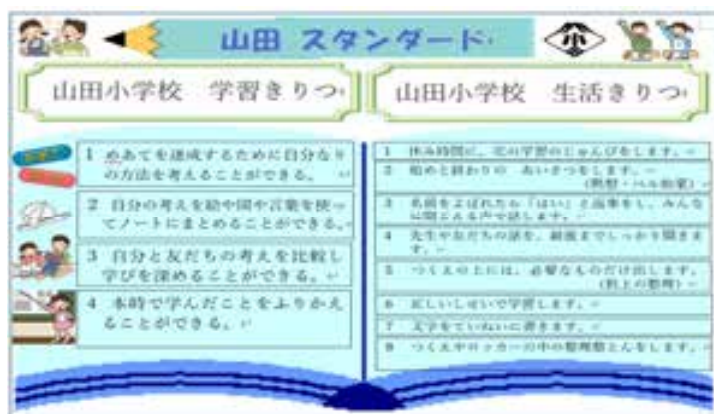
6. 会順

司会 (教頭)

- (1) 開会のことば (司会) . . . (1分)
- (2) 学校長あいさつ (校長) . . . (3分)
- (3) 学推発表
 - ① 幼稚園 . . . (10分)
 - ② 小学校 . . . (15分)
 - ③ PTA 活動報告 . . . (5分)
- (4) 講評 (教育委員会) . . . (5分)
- (5) 閉会のことば (司会) . . . (1分)

令和4年度 学力向上実践発表会

山田小学校

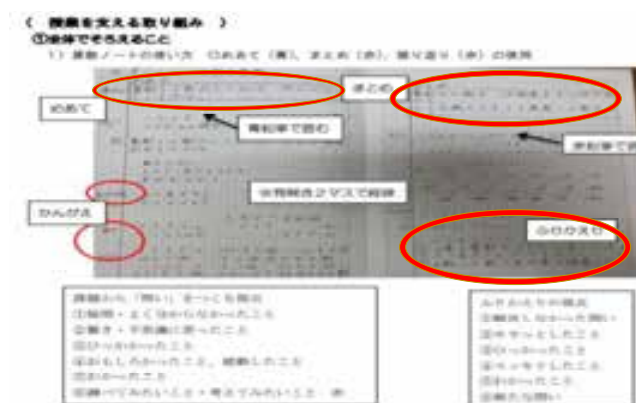


本校の学力向上推進目標

幼児児童一人一人に夢や希望を持たせるとともに、
確かな学力を身につけさせ、生きる力を育む。

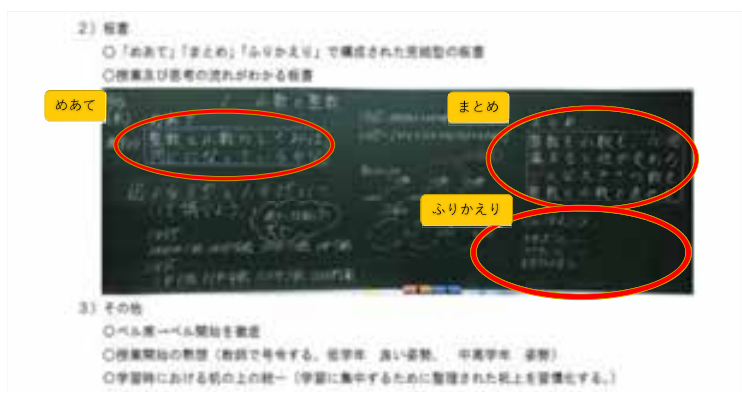
副題

～学校・家庭・地域の連携を通して～



学力向上の取り組み

- 山田スタンダードの定着と徹底
- 学びの質を高める授業改善
- 補習指導の充実（個に応じた）
- 自学自習の推奨



学びの質を高める授業改善

- ・めあてとまとめの連動
「問い」を持たせる授業づくり
- ・話し合い活動を通して考えを
深める活動の充実
- ・ふりかえりの徹底

授業のふりかえり

ふりかえり

今日は、三角形の面積の求め方が分かりました。
いろいろな考えがあって、すごいと思い、ノート
に書きとめておきました。
でも、やっぱり自分で考えたからなのもあるけ
ど、自分の考えが一番かんたんな気がしました。

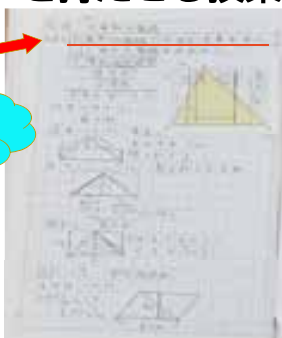
今日の授業で分
かったこと・気
づいたこと・考
えたことを自分
でふりかえる。

「問い」を持たせる授業づくり

児童の「困った」
「知りたい」から
めあてを設定

三角形の面積って
どうやって求めれ
ばいいんだろう？

長方形も正方形も
平行四辺形も公式が
あったけど、
三角形も公式って
あるのかな？



校内研修の取組

主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成
～児童に問いを持たせるための授業改善～

話し合いを通して考えを深める



・話し合いを
通してグループの
考えをまとめる。

・同じ考え・違う考え
・友達の考えの良さを
見つける。



校内研修による授業改善



恩納村教育委員会訪問
全職員による公開授業



朝学習での漢字習得



校内研修

- 地域学習、地域巡りによる教材開発
- 児童質問紙の分析
- 全国学力学習状況調査の結果分析
- 救命救急法 AED

漢字ドリル（1日2字）



朝のドリル時間に
学習した漢字2字を
がんばりノートで復習します。



補習指導の充実

昼のチャレンジタイム (計算・既習事項の復習)

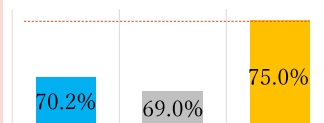


学びのたしかめ4年

	R3		R4	
	国語	算数	国語	算数
学校	60.2%	74.2%	67.6%	67.0%
県	57.1%	66.2%	49.7%	49.6%

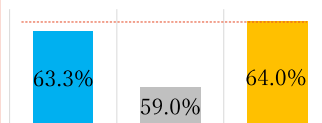
前年度も今年度も国語・算数ともに県平均を上回っている。

令和3年度全国学力状況調査
6年 算数



全国 沖縄県 本校

令和4年度全国学力状況調査
6年 算数



全国 沖縄県 本校

全国・県平均を上回っている

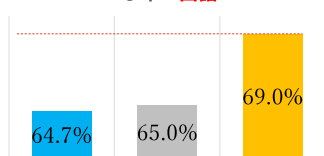
学びのたしかめ5年

	R3		R4	
	国語	算数	国語	算数
学校	42.5%	51.9%	58.7%	58.4%
県	50.2%	60.3%	63.0%	51.6%

今年度は、国語の平均が県の平均に近づいている。
算数に関しては、県の平均を上回っている。

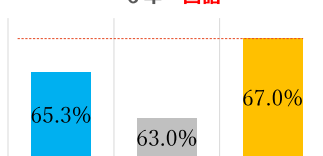
自学自習の推奨

令和3年度全国学力状況調査
6年 国語



全国 沖縄県 本校

令和4年度全国学力状況調査
6年 国語



全国 沖縄県 本校

どちらも全国・県平均を上回っている

家庭学習（自学自習）の今

【これまでの家庭学習の傾向】

- 学習の内容を先生が決める。
- 先生が計画を立てる。
- 先生が評価する。
- 量の多さを重視。
- 目標や自己評価がない。

【目指したい家庭学習】

- 学習の内容を自分で決める。
- 自分で計画を立てる。
- 自分で評価する。
- 質を重視。
- めあて、ふり返りがある。



～沖縄県教育委員会 自学自習ガイド参照～

なぜ、キャリア形成に自学自習力が必要なのか

「夢やなりたい自分」の実現に向けた目的意識、学習や具体的な行動に課題

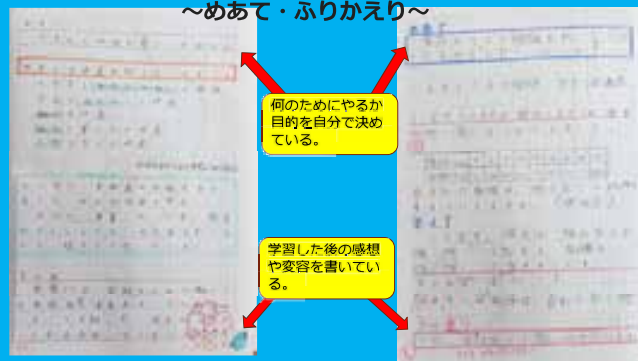
「学び方」を育成し、自律的な家庭学習へつなげる必要があるとした。

また、めざす児童生徒像を「自分で考え、自ら行動に移すことのできる児童生徒」とし、目標を達成するために継続して努力する態度、自立して学習することのできる力の育成が求められる。

「目標達成に向けて行動する力」として児童生徒が主体的に学ぶ授業を通し「学び方」を育成し、自律的な家庭学習へつなげる必要がある。

自学自習の取り組み

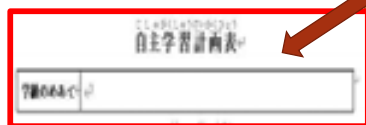
～めあて・ふりかえり～



何のためにやるか
目的を自分で決めている。

学習した後の感想
や変容を書いている。

家庭学習強化月間 (各学級のめあて作成)

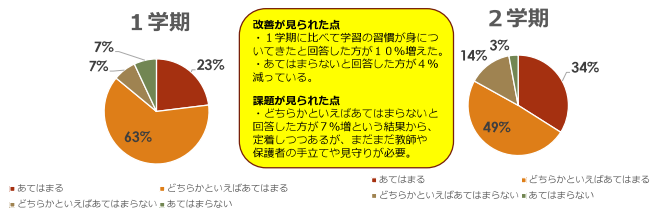


- ・家の人のサインをもらってくる。
- ・がんばりノート提出100%をめざす。
- ・ていねいな字で書く。
- ・朝、学校に来たらノートをすぐに出す。
- ・自分に必要な学習を考えてやる。



家庭学習に関するアンケート結果

★お子さんは、家庭学習が習慣化してきた。(保護者のアンケートより)



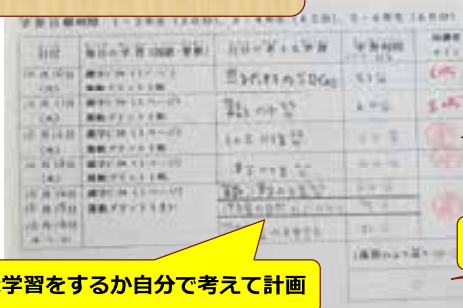
★本校の児童の家庭学習提出率の調査結果より

★宿題の取組率・・・87.7%

★自学自習の取組率・・・76.1%

★計画表の記入率・・・61.1%

自学自習の取り組み ～計画表の作成～

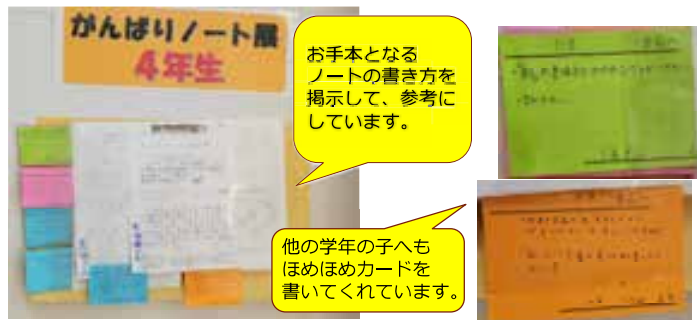


保護者のサインでやる気UP

1週間の振り返り

どんな学習をするか自分で考えて計画

がんばりノート展・ほめほめカード



お手本となるノートの書き方を掲示して、参考にしています。

他の学年の子へもほめほめカードを書いてくれています。

がんばりの木



がんばりノートが1冊終わると校長先生からシールを1枚もらいます。それをがんばりの木の花にはりつけます。がんばりが目に見え、色とりどりのシールががんばりの木を華やかにしています。



朝のボランティア活動の様子



朝の活動の様子

朝早登校をし、校内をきれいに清掃してくれています。

基本的な生活習慣

- ・検温チェック表による健康観察
- ・生活リズム 朝の活動
- ・スマホ・ネットの使い方

スマホ・ネットの使い方講座



検温表で健康観察

健康観察シートで、毎朝、体温を確認し、健康観察を実施

家庭へのお願い

- ①ゲーム・インターネットの利用、テレビの視聴のルール決め
(時間・言葉遣いなど)
- ②家庭学習の習慣化
- ③親子でゆっくり会話する時間の確保
「その時どう思ったの?」「どうして?」と質問しながら話題を広げる。

山田っ子のきらり



友だちのいいところを
カードに書いて、
張り出しています。

本日は、体育館後方の
パネルに掲示していま
す。



ご清聴ありがとうございました

令和4年度 PTA活動報告

恩納村立山田幼小学校PTA

令和4年度 PTA会長 松田 エレナ
副会長 金城 春希
鮎波 和彦
事務局 横田 康司

第1回 真栄田遊歩道草刈り作業

7月10日（日）



環境・校外部

同じ日に、たかし森の
草刈りも行いました。

令和4年度 PTA定期総会

令和4年5月コロナ感染予防のため紙面決議

第1回 総務運営委員会（役員引き継ぎ会）	5月30日
第1回 総務部三役会	5月11日
第1回 総務運営委員会	6月15日
第2回 総務運営委員会	9月21日
第3回 総務運営委員会	11月 9日
第2回 総務部三役会	11月18日

総務運営委員会

第2回 真栄田遊歩道草刈り作業

11月13日（日）



環境・校外部

朝の安全指導・あいさつ運動

- ▶ 4月 6年生の保護者
- ▶ 5月 5年生の保護者
- ▶ 6月 4年生の保護者
- ▶ 7月 3年生の保護者
- ▶ 9月 2年生の保護者
- ▶ 10月 1年生の保護者
- ▶ 11月 幼稚園の保護者
- ▶ 12月 6年生の保護者

（今後の予定 令和5年 1月/5年生 2月/4年生 3月/3年生）

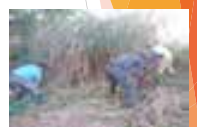


★ 夏休み前(7月11日～7月20日)夏の交通安全県民運動に伴う街頭指導
環境・校外部、総務部、各字母の会の皆様にご協力を頂きあいさつ運動をおこないました。

総務部

運動会前校内美化作業

10月5日(水)・6日(木)



環境・校外部

読み聞かせ参加

9月8日～3月9日第2第4木曜日
読み聞かせサークルルッコラさんと一緒に
2・4年の保護者の皆様にご協力を頂いています。



保体・文化部

運動会 運営 10月23日(日)午前

★総務部 接待係 ★環境・校外部 駐車場係
★広報部 写真記録係 ★保体・文化部 PTA団協運営係

PTA団競 大玉転がし



PTA会長より全児童へ

賞品贈呈



写真係に徹する広報部員の皆さん

運動会運営委員会(総務運営委員会)

EMだんご作り講座

9月30日(金)18:30～
株式会社EM研究機構のシンハ氏を講師にお招きして
環境や微生物の働きについての講話と
微生物の入った泥団子作りを体験しました。



その後10月30日(日)に恩納
村博物館裏の川へ
投げ込みを行いました。

保体・文化部

会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。
今後とも山田校PTAをよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

山田幼小学校PTA

PTA新聞【ていんがーら】
第1号発行 7月22日

広報部



編集作業をする広報部長

令和4年度 学力向上推進実践報告会実施要領

恩納村立うんな中学校

1. 趣旨

本校の今年度の学力向上推進の実践報告を行い、成果と課題を明らかにし、課題に対しては、取組改善を学校、地域、家庭で取り組むことで、幼児児童生徒一人一人に夢や希望を持たせるとともに、確かな学力を身につけさせ、生きる力を育む。

2. 日 時 :

(1) 令和4年11月22日(金) 16:00～16:45

(2) 令和5年 1月27日 (金) ～ 2月2日(木) 三者面談期間中(全学年)

3. 方 法 : 紙面にて配布(三者面談)、ホームページへ掲載

4. 対 象

- (1) 保護者
- (2) 恩納村教育委員会
- (3) 学校運営協議会運営委員

5. 報告内容

- (1) 本年度の生徒の実態
- (2) 取組の内容
 - ① 確かな学力の定着
 - ② 豊かな心の育成
 - ③ 健やかな体の育成
- (3) 取組の成果・課題
- (4) 課題に対する次年度に向けての対応策等

令和4年度 学力向上推進実践報告

1. 今年度の学推の取り組み

(1) ICT を活用した主体的・対話的な授業実践

- ① メタモジ （ 協働的な学習のツール、振り返り、実技テスト発表の録画・提出 ）
- ② ミライシード （ 個別最適な学びの AI ドリルパーク ）
- ③ カフト （ 授業導入等で使えるゲームアプリ ）
- ④ デジタル教科書 （ 音声指導その他 ）
- ⑤ 電子黒板 （ 視覚教材 ）



(2) PDCA サイクル 「フォーサイト手帳」の活用

朝の会 : その日の日程や目標、「やること」等の確認

帰りの会 : その日の振り返り、翌日の日程や目標、「やること」等の確認

金曜日の帰りの会 : 1週間の振り返り、週末と翌週の日程や目標、「やること」等の確認

	日程、目標、振り返りの内容
学習面	授業内容、自学自習（塾以外）、宿題・提出物、単元（小）テストや発表テスト
生活面	食事、睡眠〔就寝・起床時間〕、その他
その他	持ち物、部活・習い事、その他



(3) 放課後の諸活動の時間を活用した自学自習

- ① ミライシード (AIドリルパーク)
- ② 授業や単元テストと連動した課題 (予習・復習)

* 放課後の諸活動の時間 (15:55～16:15)

月	火	水	木	金
		諸活動 (自学自習)	諸活動 (自学自習) 学年委員、専門委員 学年集会、全体集会	諸活動 (自学自習)



2. 取り組みの成果と課題

(1) ICT を活用した主体的・対話的な授業実践

成果： 職員の ICT 活用率、活用能力が上昇してきている。

課題： ICT だからこそ学習効果が期待できるもの、ICT ではない方が学習効果があると思われるものを分別して授業展開をしないといけない。

(2) PDCA サイクル 「フォーサイト手帳」の活用

成果： アンケート結果から高い自己評価が得られた。

『時間を意識するようになった。(90%)』、『計画を意識するようになった。(86%)』、『忘れ物が減った。(83%)』、『計画通り学習を進められるようになった。(79%)』、『振り返りが出来るようになった。(93%)』、・・・。

課題： 日程のみしか記入できない生徒、振り返りができない生徒または一言で終わらす生徒、の対応ができていない。

(3) 放課後の諸活動の時間を活用した自学自習

成果： 自分で考えて学習に取り組むようになった生徒が増えてきている。

課題： 2学期は生徒会行事の取り組みのため、放課後の諸活動の時間に、自学自習に取り組ませることが少なかった。(スポフェス、合唱コンクール、教育相談・・・)

3. 課題に対する次年度に向けての対応策等

(1) ①『授業と連動した課題』と②『自学自習課題』

① 教科会や校内研修を通して、全職員で授業と連動した課題に取り組んでいく。

② 教科担任から、いくつか自学自習の例を提示し、生徒自身が選択して取り組めるようにする。

(2) AIドリルパークの積極的な活用、単元テストとの連動

(3) 学校全体で再チャレンジテストの取り組み(単元テストC評価の生徒)

放課後の諸活動の時間(15:55～16:15)

月	火	水	木	金
諸活動(自学自習) ドリルパーク	×	諸活動(自学自習) 再チャレンジテスト	諸活動(自学自習) 学年委員、専門委員 学年集会、全体集会	諸活動(自学自習) フォーサイト

* 放課後の諸活動を、毎週月曜日はAIドリルパークの曜日、毎週水曜日は再チャレンジテストの曜日と設定し、全体で取り組んでいく。

令和4年度 恩納村教育の日 被表彰者（学校推薦者）一覧

1. 善行児童生徒

	学校名	学年	名前		理由
1	安富祖小	6	幸地 克樹	男	児童会活動 その他
2	恩納小	6	山城 礼理	女	児童会活動 その他
3	仲泊小	6	久高 壘	男	児童会活動 その他
4	山田小	6	棚原 結愛	女	児童会活動 その他
5	うんな中	3	桃原 心菜	女	生徒会活動 その他
6	うんな中	3	ラゾウド バルキス	女	コンクール等優秀な成績
7	うんな中	3	又吉 南海	女	生徒会活動 その他
8	うんな中	3	伊波 璃音	女	ボランティア活動等諸活動
9	うんな中	3	知花 喜喜	女	コンクール等優秀な成績

2. 学校ボランティア

	学校名	名前	理由
1	安富祖小	當山 恭子	読み聞かせによる情操教育の推進
2	安富祖小	藤澤 美季	読み聞かせによる情操教育の推進
3	安富祖小	喜名 智子	読み聞かせによる情操教育の推進
4	安富祖小	佐渡山 和美	朝の交通安全指導の取組
5	安富祖小	當山 美津	朝の交通安全指導の取組
6	仲泊小	古波蔵 清太	朝の交通安全指導の取組
7	仲泊小	當山 直彦	PTA 活動及び福祉教育推進
8	仲泊小	當山 光	PTA 活動及び学校経営参画
9	仲泊小	嶺間 ゆきの	学校経営参画に顕著な業績
10	山田小	友寄 良善	語り部として平和教育の充実
11	山田小	糸数 吉雄	語り部として平和教育の充実
12	山田小	照屋 明美	読み聞かせによる情操教育の充実
13	うんな中	白井 恵美理	PTA 活動及び学校経営参画

3. 社会教育功労

	学校名	名前	理由
1	安富祖小	當山 幸宏	体験活動の講師及び教材提供等
2	恩納小	上原 達也	交通安全指導及び不審者対策
3	仲泊小	長嶺 八重子	幼稚園教育の充実及び琉歌等文化伝承
4	山田小	吉山 盛守	学校と地域の連携による学校運営
5	山田小	安富祖 愛子	学校と地域の連携による学校運営
6	うんな中	板山 勝樹	学校と名桜大学の連携による学校運営

4. 教職員功労

	学校名	名前	理由
1	仲泊小	長嶺 浩也	小学校校長 定年退職 ※3月に表彰
2	安富祖小	平良 智子	小学校教諭 定年退職 ※3月に表彰
3	安富祖小	池原 豊	ICTを活用した授業改善
4	安富祖小	目取真 好美	学校課題の改善及び学力向上推進
5	恩納小	宮平 晴菜	学校課題の改善及び学力向上推進
6	恩納小	比嘉 美沙登	生徒指導及び道德教育の推進
7	恩納小	宮崎 梨絵	地域教材開発及び学力向上推進
8	仲泊小	金城 睦治	国際理解教育の推進及び地域教材開発
9	仲泊小	眞喜志 康和	学校課題の改善及び学校運営の充実
10	山田小	山内 柳弦	学校課題の改善及び環境教育の推進
11	うんな中	池原 雅喜	特別支援教育の充実及び部活動指導

I 恩納村学力向上推進要項及び事業年間活動報告

1 恩納村学力向上推進要項

1. 推進目標
2. 副題
3. 基本方針
4. 取組の重点
5. 各組織の主体的な取組
6. 各組織のマネジメントサイクル
7. 恩納村学力向上推進の全体構想図
8. 学力向上推進委員会の組織図



令和4年度 恩納村学力向上推進要項

恩納村学力向上推進委員会

1. 推進目標

幼児児童生徒一人一人に夢や希望を持たせるとともに、確かな学力を身につけさせ、生きる力を育む。

2. 副題 ～学校・家庭・地域の連携を通して～

3. 基本方針

恩納村第5次総合計画・基本構想では「歴史と文化が薫り英知を育む村」を基本目標に、学力向上の推進については、本村の教育に関する施策と「沖縄県学力向上推進 5か年プラン・プロジェクトⅡ」との整合性を図りながら、次のような学力向上基本方針のもとに展開する。

- | |
|---|
| (1) 学力向上の取組の重点を「授業改善」におき、「確かな学力の向上」を図る。
(方策1：質的授業改善 ・ 方策3：発達の支援) |
| (2) 学力向上マネジメントを機能させ、全校体制による取組を推進する。
(方策2：組織的共通実践 ・ 方策4：学校組織マネジメント) |
| (3) 家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる推進体制を構築する。
(方策5：学校連携・地域連携) |
| (4) 幼小中学校の特色を生かすとともに、一貫した推進体制を構築する。
(方策2 ・ 方策3 ・ 方策5) |
| (5) 支持的風土のある学校・学級経営を通して発達の支援を充実させる。
(方策2 ・ 方策3 ・ 方策5) |

4. 取組の重点

(1) 学校

① 恩納村学推実践7項目

「3つの視点」をもってそれぞれの実践項目にあたる。

※「3つの視点」：「自己肯定感の高まり」、「学び・育ちの実感」、
「組織的な関わり」

- | |
|---|
| 1. 基礎的・基本的な知識・技能の定着とこれらを活用する力の育成：3(1) |
| 2. 個に応じた指導の充実：3(1) |
| 3. 読書指導の充実：3(3) |
| 4. 授業と連動した家庭学習の充実：3(1)(2)(3) |
| 5. キャリア教育の充実：3(2)(3) |
| 6. 学習を支える力の育成：3(1)(2)(3)(5)
(教えて・考えさせて、試行させ・価値づける) |
| 7. 幼小中一貫指導の充実：3(4) |

1. 基礎的・基本的な知識・技能の定着とこれらを活用する力の育成
 - 各单元での身に付けさせたい力を明確化し定着を図る工夫
 - 各教科等で「言語活動の充実」を図り言語に関する能力の育成
 - 問題解決的な学習の工夫
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
 - 実社会と結びついた体験的な学習の工夫
2. 個に応じた指導の充実
 - 幼児児童生徒個々の実態に応じた指導の工夫

- 特別支援教育支援員の効果的な活用
- 朝学習・補習指導等の充実
- 地域人材を活用した学習の実施
- 各種調査結果を活用した指導の工夫
- 地域学習塾・未来塾との連携

3. 読書指導の充実

- 図書館教育全体計画に則った指導の充実
- 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」の推進

4. 授業と連動した家庭学習の充実

- 授業と連動した宿題の出し方の工夫
- 予習の奨励
- 目的意識を持ち、主体的な家庭学習の定着

5. キャリア教育の充実

- 将来の夢や希望を育む学習の設定
- 職場見学・職場体験学習の実施による勤労観・職業観の育成
- 当番活動、児童会・生徒会活動の充実
- 幼児児童生徒に「学ぶ意義」を実感させる工夫
- 部活動の奨励
- キャリアパスポートの継続した活用

6. 学習を支える力の育成（教えて・考えさせて、試行させ・価値づける）

- ① 教えて〈 学び方、生活の仕方の明示 〉
 - 学習環境の充実
 - 規範意識・マナーの向上
 - 生活リズムの確立（ 学校生活・家庭生活 ）
- ② 考えさせて、試行させ 〈 自ら学ぶ場・活動の場の設定 〉
 - 自己決定の場面の設定
- ③ 価値づける 〈 心をつなぐ勇気づけ 〉
 - 支持的風土の醸成「ボイスシャワーの取組」
 - メタ認知の育成
 - （ 自分が、「何を学んだか・何ができるようになったか」を客観的に把握し、制御する力の育成 ）

7. 幼小中一貫指導の充実

- 年間指導計画基づいた一貫指導の充実
- 異年齢集団による学習活動の展開
- 生活規律・学習規律の幼小中一貫した指導の工夫
- 幼小中の連携した校内研修の充実

② 恩納村授業実践7項目

学校の責務は児童生徒の「学力の保障」にあります。教師一人一人がプロの教師としての自覚と誇りを持ち、情熱をもって児童生徒に接することが求められます。その為に、沖縄県教育委員会からの「授業における基本事項」を意識して授業を展開する。

1. 支持的風土・学習環境
 - (1) 互いに認め合い、支え合う風土の醸成
 - (2) 学習環境（学習規律、言語環境、教室環境）の充実
2. タイムマネジメント
 - (1) 授業開始・終了時刻の徹底
 - (2) 簡潔な説明と的確な指示
3. めあて・まとめ・振り返り
 - (1) 身に付けさせたい力を踏まえた「めあて」の設定・提示
 - (2) 「めあて」に正対した「まとめ」、「振り返り」の確実な実施
4. 発問
 - (1) 学習のねらいに迫る意図的・計画的な発問
 - (2) 思考を広げ、深める発問の工夫
5. 思考力・判断力・表現力等
 - (1) 課題について自分自身の考えをもつ時間の確保
 - (2) 学習のねらいの達成に向けた交流場面の設定
6. 評価・改善
 - (1) 授業の展開に生かす評価（児童生徒の学習状況の見取り）
 - (2) 指導計画に基づく評価場面の設定と諸評価の確実な実施
7. 板書・ノート、1人1台端末
 - (1) 思考を整理し考えを深める構造的な板書・ノート指導
 - (2) 1人1台端末の日常的・効果的な活用

③ 学校・家庭・地域の特色を生かした学校経営の推進

1. 教師の指導力を高める学校経営
 - (ア)管理職のリーダーシップの発揮
 - 全教職員が学校経営に参画できる校内体制の整備
 - 全学年・学級が「共通理解」「共通実践」を行える体制づくり
 - ミドルリーダーの育成
 - 教師間の連携・協働・職場の風土づくり
 - (イ)PDCA マネジメントサイクルの確立
 - 課題を明確にした計画立案・実践・点検評価・見直しの工夫
 - 単元・学期・年間評価と改善の実施
 - (ウ)学校公表・説明責任
 - 学校経営についての保護者・地域への説明「リーフレット等の活用」
 - 保護者や地域の思いを生かした「開かれた学校」づくりの推進
 - 学校だよりやホームページによる発信
2. 学校間の連携を重視した学校経営
 - 異校種間・学校間の連携
 - 合同授業研究会の実施
 - スキルアップ研修の実施
 - 5学年合同宿泊学習の実施

3. 家庭・地域の教育力を最大限に発揮させる学校経営

(ア) 保護者・地域との連携

- あいさつ運動の共通実践
- 地域懇談会、地域学習塾の共同実施
- 家庭地域支部活性化に向けた学校・行政の連携
- 地域におけるあいさつ広報活動
- 学力向上実践報告会の実施

(イ) 教育資源(人、物、情報)の有効活用

- 地域学習塾事業における地域の人材及び特別支援教育支援員の活用
- 教科の学習活動等への地域人材の活用
- 名桜大学・大学院大学(OIST)との連携

(2) 家庭

家庭は、教育の原点であり、すべての教育の出発点である。親(保護者)は、人生最初の教師として、豊かな情操や基本的な生活習慣、家族や他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観や社会的なマナー、自制心、自立心などを養う上で、重要な役割を担っている。家庭においては、以下の10の凡事徹底を推進しよう。

家庭教育「10の凡事徹底」

- ① 家族の一員としての心情育成
- ② TPOに沿ったマナーや礼儀の育成
- ③ 善悪の判断の育成
- ④ 忍耐力「粘り強さ」の育成
- ⑤ 自他の命の大切さの理解
- ⑥ 豊かな体験活動の推進
- ⑦ 早起き・早寝・朝ご飯の推進
- ⑧ 読書の習慣化
- ⑨ 家庭学習の習慣化
- ⑩ ノーテレビ・ノーネットタイムの励行

① 家族の一員としての心情育成

幼児児童生徒に、愛情を持って接するとともに、日頃の行動を深く見ながら、家庭において果たすべく役割について考え、実行させよう。

② TPOに沿ったマナーや礼儀の育成

家庭は、社会における基本的なマナーを育成する大切な役割を担っています。冠婚葬祭時のマナーや社会施設の利用、公共機関でのマナーなど、社会生活全般におけるマナーや礼儀を教えよう。

③ 善悪の判断の育成

幼児児童生徒の人格は未完成であるため、善悪の判断がつかない場合がある。大人である親(保護者)がよいことは言葉に出して褒め(ボイスシャワーの取組)、「やってはいけないこと」についてはきちんと指導しましょう。

④ 忍耐力「粘り強さ」の育成

集中して物事に取り組むことは、学習や将来の仕事においても重要な能力の一つです。途中で投げ出さず、やるべき事を粘り強く最後までできるよう援助しましょう。

⑤ 自他の命の大切さの理解

自分の命は、世の中でたった一つの大切な命であり、延々と続く祖先の流れを受け継いでいる命でもあります。自分の命を大切にすると共に、自分の命と同様に他人の命も大切な一つの命であるという自覚を持たせましょう。また、いじめは絶対に許されない行為であることも同時に理解させましょう。

⑥ 豊かな体験活動の推進

習得した知識や技能を活用する場が実社会です。自然体験学習・職場体験学習など「見て・触れて・確かめる」様々な体験をさせ、知恵や感性を磨き、生きて働く力を身につけさせましょう。身近な地域の行事は、社会体験を積ませる絶好のチャンスです。進んで参加させましょう。

⑦ 早寝・早起き・朝ご飯

規則正しい生活習慣は、運動能力や学習能力をつける土台です。早起きをさせて朝食をとり、学校の学習に備えさせましょう。また、早寝させることで十分な睡眠をとらせ、疲れを取り、心身の成長を促しましょう。

⑧ 読書の習慣化

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をよりよくし、生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。読書のできる静かな環境を作り、本の好きな子どもに育てましょう。

⑨ 家庭学習の習慣化

確かな学力を身につけるためには、学校の授業の充実は勿論ですが、家庭での学習習慣の形成も重要です。よい学習習慣は、「学習意欲」や「粘り強く課題に取り組む態度」の育成の基盤です。家庭生活のなかで、宿題や予習・復習を行い、学校の学びと連続させ、学習内容を確実に定着させましょう。また、学習習慣は、子供に任せっきりにするのではなく、内容について「認めて・ほめて・励まし」やる気を育てましょう。

⑩ ノーテレビ・ノーネットタイムの励行

テレビやゲーム、携帯電話やパソコン使用のルールを決め、9時以降は、見ない、やらない時間を作りましょう。

(3) 地域

地域には、地域独自の行事があり、参加することにより地域の様々な年齢の方々と接したり、文化に触れたりすることができる。そのような、地域の人・自然・文化等に触れ、誇りを持つことは、その後の人生の大きな支えを持つことにつながる。また、地域は、学校と家庭をつなぐ機能も持っている。「地域の子は地域で育てる」ことを目標に、地域でできる子ども達の学力向上を推進する。

5. 各組織の主体的な取組

(1) 教育委員会の取組

- 学校と連携し、学校の教育活動推進に係る諸教育条件の整備に努める。
- 各学校の実践共有化を図る。
- 教育委員会は学推組織の機能化を図り、学校・家庭・地域の役割を明確にする。
- 本村の幼児・児童・生徒の実態調査及び諸調査を実施して実態を把握し、情報（課題）を共有化し、方向性を確かめながら推進する。
- 学校教育部会、家庭地域教育部会の各専門部会の構成を充実させ、主体的な活動を促進し、充実した活動ができるよう援助する。

(2) 学校の取組

- 全職員による協働体制の確立を図る。
- 児童生徒理解を基本に学校教育の推進を図る。(相互信頼の温かい人間関係づくり)
- 校内研修体制を充実し、教師の指導力の向上・学習指導の工夫改善を図り、「3つの視点」を意識した授業を実践する。
- 幼稚園・小学校・中学校の相互連携を図り、一貫性のある実践を推進する。

(3) 家庭・地域社会

- 望ましい生活リズムの確立
早寝・早起き・朝ご飯、家庭学習の充実、明るい挨拶等、家庭読書の推進
- 体験的な活動の充実
 - ・地域行事への参加
 - ・家事への参画
 - ・自然体験活動
 - ・ボランティア活動
 - ・学校や公民館を中心とした地域コミュニティを推進し、夢や希望を育むことに努める。
- 巡回あいさつ運動や見守り隊の実践
- 地域学習塾の推進

6. 各組織のマネジメントサイクル

	計画 (PLAN)	実践 (DO)	評価 (CHECK)	改善 (ACTION)
教育委員会	○組織の編成 ○学力向上推進要項の作成 ○重点施策の策定 ○取組構想の策定	○各種事業の推進 ・教職員等研修事業の実施 ・地域塾・未来塾への支援 ・周知活動の展開 ・主事授業改善支援	○学力調査等 ○各種事業の反省 ○評価アンケート実施 ○授業改善の確認	○次年度の施策検討 ○推進要項の見直し、改善 ○学対推進委員会総括 ○取組構想の検討
学 校	○教育課程編成 ○学力向上推進計画の作成 ○取組構想の策定 ○評価システムの活用	○授業実践 ○各種検定の実施 ○各種学力調査の実施 ○24時間時計作成 ○家庭学習帳の活用	○各種調査分析・考察 ○学校評価の考察・分析 ○単元テストによる確認 ○評価システム中間申告による評価 ○学力向上推進報告会	○学校経営計画 ○学対推進計画等の改善 ○補習指導の検討 ○取組構想の検討 ○評価システム最終面談による評価
家 庭	○家庭地域部会の計画	○「家(や) ～なれ～運動」の推進 ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進 ・読書活動の推進 ・家庭学習の習慣化 ・あいさつや家庭内ルールづくり ・体験活動の充実	○生活実態調査 ○24時間時計評価 ○家庭地域支部中間検討 ○学力向上推進報告会	○生活リズム評価
地 域	○地域支部活動計画 ○地域学習塾の計画	○地域活動実施 ○帰宅声かけ運動 ○あいさつ運動実施 ○地域学習塾実施	○家庭地域支部中間検討 ○各地域支部の取組 ○学力向上推進報告会	○地域支部活動計画の検討 ○地域学習塾活動の検討

7 恩納村教育の日関連行事（成果報告）

※ 産（地域教育産業）学（学校）官（恩納村教育委員会等）の協同を確認する行事とする

（1）恩納村立幼稚園・小学校・中学校学力向上推進実践報告会

幼稚園・小学校は合同で実施しても良い。中学校は単独で行う。

- ① 日時 : 11月～1月までに、保護者が幼稚園、学校に集まる機会を作る
- ② 場所 : 幼稚園・小学校・中学校
- ③ 参加者 : 保護者、地域住民、自治会長、職員、恩納村教育委員、恩納村教育委員会他
- ④ 報告内容 : 当該年度の学推取組、成果、課題、次年度に向けての対応策等
- ⑤ 会次第（例）
 - 1) 開会のことば（教頭）
 - 2) 本園・本校の取組（学推担当等）
 - 3) 家庭・地域教育部会の取組（家庭・地域部会）
 - 4) 講評（恩納村教育委員会）
 - 5) 園長・校長あいさつ（園長・校長）
 - 6) 閉会のことば（教頭）

（2）「恩納村教育の日」の行事

- ① 日時 : 「恩納村産業まつり」と同時開催（初日）
- ② 内容
 - 1) 教育功労者表彰（善行児童生徒賞・学校ボランティア賞・教育功労賞・社会教育功労賞）
 - 2) 恩納村内教育産業の紹介
 - 3) 教育施策の紹介

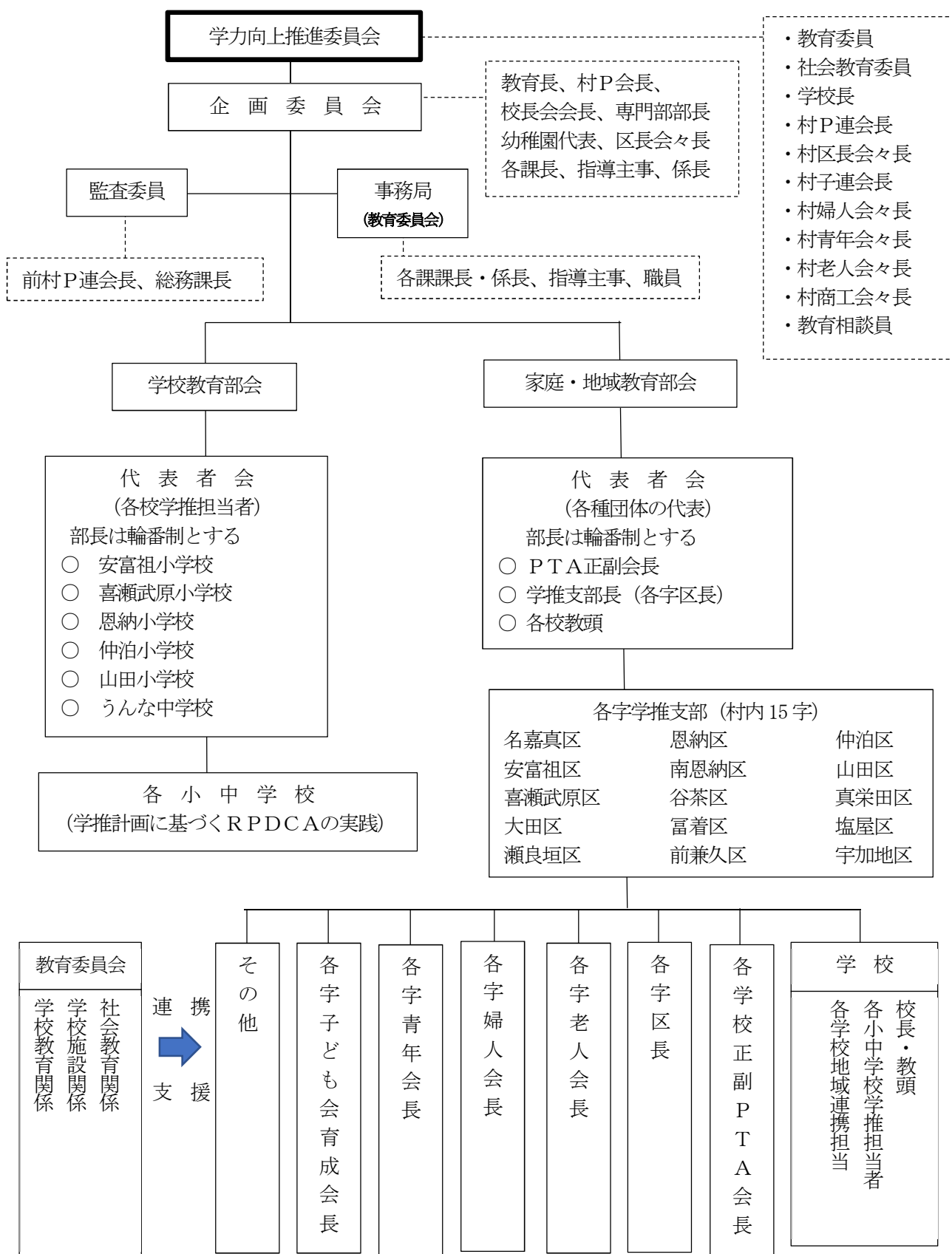
（3）恩納村学力向上推進指定研校

年度	指定研究校 ◎：紙上発表校
令和2年度	◎ 安富祖小学校 仲泊小学校
令和3年度	◎ 安富祖小学校 ◎ 仲泊小学校 うんな中学校
令和4年度	◎ うんな中学校 恩納小学校
令和5年度	◎ 恩納小学校 喜瀬武原小学校 → 山田小学校
令和6年度	◎ 喜瀬武原小学校 ◎ 山田小学校 安富祖小学校
令和7年度	◎ 山田小学校 安富祖小学校 ◎ 安富祖小学校 仲泊小学校
令和8年度	◎ 安富祖小学校 ◎ 仲泊小学校 うんな中学校

8 恩納村学力向上推進の全体構想図



9 令和4年度 学力向上推進委員会の組織図



I 恩納村学力向上推進要項及び事業年間活動報告

2 恩納村学力向上推進事業年間活動報告

1. 教育委員会学校計画訪問
2. アメリカホームステイプログラム
3. 恩納村管理職研修会
4. 地域塾
5. サバイバルキャンプ
6. 恩納村・OIST 子ども科学教室
7. 恩納村「あいさつ運動」標語
8. 恩納村学校給食に関するポスター・作文・標語
9. 恩納村童話・お話大会
10. 未来塾
11. 教科支援訪問
12. アジア圏内（文化・交流）体験プログラム（台湾交流）
13. 指導主事訪問
14. 巡回あいさつ運動
15. 諸検査・検定等補助



令和4年度 恩納村学力向上推進事業年間活動報告

事業名	期日・場所	活動内容等
1. 教育委員会 学校計画訪問	令和4年5月17日～ 令和4年5月31日 各学校で実施	(1) 恩納村教育委員会学校計画訪問は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条の規定により、恩納村立学校管理規則及び学校処務規定が適正に管理・運営されているか点検するために実施した。 (2) 児童生徒・学校・地域・保護者の実態を的確に掌握し、特色ある学校教育を推進するための実効性のある学校運営に役立てるために実施した。 (3) 学力向上の組織的な取組みの進捗状況を掌握し、指導法工夫改善や支援員等の効果的な活用についての意見交換を行い、学校経営への指導・助言を行った。
2. アメリカホーム ステイプログラム	令和4年7月～8月	コロナ禍により中止。
3. 恩納村管理職研修会	令和4年7月28日	村総務課、企画課、社会教育課等の村内から講師を招聘し実施予定であったが、コロナ禍により、資料提供となった。 (1) 恩納村男女共同参画行動計画（恩納村総務課） (2) 恩納村が取り組むSDGs（企画課） (3) 恩納村文化情報センターの活用（文化情報係） (4) 恩納村博物館の取組について（博物館）
4. 地域塾	令和3年7月21日～ 令和3年8月28日 自治会	喜瀬武原、安富祖、太田、恩納、塩屋自治会が実施したが、その他の自治会は、コロナ禍により中止となった。
5. サバイバルキャンプ	令和4年8月23日～ 令和4年8月24日 ・赤間総合運動公園ドーム ・ヨー島	コロナ禍により、8/2～8/4 2泊3日を8/23～8/24の1泊2日にプログラムを変更して実施。宿泊先は、赤間総合運動公園ドームで実施 (1) 追い込み漁 (2) 魚さばき体験 (3) 野外炊飯体験 (4) グループタイム (5) 沖釣り体験 (6) シュノーケリング体験 (7) 遠泳挑戦
6. 恩納村・OIST 子ども科学教室	令和4年8月15日～ 令和4年8月19日 自宅、各小中学校	コロナ禍により、オンライン開催となった。 15日（月）09：30～10：30 1-2年「みずのなかのいきもの」 16日（火）09：30～10：30 1-3年「身の回りの科学」 17日（水）09：30～10：30 1-4年オープンクラス 「身の回りの世界を知ろう」 18日（木）09：30～10：30 3-4年「科学で発見！」 18日（木）14：00～15：00 中学生 19日（金）09：30～10：30 5-6年「科学で世界を知ろう」

7. 恩納村「あいさつ運動」標語	令和4年6月1日～ 令和4年9月20日	「あいさつ」について、日頃感じていることや思っている事などを、具体的に表現する事を目的とした。 低学年の部 最優秀賞 安富祖小 2年 喜名真理 優秀賞 24名 高学年の部 最優秀賞 安富祖小 5年 松茂良咲来 優秀賞 23名 小学校特別支援学級の部 最優秀賞 安富祖小 1年 松本妃叶 優秀賞 14名 中学校の部 最優秀賞 うんな中 2年 深松琉郁 優秀賞 5名 中学校特別支援学級の部 最優秀賞 うんな中 1年 鈴木 凜 優秀賞 うんな中 2年 駒村拓海
8. 恩納村学校給食に関するポスター・作文・標語	令和4年6月1日～ 令和4年9月20日	給食風景や食育学習等のポスター・作文・標語コンクールを実施することで、学校給食への理解と啓発を行うことをねらいとした。 1. 作文の部 低学年 最優秀賞 恩納小 1年 池原心希 優秀賞 山田小 2年 池原心愛 優良賞 安富祖小 3年 當山清風 高学年 最優秀賞 恩納小 5年 新井愛陽 優秀賞 安富祖小 4年 宮城乃菜 優良賞 安富祖小 6年 松川小桜 中学校 最優秀賞 うんな中 2年 安富祖 怜 優秀賞 うんな中 2年 永瀬にこ 優良賞 うんな中 3年 根路銘国仁

		2. ポスターの部 低学年 最優秀賞 恩納小 3年 池原心愛 優秀賞 恩納小 2年 坂元日彩 優良賞 安富祖小 2年 漢那湮音 高学年 最優秀賞 仲泊小 5年 金城佑空 優秀賞 恩納小 4年 山城由愛 優良賞 恩納小 6年 山城礼里 優良賞 山田小 6年 竹田ふく 中学校 最優秀賞 うんな中 2年 浜元杏奈 最優秀賞 うんな中 3年 桃原心菜 優良賞 うんな中 1年 高江洲桜千愛 3. 標語の部 低学年 最優秀賞 山田小 1年 饒波勘太郎 最優秀賞 安富祖小 1年 照屋彩智 優良賞 安富祖小 2年 宮城琉美 高学年 最優秀賞 安富祖小 6年 与儀陽季 優秀賞 山田小 4年 比嘉こころ 優良賞 安富祖小 5年 比嘉紗那 中学校 最優秀賞 うんな中 1年 中平翔太 優秀賞 うんな中 2年 比嘉穂乃 優良賞 うんな中 2年 岡 陽太
9. 恩納村童話・お話大会	令和4年10月20日 ゆうなホール	出演者 恩納小 3年 池原心愛 仲泊小 3年 平安名芽花 山田小 2年 田港菜月妃 安富祖小 3年 兼箇段蒼空 山田小 5年 上原由彩

		安富祖小 6年 幸地克樹 恩納小 5年 池原心海 うんな中 3年 又吉南海 最優秀賞 安富祖小 3年 兼箇段蒼空 山田小 5年 上原由彩 うんな中 3年 又吉南海 中頭地区大会 最優秀賞 うんな中 3年 又吉南海 沖縄県大会 優秀賞 うんな中 3年 又吉南海
	令和5年1月22日 読谷村 鳳ホール	
10. 未来塾	令和4年6月16日～ 令和5年3月2日 うんな中学校	名桜大学と連携して、名桜大学学生を講師として招聘し、水・金毎週2回16:30～19:30（50分間×3回）で実施。対象は希望者全生徒で、1年生43人、2年生25人、3年生36人 合計104人で実施した。
11. 教科支援訪問	令和4年6月7日～ 令和4年6月30日 令和4年10月5日～ 令和4年11月11日 恩納村立小中学校	恩納村教育委員会の指導主事による授業観察をとおして、「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業づくりや指導方法等について指導助言を行い、学びの質を高める授業改善を推進した。
12. アジア圏内（文化・交流）体験プログラム（台湾交流）	令和4年11月8日 ～11月12日 中華民国	コロナ禍により中止。
13. 学力向上 指導主事訪問	令和4年12月7日～ 令和4年12月13日 恩納村立小中学校	コロナ禍により中止
14. 巡回あいさつ運動	令和4年5月6日 ～5月10日 令和4年8月29日 ～8月31日 令和5年1月6日 ～1月11日 恩納村立小中学校	教育委員会職員により学校校区内を青色回転灯車両による巡回あいさつ運動を実施した。
15. 諸検査・検定等補助	年間を通して実施	英語検定、漢字検定、数学検定等への半額補助を行い、目標を持って計画的な学習を行うよう支援を行った。

I 恩納村学力向上推進要項及び事業年間活動報告

3 恩納村教育委員会教科等指定研究報告

恩納村立うんな中学校

研 究 主 題

主体的・対話的で深い学びのある授業づくり

～ICT を活用した授業を通して～



恩納村教育委員会教科等指定研究報告書

恩納村立 うんな中学校

1. 研究主題

主体的・対話的で深い学びのある授業づくり
～ICT を活用した授業を通して～

2. 主題設定理由

これからの時代、「主体的に問いを立てて、他者と協働しながら解決していく力」等が求められている。新学習指導要領では、それらを実質化するために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が示された。そのためには、学習の基盤である「共感的・支持的な生徒の育成」「言語能力の育成」「情報活用能力の育成」を土台とし、全教科を通して「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことが大切であると考ええる。

そこで、生徒が学習内容を深く理解し、資質・能力を見につけ生涯にわたって能動的に学び続けるために、ICTを活用した授業づくりの研究を推進するために本主題を設定した。

3. 研究内容

(1) 5教科による研究授業・授業研究会を実施し、全教科での授業改善を図る。

(2) 研究内容をふまえた生徒アンケートを実施し、取り組みの振り返りを行う。

各教科において、単元を見通して育む資質・能力を明確にした授業実践、自他の意見や考えを交流する場面、思考を整理する場面等々を設定することにより、多面的な見方・考え方に触れ、主体的・対話的で深い学びができるであろう。

4. 研究の成果と課題

【成果】

○アンケート結果より、見通しをもって粘り強く学習に取り組んでいこうとする姿勢と学習意欲の高まりが継続された。

○各教科の授業の中で、交流する場面が増えたため、自分の考えを相手に伝えようとする機会を多く経験できた。

【課題】

●ICTだからこそ学習効果が期待できるもの、ICT ではない方が学習効果があると思われるものを分別して授業展開をしていく必要がある。

5. 今度の取組について

1年目は、PC 端末を活用した授業展開を積極的に行い、2年目は、主体的・対話的で深い学びのある授業にするため、ICT の効果的な活用方法等について5教科を中心に授業研究会を行った。これからは、「ICT を活用した個別最適な学び・協働的な学び」の実現へつなげていくために、職員同士での更なる研鑽を深めていきたい。

恩納村立うんな中学校の取組

主題： 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり ～ICT等を活用した授業を通して～

(1) 国語科の実践事例

【1 学年実践事例】

- ① 教科・単元名：国語科 「言葉の窓1 言葉の単位と文節のはたらき」
- ② ねらいとコンピュータ活用の意図
ア カフトアプリを使って教材の復習を効果的に行う。アプリ活用で意欲をあげる。
イ 授業の振り返りを共有し深い学びにつなげる。
- ③ 活用場面の紹介と子どもの様子
ア 教材のまとめでカフトを活用し要点を復習する場面 クイズ形式でみんなが意欲的に取り組む。
イ 授業の振り返りを読み合い共有する場面 他の振り返りを読み合うことで、違った視点の意見に触れる。

写真①カフトで復習



写真② 振り返りの共有



- ④ 成果と課題、課題への対応策
ア 成果・授業への集中力が高まる。選択肢の工夫で思考する場面が作れる。・振り返りの書き方を学ぶ機会になる。
イ 課題・正解率の低い生徒への手立てが必要。振り返りを書くのに時間がかかり共有の時間が取れない生徒の支援。
ウ 課題への対応策・苦手な生徒は2人ペアで取り組みをさせる。・振り返りのコツを個別指導する。

【2 学年実践事例】

- ①教科・単元名：国語科 「4 論理的に考える 100年後の水を守る」
- ② ねらいとコンピュータ活用の意図
ア 電子黒板やメタモジを活用し、個人の活動から交流する活動へと切り替えをスムーズに行う。
イ メタモジのモニタリング機能を活用して、生徒の進捗状況を確認し、個別の支援に生かす。
- ③ 活用場面の紹介と子どもの様子
ア メタモジで作者の考えをまとめる場面
・書くことを倦厭する生徒が筆者の考えをまとめたり、語句の意味を調べたりする様子が見られた。
イ メタモジのモニタリング機能を活用し生徒の学習の様子を確認する場面
・生徒は書き直しが何度でもできるため、飽きずにまとめる様子が見られた。

写真①考えをまとめる生徒



写真②モニタリング機能



- ④ 成果と課題、課題への対応策
ア 成果 「ノートに書く」時間が短縮したことで、考える時間がとれた。
モニタリングで支援の必要な生徒を確認することができた。
モニタリングを電子黒板に映してみんなが見られるようにしたことで、学習意欲が高まった。
イ 課題 自分の考えを、根拠を示して書くことができない。
ウ 課題への対応策

写真③交流する場面



- ① 主語の確認をする。②指示語の確認をする。③三角ロジックで自分の考えを整理させる。

(2) 社会科の実践事例

① 教科・単元名 : 1 学年 地理的分野「EU の成り立ちとその影響」

② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図

- ・EU 誕生までの経緯や加盟国や周辺国にもたらされた国家間の結びつが理解できる。
- ・EU 結成の背景と、統合による人々の生活の変化について考えることができる。
- ・メタ文字を活用することで、ペア・グループで意見交換することにより本時のねらい捉えさせる。

③ 活用場面の紹介と学習の様子

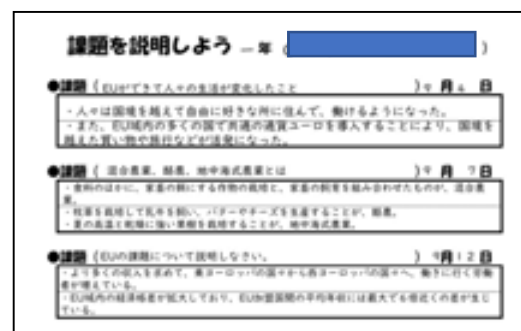
(写真①) 生徒個人が PC で課題に取り組む



(写真②) 電子黒板を活用した教師の説明



(写真③) 電子黒板を活用して意見を共有



(写真④) メタ文字による課題のまとめ

④ 成果と課題、課題への対応策

ア. 成果

- ・電子黒板を活用し、画像や動画を見ることで、生徒の興味や関心を高めることができた。
- ・生徒もメタ文字を活用して発表を行うことで、自分の意見を全体に共有することができていた。

イ. 課題

- ・ほとんどの生徒が発表していてよかったが、少し時間がたりなかった。
- ・個人だと集中できない生徒もいるので、ペアやグループの取り組みも配慮する必要がある。

ウ. 課題への対応策

- ・タイムマネジメントの視点から、ペアの発表を選抜するなどし、グループで考えさせる活動を多くする。
- ・グループで PC 1 台を活用して話し合い活動をすすめ、主体的・対話的な活動を実践し深い学びにつなげていく。

(3) 数学科の実践事例【1, 3年】

- ① 教科・単元名 : 1学年「比例・反比例の利用」メタモジを活用した学び合い活動
3学年「平方根の利用」のグループ活動

② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図

- ・個人やグループで考える場面で、ワークシートをメタモジで送り、そこに考えやグループで話し合ったことを書いていくと、電子黒板で全員のワークシート一覧を見ることができる。また、グループの発表の場面でも、そのグループのワークシートを全体に見せながら、共有することができる。(写真①)
(書画カメラの代用にもなる)
- ・メタモジ上で自分の考えをまとめていくことで、他の生徒と共有したり、他の人の考えをもとに再考したりすることができる。(他の生徒に教えてもらう際に席立ちをせずにタブレット上で考えの共有ができる)(写真②)
- ・操作方法や考えの流れを電子黒板上で表示することで内容の可視化ができる。(写真③)

③ 活用場面の紹介と子どもの様子

- ア. 生徒の意見を電子黒板で共有する場面

(写真①) →



- イ. 他の生徒の意見を共有する場面

(写真②)



- ウ. 操作方法や考えの流れを提示し可視化する場面

(写真③)



④ 成果と課題、課題への対応策

- ア. 成果

- ・自主活動や宿題においてメタモジやミライシードの活用が役立った。
- ・これまで、各テストや練習問題を、印刷していたが、メタモジで生徒たちへ送ることで、スリム化でき、生徒それぞれの進度で取り組むことができた。
- ・メタモジの一覧を見ることで、全員の状況が把握しやすくなり、アドバイスやヒントを与えるタイミングなどがつかみやすくなった。

- イ. 課題

- ・タブレットの操作する技術に個人差がある。
- ・タブレットの不具合や、充電の状態、ペンの電池消耗により、活動ができなくなる生徒が度々出る。
- ・タブレットと教科書、ノートの併用で、集中ができなくなる生徒がいる。

- ウ. 課題への対応策

- ・本時の内容が、タブレットを使うと効果的なのかどうかを十分に吟味した計画を立てる。
- ・タブレットの不具合を想定し、数部は、紙媒体の準備をしておく必要がある。
- ・教科会や校内研修を通して情報を共有し、具体的な取り組みがお互いの授業に生かせるように

(4) 理科の実践事例

2・3学年の実践事例

- ① 教科・単元名 : 2 学年「動物のからだのつくりとはたらき」
3 学年「遺伝子や DNA に関する研究成果の活用」

② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図

- ・生徒個人のタブレットを使用し、自分の意見の意見をグループで共有しグループの意見をまとめやすいようグループで共通できる metamoji でワークシートを準備した。グループで共有できるワークシートを利用することでグループメンバーの意見が共有しやすくなり深い学びにつながるのではないかと考えた。
- ・演示実験の様子を metamoji で提示し、自分のタイミングで見れるようにし実験を確認しながら結果をまとめ、考察等を考えやすくなるのではないかと考えた。

③ 活用場面の紹介と子どもの様子

イ. グループの発表の場面

ウ. (写真①) →



イ. 自分の意見を書き込む様子
(写真②)



ウ. 演示実験を個人の PC で見ている様子
(写真③)



④ 成果と課題、課題への対応策

ア. 成果

- ・書画カメラでは映しにくい角度から写すことにより鮮明な画質で実験をみせることができた。また、実験操作すべてを生徒にさせることで教師は実験の注意点や注目ポイントを指示しやすかった。
- ・metamoji を使ってグループ共働でレポートを作成させることで、1 人 1 人に役割を与えることが容易だった。
- ・自分のタブレットでカラー資料を間近で閲覧することが可能になり、意欲的に課題に取り組む姿が見られた。

イ. 課題

- ・metamoji を使って発表させるが、発表を聞かずワークシートを完成させることに一生懸命になり発表を聞けない生徒がいた。
- ・タブレットの充電の状態が悪く、タブレットを用いた学習活動の同時スタートができにくい時がある。

ウ. 課題への対応策

- ・metamoji の使用の際は、発表させるときに生徒に書き込みを制限できる設定があるので教師側で書き込みを制限し発表を聞かせるようにする。
- ・休み時間から起動をさせて、タブレットの充電状態が良好であることを把握できるようにする。

(5) 音楽科の実践事例

全学年の実践事例

- ① 教科・単元名 : 器楽 (アルトリコーダー)・歌唱の実技テスト
- ② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図
 - ・器楽 (アルトリコーダー) 及び歌の実技テストの実施において、個々の見取りとフィードバックを行うことと新型コロナウイルスの感染症予防を目的とし、十分に人と距離が取れる環境の中で生徒が動画で演奏の様子を撮影し Teams やメタモジを活用して提出する。生徒は何度でも納得のいくまで動画を撮影しなおすことができる。また、動画としての残すことで生徒と教師で演奏を振り返ることができるメリットがある。
 - ・歌唱の学習や鑑賞の授業において、話し合い活動を行ったあとの発表内容の共有を行う。メタモジで全体共有を行うことで、これまでにくらべて話し合い活動に十分な時間がとれる。
- ③ 活用場面の紹介と子どもの様子
 - ア. Teams を使ったリコーダーの課題実技テスト
(写真①) → (写真②)



- イ メタモジを使った歌の実技テスト
(写真③)



(写真④)



④ 成果と課題、課題への対応策

成果

- ・生徒が納得のいくまで課題提出にチャレンジできる。
- ・ポートフォリオとして振り返ることができる。

課題

- ① タブレットの不具合や、サーバーの不具合でうまく課題が提出できない時がある。
- ② 一人ひとりの評価に授業内で実技テストを実施するときも時間を要する。

課題への対応策

- ・①の課題は、個別で対面での実技テストを実施する。
- ・授業内で実施するテストと二段構えで実施する。

(6) 美術家の実践事例

1 学年の実践事例

①教科・単元名 : 美術科 「モダンテクニック」

②ねらいとコンピューター活用の意図

モダンテクニック（絵画技法）の技法を学習し、偶然にできた模様から想像力と創作力を深め、美術の表現の可能性を広げるためにICT活用を図る。

③ 活用場面の紹介と子どもの様子

ア、電子黒板でパワーポイントから制作行程を学ぶ場面

イ、デジタルカメラを使って、生徒が実際に作品に取り組んでいる様子を電子黒板で共有する場面

ウ、書画カメラを使って、完成した作品を全体に発表する場面

エ、タブレットを使って、メタ文字でふりかえりやまとめをしている場面

(授業風景)

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



ア 成果

写真①：電子黒板を使って技法手順を動画で見せることで、やり方が分かりやすく意欲的に取り組んだ。

写真②③：生徒の制作過程や作品をデジタルカメラで撮影し、ふりかえりの時間に活用することで生徒に達成感や充実感が見られた。

イ 課題

写真④：電子黒板の反射で、見えづらい班もあった。

・制作時は道具を使うため、個人用タブレットは場所を取り使用しにくい。

ウ 課題への対応策

写真⑤：画面が見えづらい場合は、見える場所へ移動して観てもらおう。

写真⑥：タブレット学習は道具を使わない「鑑賞」や「まとめ」などの授業の時に活用する。

(7) 保健体育科の実践事例

- ① 教科・単元名 : 保健体育科 「 陸上競技 」
- ② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図

○相手とタイミングを合わせてバトンの受け渡しができる。

※動画を活用し、自分と相手のタイミングを客観的に観ることで修正ができ、スムーズなバトンの受け渡しにつながる。

※タブレット活用し、種目の練習法やポイント、安全面を調べる。

- ③ 活用場面の紹介と子どもの様子

ア. バトン練習の場面

◎ バトン練習の活動

- ・ バトンの受け渡しのタイミングを見る。

授業風景①



授業風景②



写真③ (タイミングチェック動画)



写真④ (タイミングチェック動画)



- ④ 成果と課題、課題への対応策

ア. 成果

- ・ 自己のフォームを確認することができ、何がどのように出来ていないのか具体的に知ることができ教え合いでアドバイスがしやすかった。
- ・ スタートのタイミングやバトンの受け渡しのタイミングを知ることができた。

イ. 課題

- ・ 個人のタブレットを活用して行う事が難しかった。
- ・ 天気に左右される場面や野外での使用で反射があり観えづらい面があった。
- ・ 技能テストでは、個人のタブレットを活用して欲しい場面で難しさがありグループや一定の生徒のタブレットでの動画撮影になってまい、提出に時間がかかってしまった。

ウ. 課題への対応策

- ・ 活用場面の工夫や活用方法の改善。
- ・ Metamoji などを活用し、課題提出ができるように教材研究を行う。

(8) 技術科の実践事例

① 技術科 「D 情報の技術 計測・制御のプログラミングによる問題の解決」

② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図

適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。

構想したプログラムを micro-bit を使用し安全・適切に制作する。

安全・適切なプログラムの制作・動作の確認およびデバッグ等ができる。

③ 活用場面の紹介と子どもの様子

ア. 主体的に「問い」を持ち、自分なりの考えを持つ場面

◎ 自分で考えて、自分の力でプログラミングを作成する活動

- ・ 自分で課題をやってみる。
- ・ 失敗しても何度もチャレンジする

イ. 他者との交流を通し、「問い」が生まれ自分の考えを広げ、深める場面

◎ ワークシートの課題を、マイクロビットを使ってプログラミングで解決する活動

- ・ 困っている友達にヒントを出すなどしてサポートする活動

写真① 使用した micro-bit



写真② プログラミングの様子



写真③ 友達にサポートする様子



授業風景①



授業風景②



④ 成果と課題、課題への対応策

ア. 成果

今年度は、コンピュータを活用し、micro-bit でプログラミング学習をすることで、身の回りには、たくさんのプログラムで動作している製品があることに気づくことや、実際に作ってみたい気持ちと意欲を高め、実際にプログラミングを自分で挑戦しようとする生徒が増えた。

イ. 課題

- ・ 初心者向けのレベルであればほとんどの生徒が主体的に製作することができたが、応用問題（熱中症対策のプログラムなど）では時間のかかる生徒もいたが、自分で製作し、課題が終わった後にも自分でレベルの高い問題に挑戦している生徒も何名かいた。

ウ. 課題への対応策

- ・ 全員同一の課題を用意し、課題を終えた生徒には個別に応用問題などを準備し、取り組ませたほうがより意欲向上につながっていくと感じたが、グループ活動や発表なども積極的に取り入れたい。

(9) 英語科の実践事例

① ねらいとコンピューター活用の意図

ア 全員参加のカフトクイズ

教科書の本文を読む前に、内容と関連したクイズを実施することによって、本文内容に関する興味・関心が高まり、読んでみたい、読んで質問に答えたいという気持ちが高まる。正解数や早押しで競い、集計結果が出るので生徒は喜んで参加している。

イ メタ文字ワークシート

紙媒体のワークシートではなく、メタ文字ワークシートを活用することにより、生徒の答えや意見などが、ペアやグループで即座に共有することができる。学び合い、教え合いの最適なツールとなっている。

ウ タブレットドリル学習

定着が弱い箇所やテスト範囲を中心に、主に復習として、「ミライシード」、「タブレットドリル [東京書籍]」を行い、定着を図っている。

エ デジタル教科書

生徒個人の PC タブレットに入っているデジタル教科書を活用して、進出単語や本文内容の音声指導を行っている。

② 活用場面の紹介と生徒の様子

ア カフト



イ メタ文字



ウ ドリル学習



エ デジタル教科書



③ 成果と課題

ア 成果

生徒個人のレベルや進度に合わせて学習を進めることができるため、主体的な学習になっている。また、答えや意見の共有により、学び合い・教え合い活動が充実してくる。

イ 課題

ICT を活用すべき場面と活用しない方がよい場面が明確化されていない。

ウ 課題への対応策

活動の種類や場面等々、ICT 活用の効果を検証していく。

(10) 特別支援学級（知的 E 組）英語の実践事例

① ねらいとコンピューター活用の意図

ア デジタル教科書

デジタル教科書を活用し、進出単語や本文内容の音声指導を行っている。付属のピクチャーカードや Movie の機能を適宜取り入れることで、英文を読んで理解することが難しい生徒にも大まかな内容を捉えることができるようなツールとなっている。

イ メタ文字

紙媒体のワークシートではなく、メタ文字ワークシートを活用することにより、生徒の答えや意見、個人の考えなどをすぐに共有することができる。画面上で生徒の進捗状況が把握できるので、手が止まっている生徒や、困り感がある生徒に対応しやすい。

ウ Kahoot クイズ

クイズ形式の活動なので、みんなが意欲的に取り組むことができる。○✕問題や、選択問題など、出題の工夫をすることで、どの生徒にも参加しやすい学習環境を設けることができる。授業内容に関するクイズを出題することで、生徒は質問に答えたい、正答したいという姿勢が見られる。画面上に結果が出るので、個々の頑張りを共有することができる。

エ タブレットドリル

定着が弱い箇所やテスト範囲を中心に、主に復習として、「ミライシード」、「タブレットドリル [東京書籍]」を行い、定着を図っている。

② 活用場面の紹介と生徒の様

ア デジタル教科書



イ メタ文字



ウ Kahoot クイズ



エ タブレットドリル



③ 成果と課題

ア 成果 個別の対応、生徒の学習レベルに合わせて授業を進めることができるため、活動内容によっては自分のペースで粘り強く取り組むことができた。ICT の活用機会を増やすことで、深い学び合い・教え合い活動が充実してくる。

イ 課題 生徒の実態にあわせた活用方法、活用場面の精選が必要である。

ウ 課題への対応策 授業展開によっては、ICT を使用せず、紙媒体の取り組みがスムーズな場合もあるので、個々の実態やニーズにあわせた取り入れをしている。

(11) 特別新学級（知的G組）の実践事例

① 教科・単元名 : 数 学 （平方根）

② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図

ねらい : $\sqrt{a}$ を $a\sqrt{b}$ の形に直すには、どのように処理をすればよいのだろうか？

コンピュータ活用の意図 : 知的学級ではあるが、全員が普通高校進学を希望している。ゆえに、当該学年の内容も実施必要がある。生徒が飽きることなく学習できるようにこの単元はタブレットを活用してドリル学習を行うことを目的とする。

③ 活用場面の紹介と子どもの様子

単元学習に活用している場面
メタ文字クラスルームというアプリを用いて
平方根の単元を学習している。

(写真①)



ドリル学習の場面



繰り返し学習ができるので、基本的な
計算問題技能が身についた。

④ 成果と課題、課題への対応策

ア. 成果

- ・タブレット端末を利用したことで、気軽に学習に取り組むことができた。
- ・類題をたくさん取り組むことができ、基礎を定着させることができた。

イ. 課題

- ・教室の通信環境があまり良くないために、問題の配布や提出、書き込みなどに時間がかかることがあった。
- ・教師側がメタ文字クラスルームの機能をより理解して、有効活用できるようにする。

ウ. 課題への対応策

- ・Wifi 環境に関しては、教室内で良好な場所を探したり、臨機応変に紙媒体で授業を行うなどがある。
- ・アプリの理解のための自己研修をより充実させる。

(12) 特別支援学級（情緒H組）の実践事例

① 教科・単元名 : 数学 正負の数（加法）

② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図

本学級は自分の困り感を表現することが難しい生徒が在籍している。1対1の授業の際に課題につまずいていても助けを求めることができなかったことから、ICT機器を利用して生徒の困り感に寄り添った授業ができないか考えたことが活用したきっかけである。

③ 活用場面の紹介と子どもの様子

ア. 生徒の課題の画面（教師用PCより）



イ. 授業の様子



④ 成果と課題、課題への対応策

ア. 成果

- MetaMoji ClassRoom で課題を提示したことで、教師用PCから丸つけしたり生徒が何を書いているか確認したりすることができた。
- 困った時やわからないときは「？」ボタンを押してもらうことで、発言せずに教師へサインを送ることができた。
- 紙に書いているような感覚なので、計算スペースが取りやすい。

イ. 課題

- 教師と個人間でのやりとりしか行っておらず、グループ活動ができなかった。

ウ. 課題への対応策

- グループ活動ページを活用してグループ活動を実施する。

(11) 特別支援学級（情緒J組）の実践事例

① 教科・単元名 : 各教科の授業

② 本時のねらいとコンピュータ活用の意図

ねらい：リモートによる授業参加を行う。/自主学习ツールとして活用する。

コンピュータ活用の意図：別室登校生徒の自主学习における手助け。

○本学級には集団に対する緊張感から自身の支援学級に入室することができない生徒が在籍しており、登校した際には教室の隣の空き教室で一日を過ごしている。その際の自主学习の手助けとして、各教科の練習問題が解ける「ミライシード」や、動画視聴番組などを活用している。また、通常学級や支援学級で行っている授業を、支援学級や別室登校の生徒へリモート配信するなどして、学習の遅れが生まれないような支援のツールとして活用している。

③ 活用場面の紹介と子どもの様子

ア. 各教科授業の場面

写真①・②動画視聴の場面NHK for school) を用いた学習

写真②既習事項の復習



イ. リモート配信している様子

写真③情緒学級での授業

写真④リモート配信を視聴している様子



④ 成果と課題、課題への対応策

ア. 成果

- ・自主学习の手助けとなっている。
- ・孤立しがちな別室登校の生徒にも同じ内容の授業を届けることができ、生徒への学習に対する安心感を与えている。

イ. 課題

- ・ICT 機器が繋がらないなどのトラブル。

ウ. 課題への対応策

- ・ICT トラブルが起こった場合はリモート配信を中止し、別室登校の生徒は自主学习へと切り替える。

Ⅱ 恩納村学力向上対策専門部会活動報告

1 学校教育推進部会

〈各幼稚園及び小中学校の実践報告〉

- | | | | |
|-----|--------|---|--------|
| (1) | 安富祖幼稚園 | ・ | 安富祖小学校 |
| (2) | 恩納幼稚園 | ・ | 恩納小学校 |
| (3) | 仲泊幼稚園 | ・ | 仲泊小学校 |
| (4) | 山田幼稚園 | ・ | 山田小学校 |



恩納村立安富祖幼稚園の取組

主題： 互いのよさに気づき、人と関わる力を育むための援助の工夫

～ 園における遊びを通して～

1. テーマ設定の理由

幼稚園教育要領の人間関係の項目において、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」とある。昨今では、地域活動や異年齢児との関わりなど社会生活の経験が少なく、人間関係において身近な人と親しみ関わるのが減りつつある。本園の幼児は、友達との関わりを好み誘い合って遊びを進めていこうとする姿はみられるが、関わり方や言葉使いに苦手さがあり、相手の気持ちがあくみ取れずトラブルが起きてしまう様子がみられる。トラブルの際も自己主張が多く、相手の思いを聞き入れようとする姿があまりみられない。

幼児は教師との信頼関係に支えられて自己を発揮し、教師や他の幼児に認められる体験をくり返し重ねることで満足感や充実感を味わうことができると考える。さらに友達の姿に共感し相手に親しみをもち互いを認め合うことができるだろう。幼児が他の幼児との関わりの中で互いの良さに気づき、相手を尊重する気持ちを共有することによって自己を調整する気持ちが育まれていくと考える。そこで互いの良さに気づき、人と関わる力を育むための援助のあり方を目指し本テーマを設定した。

2. 研究仮説

- (1) 自己を発揮できる場を設定し、自分の力で行う充実感や満足感を味わえるようにすることで、自信をつけ様々な活動に意欲的に取り組むことができるようになると思う。また相手のよさに気づき、お互いを認め合い尊重し合える関係を築けるようになると思う。
- (2) 友達との共通の目的をもって活動をする中で、目的を達成するために気持ちの折り合いを付ける体験を重ねることで、その思いに気づき決まりの必要性などに理解し、自分の気持ちを調整する力を育むことができると思う。

3. 幼児の実態

(1) 安富祖幼稚園について

1組担任：教諭 山本 鉄平 男子：6人 女子：7人 合計：13人

(2) 幼児の特徴

1つの保育所から入園してきた園児が大多数をしめている。活発で好奇心旺盛な幼児が多いが、人的、物的環境への適切な関わりが難しく、自分の気持ちを押し通そうとする姿や相手の気持ちを受け止めて遊びを進めたり、協力して生活を進めたりすることが難しい様子が見られる。

4. 指導の実際

事例1 発表タイム（自分の発表を聞いてもらい、友達の思いに気付く場）

【幼児の姿】

遊びや活動を楽しんでいるが、場を共有していても友達と協同して遊びを進める姿があまり見られない。また、遊びを共有しようとするたびトラブルに繋がることが多い。

【教師の願い】

自分の発表を聞いてもらう体験を重ねることで、聞いてもらう喜びを味わい、自信を深めてほしい。また、友達の発表に関心を持ち、思いや考えに共感したり、友達の作品やがんばった姿を認めたりすることで、友達に親しみをもち、受容する心を育んでほしい。

【環境構成】

一日を振り返る発表タイムの場を設けた。

【教師の援助】

幼児の発表に対する発問を工夫することで、他児が関心を持つことができるように心掛けた。また、学級で共有したい幼児の姿を教師が取り上げて紹介する場面を作ることで、学級全体が関心を持つことができるように工夫した。さらに、グッジョブ運動を提案した。

【幼児の変容】

少しずつ友達の発表に対する質問や発表の補足をする姿が見られるようになり、他児の発表への関心の高まりが感じられるようになった。

また、友達の発表を聞くことで、自分も同じ遊びをしてみたいという幼児が増え、教え合いや共通の目的を見いだして遊びを進める姿が見られるようになった。

グッジョブ運動を提案し継続的に実践したことで、発表タイム以外の時間にも幼児達によって、友達の姿に「グッジョブ。」や「ドンマイ。」と声をかけ合う姿が見られるようになった。

**事例2 スポーツタイム（全身を使って遊ぶことができる場）****【幼児の姿】**

園庭が使用できず十分に体を動かす心地よさを味わう姿が見られなかった。また、室内での好きな遊びで友達とトラブルになることが多く、自分の思いを言葉で相手に伝えることが難しい様子が見られた。

【教師の願い】

十分に体を動かす心地よさを味わうことで満足し、安定感をもって行動し、生き生きと活動に取り組むようになってほしい。

また、安定感を持って行動することで友達の良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わってほしい。

【環境構成】

週に2回小学校の運動場や体育館を利用し、十分に体を動かすことのできる時間を設定した。

【教師の援助】

幼児が自由に体を動かす時間を設けて、心地よさを味わう様子を見守ると共に、動きや活動を提案し、多様な動きを経験し楽しむことができるよう配慮した。

【幼児の変容】

思い思いに体を動かす中で心地よさだけでなく、満足感を味わう姿が見られた。そして、友達への関わり方が優しくなっていく様子が見られた。

また、教師が提案した活動を展開する中で、ルールを守って活動を進める大切さや友達と協力することで活動が深まる充実感を味わう姿が見られた。



5. 考察

成果

- (1) 賞賛や友達を認める姿が増え、友達に教えてもらったり、進んで教えようとしたりする姿が見られるようになった。
- (2) 発表に消極的だった園児も友達の姿を見て発表するようになり、自信を深める様子が見られた。
- (3) スポーツタイムを通して、自分達で役割を分担して活動を進める姿や協力し合った友達に感謝する姿が見られるようになった。
- (4) 事例以外の活動や遊び、生活を一緒に進めようとする姿や自分達で決めたルールを守って遊びを進めようとする姿が見られるようになった。

課題

- (1) 発表タイムで十分な時間を確保できず、限られた人数しか発表ができないため、友達に聞いてもらう機会を十分に得られない。
- (2) スポーツタイムは小学校の施設を利用しているため、幼児が体を動かすための環境を残しておくことができず、その都度環境を再構成する必要がある、活動時間を十分に確保することが難しい。

今後の手立て

- (1) 1日の生活の流れを工夫し時間の環境を整えることで、発表タイムの時間を確保する。
- (2) スポーツタイムでの活動の流れを定着させ、幼児達自身で準備や片づけを進めたり、環境を構成している間も幼児達自身で遊びや活動を展開したりできるように導くことが必要である。

恩納村立安富祖小学校の取組

主題：自ら学ぶ力を育成するための家庭学習への取組

1. 目標

中学校1学年終了時まで「自学自習力」を身につけさせる。

2. 本校が取り組んでいる家庭学習（自学自習と宿題等）について

本校では「確かな学力の向上」を目指し家庭学習の習慣を身につけるため、授業と連動し自分で課題を見つけて行う「自学自習」と学級担任等が既習事項の確認や習熟を図るため等に出す「宿題」、「音読」を加えた3つの視点をもって行っている。

児童一人ひとりが主体的な学びを実現するため、校内研修においても「授業と連動した家庭学習」に注力し、「計画、テスト、分析、練習」（けてぶれ）の一連の流れを参考に、自学自習力の向上に向け、全校体制で家庭学習の在り方を模索している。児童が自分自身の課題を把握し、その課題解決のためにどのような学習に取り組めばよいか、まずは算数科の授業におけるまとめ・振り返りをもとに家庭学習のめあてを立て、問題を解き、振り返るという学習形態を定着させていきたいと考え実践している。音読を含めた読書活動は、読書旬間等において図書館司書によるアイデアで興味をもって読書活動に取り組み、親子読書につながる取り組みも行っている。

評価等については、毎日提出してもらい、担任はすき間時間等を利用して確認しコメントを入れたり、授業の始まりに家庭学習の取り組みについて共有を図ったりしている。

学習時間の目安（15分×学年）

【低学年】基本的な学習習慣を身につける。・・・15分～30分

【中学年】自主的な学習習慣を身につける。・・・45分～60分

【高学年】自学自習の習慣を身につける。・・・75分～90分

【全学年統一した宿題の取り組み】

朝学習で行った漢字2文字を漢字ドリルノートを活用し、練習に取り組む。



3. 各学年の取組実践

1 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」を行う。「宿題」には、学校で統一されている「漢字ドリルノート」やプリントも活用している。学習と連動した課題のお手本を配布したり、家庭で問題を書いてもらったり協力を得ている。

(1) 「宿題」について (写真①)

①生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・週予定を配布、翌日の日程、持ち物確認を行う。
- ・毎日、日記を書くことを通して生活を振り返る。

②基礎学力を身につける (その日の授業の復習)

- ・写本 (お手本：漢字の使い方やたし算、ひき算数などの式)、漢字の学習 (くりかえし漢字ドリル)、計算問題 (くりかえし計算ドリル)
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・習熟を図るための練習プリント

(2) 「授業と連動した宿題」について (写真②)

国語では、ことば集め、カタカナで書くことば集め、計算問題 (さくらんぼ計算) のお手本を写し答えを宿題で書いてくる。今日学習した漢字を「漢字ドリルノート」を活用して練習する。

家庭で問題を書いてもらい、答えを書いて自学自習として取り組んでいる。

(3) 身につけさせたい力

- | | |
|-----------------|-----------|
| ① 学習習慣 (毎日続ける力) | ② 基礎学力の定着 |
| ③ 読む力 | ④ 書く力 |

(4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して確認し、検印とコメントを入れる。
- ・漢字ドリルやプリントは家庭で○をつけてもらうかサイン等の協力を得ている。家庭、担任のサインをもらう。(宿題に取り組めなかった場合は、休み時間に取り組ませている)
- ・宿題プリントの正誤などの確認は、授業前や休み時間などのすきま時間に行っている。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

○日記に取り組むことで、生活作文など自分の言葉で書けるようになってきた。文や句読点の意識もできるようになってきた。

○毎日家庭学習を行うことができた児童は、全体の約 75%。

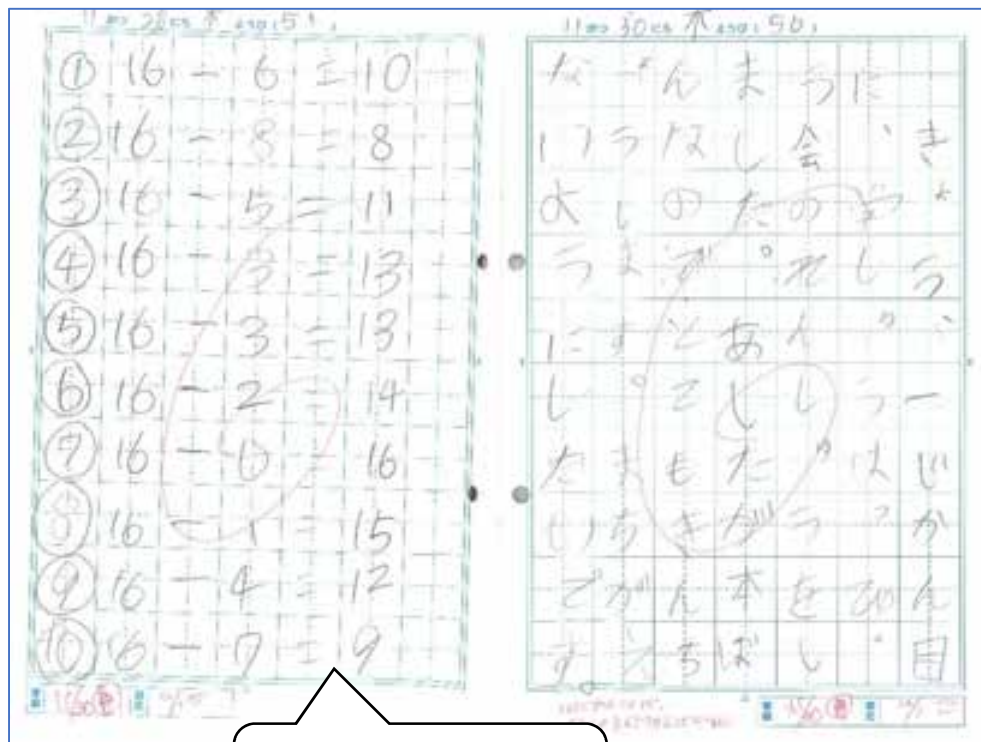
△家庭のサインや○付け、63%→お手紙やコメント等で協力を再度依頼する。

△家庭学習の習慣化

→家庭とも連携を図り、個々にあった内容を確認しながら継続して指導を行う。

△自分の苦手なところをみつけ、自学自習として取り組む。 →3 学期より取り組む。

宿題（写真①）

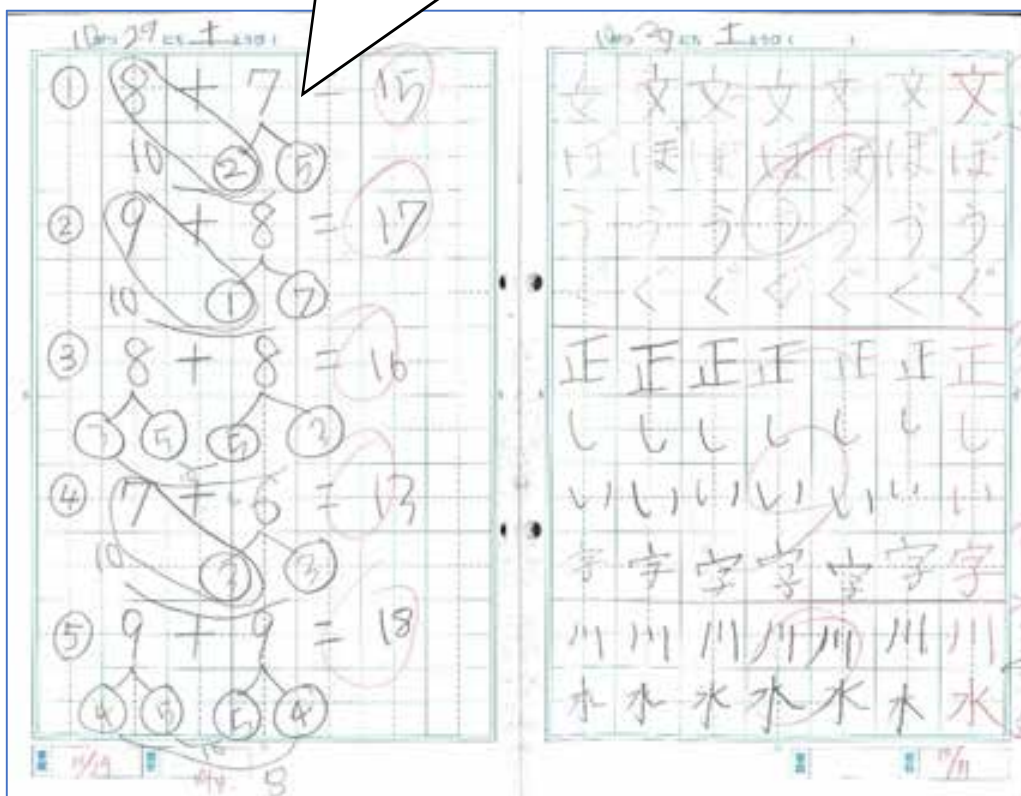


式はお手本を見て、答えを家で書いてきます。

写真②

授業と連動した学習

さくらんぼ計算。10をつくり、10といくつでこたえをだします。



2 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。授業と連動した自学自習の計画を自分で立てる際、「教科書の練習問題」「くりかえし計算ドリル」、タブレットの「ミライム」も活用している。

(1) 「宿題」について (写真①)

①生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・行事や集会があった日等、日記を通して振り返る。

②基礎学力を身につける (その日の授業の復習)

- ・写本 (教科書)、漢字の学習 (くりかえし漢字ドリル)、計算問題 (くりかえし計算ドリル)
- ・教科書の問題を写して解く。
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・習熟を図るための練習プリント

(2) 「自学自習」について (写真②)

算数科の授業における振り返りをもとに、「教科書」や「くりかえし計算ドリル」を活用し、その日の自分の課題等を見つけ、そのために何をするか目的意識をもって取り組んでいる。

(3) 身につけさせたい力

①学習習慣

②粘り強くやり抜く力 (継続する力)

③計画し、実践する力

④基礎学力の定着

⑤書く力

(4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して確認し、検印とコメントを入れる。
- ・漢字ドリルを活用した場合、基本、保護者に丸つけはお願いしている。丸付けがされていない児童は担任が正しい字が書けているか確認をし、休み時間や放課後、間違った漢字を直させている。
- ・計算ドリルを活用した場合、基本、保護者に丸つけはお願いしている。丸付けがされていない児童へは一緒に丸つけをしたり、答えを見て丸付けをさせたりしている。
- ・宿題プリントの正誤などの確認は、保護者にお願いしている。丸付けされていない児童へは休み時間に直させている。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

○日記を上手に書けるようになった子が増えてきた。

○毎日 9 割の児童が家庭学習を行うことができた。

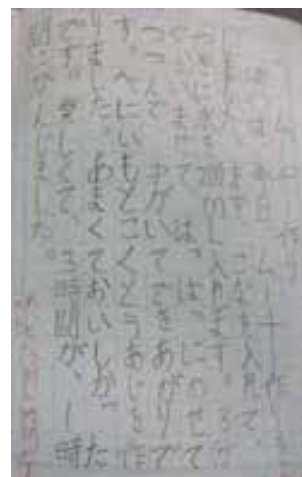
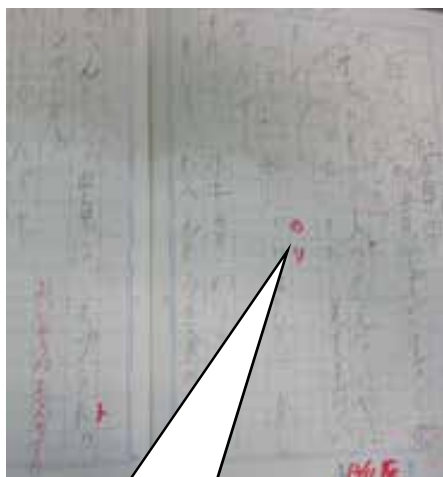
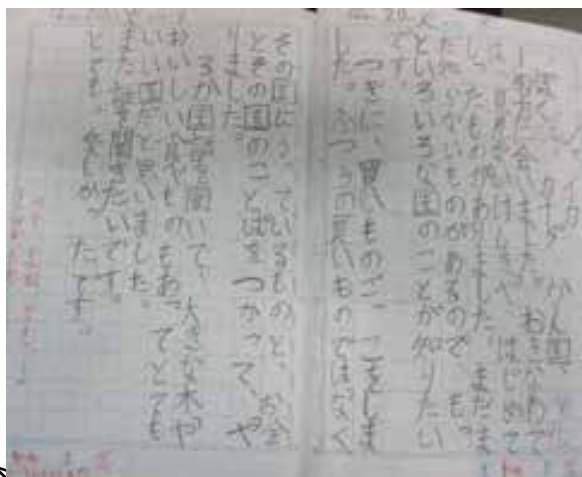
△家庭学習の習慣化

→家庭とも連携を図り、丸付けや保護者からのコメント等をお願いして継続して指導を行う。

△授業と家庭学習の連動 (出された宿題はやるが、自学自習がまだ未定着の子がいる。)

→自学自習ができるように授業の中で振り返りを書いて、家庭学習でやる内容を考えられるように声かけをする。

宿題（写真①）



保護者からのサインとコメントが添えてあります。

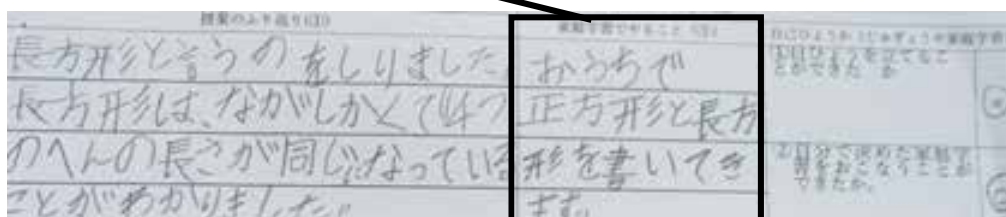
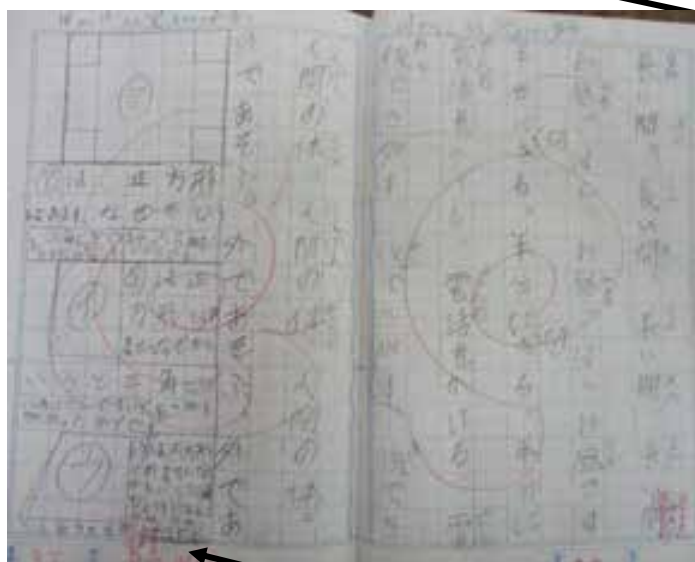
保護者が間違いを直して書き直しをしています。

学習した漢字や単位を使って日記を書くことができるようになりました。

写真②



授業の振り返りをもとに家庭学習でやることを決め、自学自習を行っています。



3 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」には、市販されている「漢字ドリルノート」も活用している。授業と連動した自学自習の計画を立てる際、「くりかえし計算ドリル」も活用している。

(1) 「宿題」について

①生活習慣を身につける（年間を通して実施）

- ・翌日の日程、持ち物確認を行う。
- ・行事や集会があった日等、日記を通して振り返る。

②基礎学力を身につける（その日の授業の復習・書く力）

- ・写本（教科書）、漢字の学習（くりかえし漢字ドリル）、計算問題（くりかえし計算ドリル）
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・はじめ・中・終わりの組み立てで日記を書く。（写真①）

(2) 「自学自習」について（写真②）

- ・算数科の授業におけるまとめや振り返りをもとに、「教科書」や「くりかえし計算ドリル」を活用し、その日の自分の学習課題を決めて取り組んでいる。
学習後はABCの三段階の自己評価を行い家庭学習の振り返りを行っている。
- ・算数科の授業におけるまとめや振り返りをもとに、教師が設定した家庭学習の課題にどのように取り組むか、学習のめあてをたてて取り組んでいる。

(3) 身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力
- ⑥自己学習力（自分で決めて学習する力）や
自己マネジメント力（自分の振り返りをしてより良くする力）

(4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して、自分で学習課題を決めて取り組んでいるか、または課題に合った学習のめあてをたてられているか確認し、検印とコメントを入れる。
- ・宿題プリントの正誤などの確認は、授業前や朝の会終了後などのすきま時間に行っている。

(5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

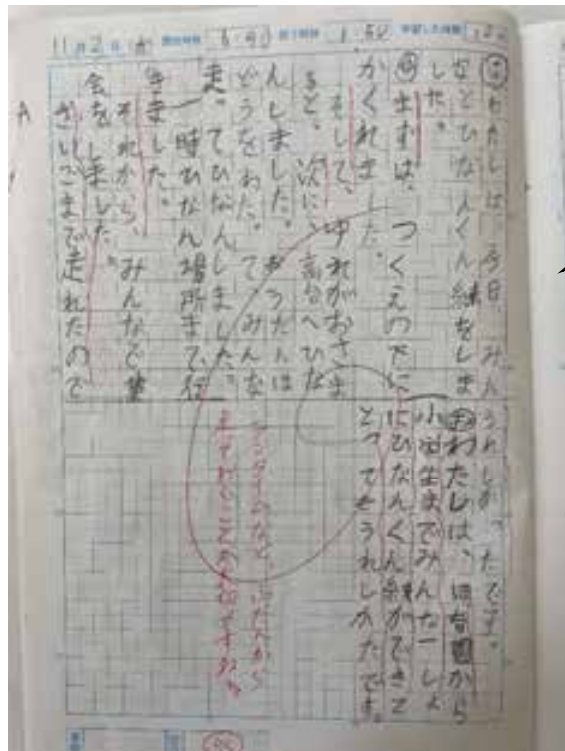
- 振り返りをもとに自己分析し、学習のめあてを立てたり、学習課題を設定したりするのが上手になってきた。
- 毎日家庭学習を行うことができた児童は、全体の約87.5%。
- △家庭学習の習慣化

→家庭とも連携を図り、個々にあった内容を確認しながら継続して指導を行う。

△授業と家庭学習の連動

→予習にも取り組ませる。(発達段階を考慮しながら)

宿題 (写真①)



行事等があったときに日記で振り返る。

その際、「はじめ・中・終わり」で書いている。

自学自習について (写真②)



授業のまとめやふりかえりからめあてを立てる。

難しいときは、その日の授業の学習内容を書いている。

自分の立てためあてに
そって家庭学習ができたか、自己評価をつけている。

学習課題とめあてを設定し、それらにそった問題を自分で作って解いている。

4 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」には、市販されている「漢字ドリルノート」「計算ドリル」「算数形成確認プリント」等も活用している。

また、授業と連動した「自学自習」に取り組ませるため、主に算数科において、授業のふり返りを元に家庭学習のめあてを立てるように声かけしている。

(1)「宿題」について (写真①)

①基礎基本の定着。

- ・漢字の学習（くりかえし漢字ドリル）、計算問題（くりかえし計算ドリル）
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・算数科形成確認プリント
- ・その他習熟を図るための練習プリント

②生活習慣を身につける。

- ・日記を通して行事や休日の出来事を振り返るとともに、文章力と漢字力を養う。

(2)「自学自習」について (写真①②)

- ・算数科の授業における振り返りをもとに「自学自習」のめあてを立てさせ、「本時のノート」や「教科書」,「くりかえし計算ドリルを活用し、その日の自分の課題等に取り組ませている。
- ・予習に取り組んでくる子も増えてきている。

(3) 身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ③計画し、実践する力
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力

(4) 評価等の方法

- ・毎日提出させ、担任が検印とコメントを入れる。
- ・計算ドリルを活用した場合、自分で丸付けを行い、間違いは直してくるよう声かけを行っている。（直していない場合は、休み時間取り組ませている）
- ・宿題プリントは担任がチェックし、その日でやり直しまで行わせている。

(5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

○家庭学習の習慣が身についている子が多い。

○授業の振り返りをもとに自学自習に取り組めるようになってきた。

△自学自習の質の向上

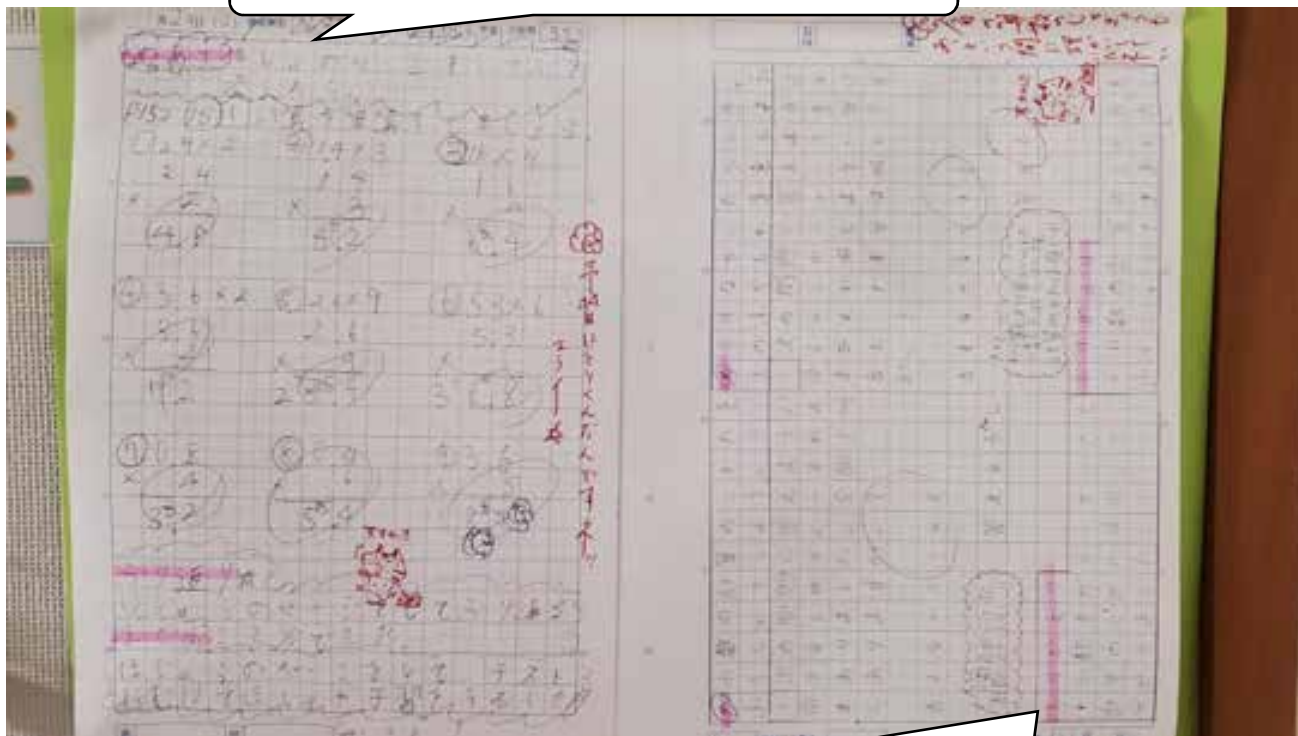
→互いにノートを見せ合ったり、授業で取り上げることで、子どもの意欲・向上心を高める。

△授業と家庭学習の連動

→予習や算数科以外の教科にも取り組ませる。

宿題（写真①）

自学自習のめあてを自分で立てて取り組んでいます。

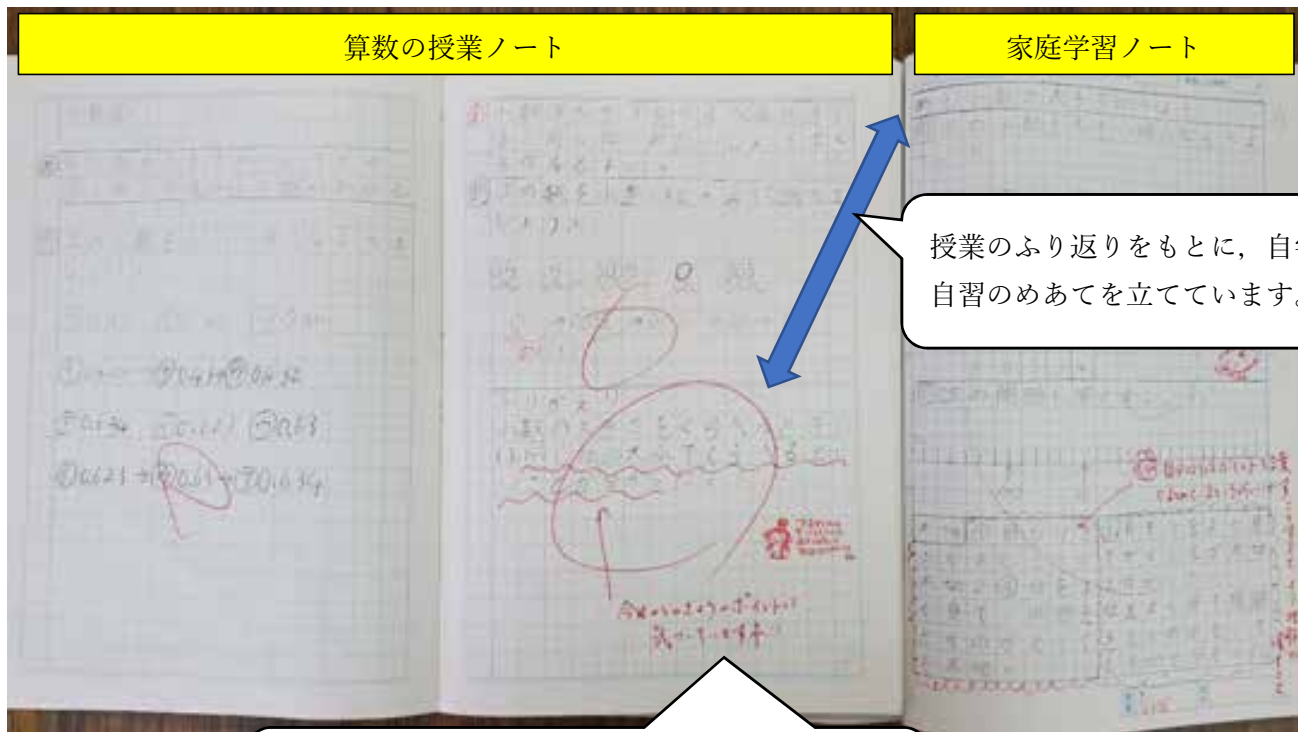


自学自習のふり返りを書いてくる子もいます。

写真②

算数の授業ノート

家庭学習ノート



授業のふり返りをもとに、自学自習のめあてを立てています。

授業のノートや家庭学習のノートにできるだけコメントを書いてあげられるよう努めています。

5 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」には、市販されている「漢字ドリルノート」も活用している。授業と連動した自学自習の計画を立てる際、「くりかえし計算ドリル」も活用している。

(1) 「宿題」について (写真①)

①生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・翌日の日程、持ち物確認を行う。
- ・行事や集会があった日等、日記を通して振り返る。

②基礎学力を身につける (その日の授業の復習)

- ・写本 (教科書)、漢字の学習 (くりかえし漢字ドリル)、計算問題 (くりかえし計算ドリル)
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・けテぶれ学習
- ・習熟を図るための練習プリント

(2) 「自学自習」について (写真②)

算数科の授業における振り返りをもとに、「教科書」や「くりかえし計算ドリル」を活用し、その日の自分の課題等を見つけ、そのために何をするか目的意識をもって取り組んでいる。

(3) 身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③計画し、実践する力
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力

(4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して確認し、検印とコメントを入れる。
- ・計算ドリルを活用した場合、基本、自分で丸付けを行い、間違いは直してくるよう声かけを行っている。(直していない場合は、休み時間取り組ませている)
- ・宿題プリントの正誤などの確認は、授業前や朝の会終了後などのすきま時間に行っている。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

○振り返りをもとに自学自習の計画が上手になってきた。

○毎日家庭学習を行うことができた児童は、全体の約 75%。

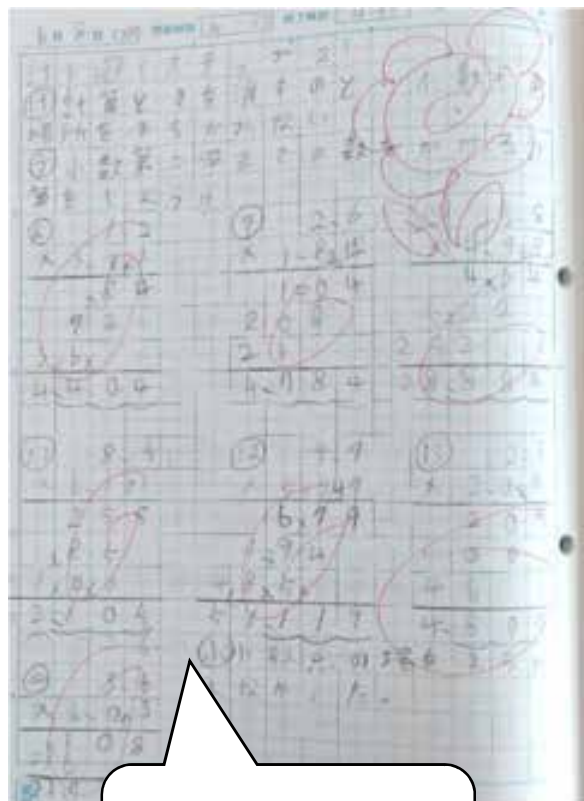
△家庭学習の習慣化

→家庭とも連携を図り、個々にあった内容を確認しながら継続して指導を行う。

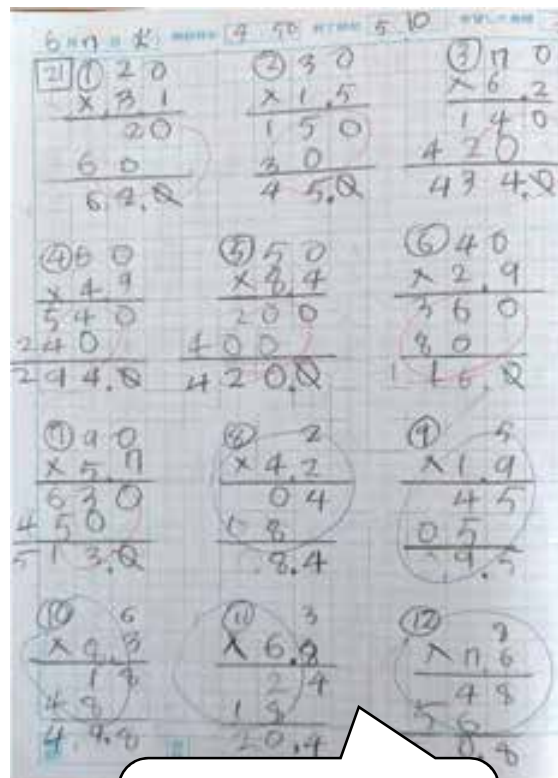
△授業と家庭学習の連動

→予習にも取り組ませる。(発達段階を考慮しながら)

宿題（写真①）

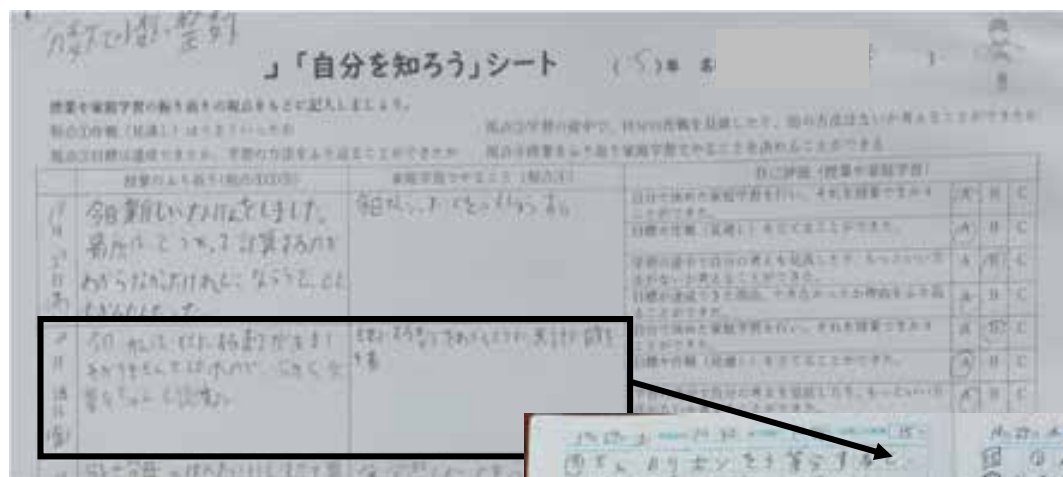


⑦⑧⑨⑩学習に取り
組んでいます。

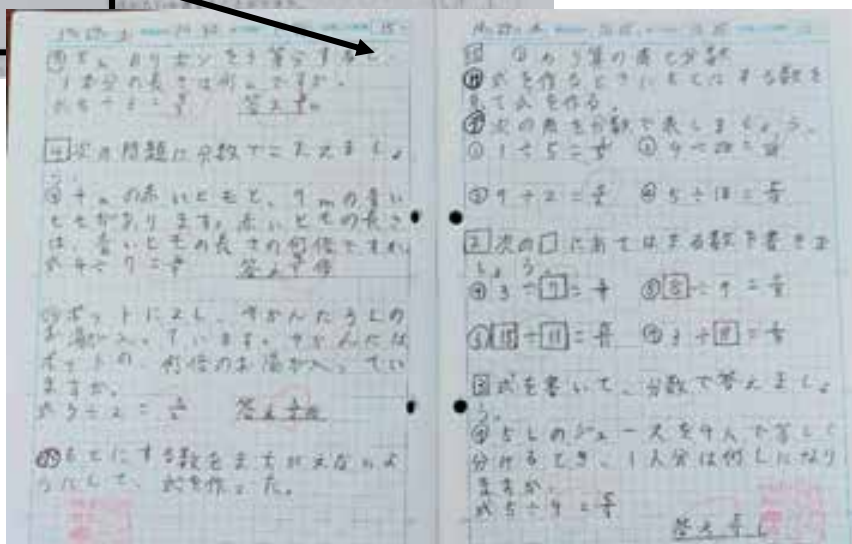


間違えた問題をもう一度
行い、青ペンで丸を付け
ている。

写真②



授業の振り返りを
もとに家庭学習で
やることを決め、
「けてぶれ学習」
を実行していま
す。



6 学年の家庭学習の取組実践

毎日の取り組みとして、家庭学習帳「きらきらノート」を配布したり、プリントを配布したりしている。児童は、「宿題」と「自学自習」を行っている。

「宿題」には、市販されている「漢字ドリルノート」「計算ドリル」「算数形成確認プリント」も活用している。

「自学自習」では、授業と連動した自学自習の計画を立てている。授業の中で振り返ったことをもとに、各児童が理解度に応じて復習や予習を選択している。その際「くりかえし計算ドリル」や学習アプリの「ミライシード」も活用している。

(1) 「宿題」について (写真①)

① 基礎学力を身につける (復習や予習)

- ・ 計算問題 (くりかえし計算ドリル)
- ・ 漢字の学習 (くりかえし漢字ドリル)、別冊「漢字ドリルノート」
- ・ 習熟を図るための練習プリント

② 生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・ 翌日の日程、持ち物確認を行う。
- ・ 行事や集会があった日等、日記を通して振り返る。

(2) 「自学自習」について (写真①)

算数科の授業における振り返りをもとに、「教科書」や「くりかえし計算ドリル」を活用し、「けてぶれ学習」に取り組んでいる。授業の中で、自分の課題を見つけ、そのために何をするか目的意識をもって取り組んでいる。また、社会科で興味を持ったことを調べたり、PowerPoint にまとめたりする学習にも取り組んでいる。

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③ 計画し、実践する力 (自学自習力)
- ④ 基礎学力の定着
- ⑤ 書く力

(4) 評価等の方法

- ・ 毎朝の提出し、担任の休み時間を使って点検している。
- ・ 計算ドリルやプリントは、児童に解答を配布し、自己解答から分析、間違い直しまでを家庭学習の中で行えるよう指導している。(解答までしたものを担任が確認)
- ・ 授業の始まりに家庭学習の取り組みについて共有している。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

○授業終盤に家庭学習で取り組むことを計画しているので、各自授業の理解度に応じた自主的な学習ができてきている。

○予習や復習を通して学習の定着が図れ、授業での学習意欲の向上に繋がっている。

△家庭学習への取り組みが持続しない児童がいる。

→取り組み時間など家庭との連携を深めていく。授業の中で、さらに取り組みを意識させる。

△ミライシードの活用がネット環境で利用できない児童がいる。

→家庭の Wi-Fi 環境の聞き取りを行い、ICT アドバイザーへ支援を求める。

[illegible]

① $\frac{1}{2} \times \frac{2}{3} = \frac{1 \times 2}{2 \times 3} = \frac{2}{6} = \frac{1}{3}$
 ② $\frac{1}{3} \times \frac{3}{4} = \frac{1 \times 3}{3 \times 4} = \frac{3}{12} = \frac{1}{4}$
 ③ $\frac{1}{4} \times \frac{4}{5} = \frac{1 \times 4}{4 \times 5} = \frac{4}{20} = \frac{1}{5}$
 ④ $\frac{1}{5} \times \frac{5}{6} = \frac{1 \times 5}{5 \times 6} = \frac{5}{30} = \frac{1}{6}$
 ⑤ $\frac{1}{6} \times \frac{6}{7} = \frac{1 \times 6}{6 \times 7} = \frac{6}{42} = \frac{1}{7}$
 ⑥ $\frac{1}{7} \times \frac{7}{8} = \frac{1 \times 7}{7 \times 8} = \frac{7}{56} = \frac{1}{8}$
 ⑦ $\frac{1}{8} \times \frac{8}{9} = \frac{1 \times 8}{8 \times 9} = \frac{8}{72} = \frac{1}{9}$
 ⑧ $\frac{1}{9} \times \frac{9}{10} = \frac{1 \times 9}{9 \times 10} = \frac{9}{90} = \frac{1}{10}$
 ⑨ $\frac{1}{10} \times \frac{10}{11} = \frac{1 \times 10}{10 \times 11} = \frac{10}{110} = \frac{1}{11}$
 ⑩ $\frac{1}{11} \times \frac{11}{12} = \frac{1 \times 11}{11 \times 12} = \frac{11}{132} = \frac{1}{12}$
 ⑪ $\frac{1}{12} \times \frac{12}{13} = \frac{1 \times 12}{12 \times 13} = \frac{12}{156} = \frac{1}{13}$
 ⑫ $\frac{1}{13} \times \frac{13}{14} = \frac{1 \times 13}{13 \times 14} = \frac{13}{182} = \frac{1}{14}$
 ⑬ $\frac{1}{14} \times \frac{14}{15} = \frac{1 \times 14}{14 \times 15} = \frac{14}{210} = \frac{1}{15}$
 ⑭ $\frac{1}{15} \times \frac{15}{16} = \frac{1 \times 15}{15 \times 16} = \frac{15}{240} = \frac{1}{16}$
 ⑮ $\frac{1}{16} \times \frac{16}{17} = \frac{1 \times 16}{16 \times 17} = \frac{16}{272} = \frac{1}{17}$
 ⑯ $\frac{1}{17} \times \frac{17}{18} = \frac{1 \times 17}{17 \times 18} = \frac{17}{306} = \frac{1}{18}$
 ⑰ $\frac{1}{18} \times \frac{18}{19} = \frac{1 \times 18}{18 \times 19} = \frac{18}{342} = \frac{1}{19}$
 ⑱ $\frac{1}{19} \times \frac{19}{20} = \frac{1 \times 19}{19 \times 20} = \frac{19}{380} = \frac{1}{20}$
 ⑲ $\frac{1}{20} \times \frac{20}{21} = \frac{1 \times 20}{20 \times 21} = \frac{20}{420} = \frac{1}{21}$
 ⑳ $\frac{1}{21} \times \frac{21}{22} = \frac{1 \times 21}{21 \times 22} = \frac{21}{462} = \frac{1}{22}$
 ㉑ $\frac{1}{22} \times \frac{22}{23} = \frac{1 \times 22}{22 \times 23} = \frac{22}{506} = \frac{1}{23}$
 ㉒ $\frac{1}{23} \times \frac{23}{24} = \frac{1 \times 23}{23 \times 24} = \frac{23}{552} = \frac{1}{24}$
 ㉓ $\frac{1}{24} \times \frac{24}{25} = \frac{1 \times 24}{24 \times 25} = \frac{24}{600} = \frac{1}{25}$
 ㉔ $\frac{1}{25} \times \frac{25}{26} = \frac{1 \times 25}{25 \times 26} = \frac{25}{650} = \frac{1}{26}$
 ㉕ $\frac{1}{26} \times \frac{26}{27} = \frac{1 \times 26}{26 \times 27} = \frac{26}{702} = \frac{1}{27}$
 ㉖ $\frac{1}{27} \times \frac{27}{28} = \frac{1 \times 27}{27 \times 28} = \frac{27}{756} = \frac{1}{28}$
 ㉗ $\frac{1}{28} \times \frac{28}{29} = \frac{1 \times 28}{28 \times 29} = \frac{28}{812} = \frac{1}{29}$
 ㉘ $\frac{1}{29} \times \frac{29}{30} = \frac{1 \times 29}{29 \times 30} = \frac{29}{870} = \frac{1}{30}$
 ㉙ $\frac{1}{30} \times \frac{30}{31} = \frac{1 \times 30}{30 \times 31} = \frac{30}{930} = \frac{1}{31}$
 ㉚ $\frac{1}{31} \times \frac{31}{32} = \frac{1 \times 31}{31 \times 32} = \frac{31}{992} = \frac{1}{32}$
 ㉛ $\frac{1}{32} \times \frac{32}{33} = \frac{1 \times 32}{32 \times 33} = \frac{32}{1056} = \frac{1}{33}$
 ㉜ $\frac{1}{33} \times \frac{33}{34} = \frac{1 \times 33}{33 \times 34} = \frac{33}{1122} = \frac{1}{34}$
 ㉝ $\frac{1}{34} \times \frac{34}{35} = \frac{1 \times 34}{34 \times 35} = \frac{34}{1190} = \frac{1}{35}$
 ㉞ $\frac{1}{35} \times \frac{35}{36} = \frac{1 \times 35}{35 \times 36} = \frac{35}{1260} = \frac{1}{36}$
 ㉟ $\frac{1}{36} \times \frac{36}{37} = \frac{1 \times 36}{36 \times 37} = \frac{36}{1332} = \frac{1}{37}$
 ㊱ $\frac{1}{37} \times \frac{37}{38} = \frac{1 \times 37}{37 \times 38} = \frac{37}{1406} = \frac{1}{38}$
 ㊲ $\frac{1}{38} \times \frac{38}{39} = \frac{1 \times 38}{38 \times 39} = \frac{38}{1482} = \frac{1}{39}$
 ㊳ $\frac{1}{39} \times \frac{39}{40} = \frac{1 \times 39}{39 \times 40} = \frac{39}{1560} = \frac{1}{40}$
 ㊴ $\frac{1}{40} \times \frac{40}{41} = \frac{1 \times 40}{40 \times 41} = \frac{40}{1640} = \frac{1}{41}$
 ㊵ $\frac{1}{41} \times \frac{41}{42} = \frac{1 \times 41}{41 \times 42} = \frac{41}{1722} = \frac{1}{42}$
 ㊶ $\frac{1}{42} \times \frac{42}{43} = \frac{1 \times 42}{42 \times 43} = \frac{42}{1806} = \frac{1}{43}$
 ㊷ $\frac{1}{43} \times \frac{43}{44} = \frac{1 \times 43}{43 \times 44} = \frac{43}{1892} = \frac{1}{44}$
 ㊸ $\frac{1}{44} \times \frac{44}{45} = \frac{1 \times 44}{44 \times 45} = \frac{44}{1980} = \frac{1}{45}$
 ㊹ $\frac{1}{45} \times \frac{45}{46} = \frac{1 \times 45}{45 \times 46} = \frac{45}{2070} = \frac{1}{46}$
 ㊺ $\frac{1}{46} \times \frac{46}{47} = \frac{1 \times 46}{46 \times 47} = \frac{46}{2162} = \frac{1}{47}$
 ㊻ $\frac{1}{47} \times \frac{47}{48} = \frac{1 \times 47}{47 \times 48} = \frac{47}{2256} = \frac{1}{48}$
 ㊼ $\frac{1}{48} \times \frac{48}{49} = \frac{1 \times 48}{48 \times 49} = \frac{48}{2352} = \frac{1}{49}$
 ㊽ $\frac{1}{49} \times \frac{49}{50} = \frac{1 \times 49}{49 \times 50} = \frac{49}{2450} = \frac{1}{50}$
 ㊾ $\frac{1}{50} \times \frac{50}{51} = \frac{1 \times 50}{50 \times 51} = \frac{50}{2550} = \frac{1}{51}$
 ㊿ $\frac{1}{51} \times \frac{51}{52} = \frac{1 \times 51}{51 \times 52} = \frac{51}{2652} = \frac{1}{52}$
 ① $\frac{1}{52} \times \frac{52}{53} = \frac{1 \times 52}{52 \times 53} = \frac{52}{2756} = \frac{1}{53}$
 ② $\frac{1}{53} \times \frac{53}{54} = \frac{1 \times 53}{53 \times 54} = \frac{53}{2862} = \frac{1}{54}$
 ③ $\frac{1}{54} \times \frac{54}{55} = \frac{1 \times 54}{54 \times 55} = \frac{54}{2970} = \frac{1}{55}$
 ④ $\frac{1}{55} \times \frac{55}{56} = \frac{1 \times 55}{55 \times 56} = \frac{55}{3080} = \frac{1}{56}$
 ⑤ $\frac{1}{56} \times \frac{56}{57} = \frac{1 \times 56}{56 \times 57} = \frac{56}{3192} = \frac{1}{57}$
 ⑥ $\frac{1}{57} \times \frac{57}{58} = \frac{1 \times 57}{57 \times 58} = \frac{57}{3306} = \frac{1}{58}$
 ⑦ $\frac{1}{58} \times \frac{58}{59} = \frac{1 \times 58}{58 \times 59} = \frac{58}{3422} = \frac{1}{59}$
 ⑧ $\frac{1}{59} \times \frac{59}{60} = \frac{1 \times 59}{59 \times 60} = \frac{59}{3540} = \frac{1}{60}$
 ⑨ $\frac{1}{60} \times \frac{60}{61} = \frac{1 \times 60}{60 \times 61} = \frac{60}{3660} = \frac{1}{61}$
 ⑩ $\frac{1}{61} \times \frac{61}{62} = \frac{1 \times$

11. 約分して比較しよう。

① $5:240 = 1:48$ ② $2:36 = 1:18$

③ $42:18 = 7:3$ ④ $14:6 = 7:3$

⑤ $208:180 = 52:45$ ⑥ $192:320 = 3:5$

⑦ $0.5:0.3 = 5:3$ ⑧ $0.12:0.1 = 12:10 = 6:5$

⑨ $4.8:0.8 = 6:1$ ⑩ $2.4:0.8 = 3:1$

⑪ $20:0.5 = 40:1$ ⑫ $10:12 = 5:6$

⑬ $60:1.8 = 10:3$ ⑭ $30:4.5 = 2:3$

⑮ 整数の比は、約分して簡単な比にしてから比べると例えは $200:180$ の時は 10 が消せる。小数は、両方に 10 をかけて整数にしてから計算。

補習や帯タイムでの活用以外に、家庭学習でも取り組んでいる。

三ツツード

特別支援学級（知的）の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」では、授業で学習したことが「身についているか」「一人でできるか」という目標を立て取り組んでいる。そのため、授業で使ったプリントをそのまま使ったり少し問題を変えて取り組ませたりしている。

（１）「宿題」について（写真①）

①生活習慣を身につける（年間を通して実施）

- ・毎日２ページの宿題を行うことで放課後や家庭での時間の学習習慣の定着
- ・行事や家庭での出来事を日記に書き、振り返る場面とする

②基礎学力を身につける（その日の授業の復習）

- ・学習したことと同じ問題に取り組むことで、基礎学力の定着を図る
- ・宿題でできていない所は授業でもう一度学習し、宿題の問題に取り組む
- ・漢字練習に毎日取り組ませる

（２）「自学自習」について（写真②）

６年生の児童は、中学校へ向け、小学校の既習漢字の振り返りの学習を授業内で iPad を使って行っている。その振り返りで出てきた漢字の中から自分で熟語を考えたり、インターネットで調べたりして漢字学習を行っている。

４年生の児童は、授業で習ったことが書かれているノートやプリントを持ち帰り、振り返りながら家庭学習に取り組んでいる。

（３）身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ③計画し、実践する力
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力

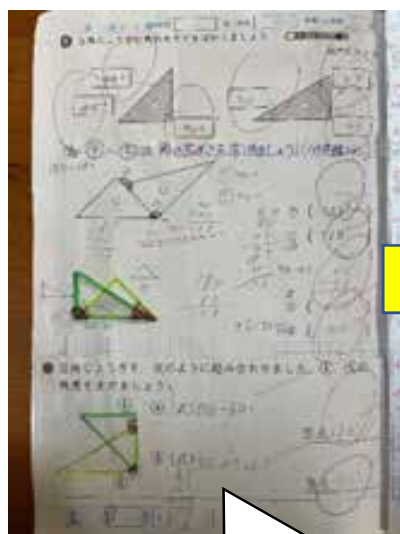
（４）評価等の方法

- ・家庭で宿題に取り組み、保護者からのサインをもらう。
- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して確認し、丸付けとサインとコメントを入れる。
- ・間違えていた問題は、授業の合間やチャレンジタイム、放課後の時間を使ってやり直しを一緒に行う。

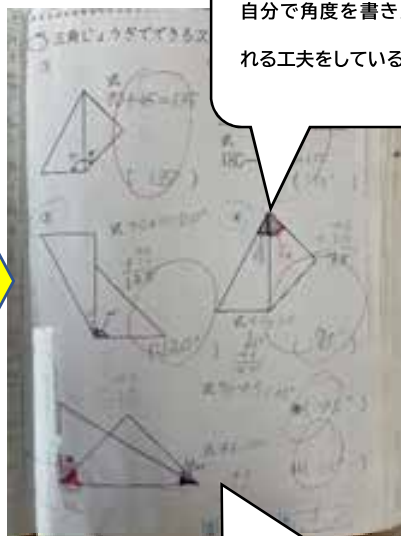
（５）成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 毎日宿題を提出できるようになった。（生活習慣が身についてきた）
- 自分で宿題を考えられるようになった。
- 宿題に他に漢字検定の練習や日記を主体的に取り組むようになった。
- △保護者からのサインがない時がある。家庭学習における家庭との連携課題
→連絡ノートで宿題の内容・児童の達成度のやり取り

宿題（写真①）



授業で学習したのと同じプリントだが、
まだ、学習が身についていない。



自分で角度を書き入
れる工夫をしている。

もう一度一緒に具体物を操作したりし
て学習を行った日の宿題。仕組みが分
かり、一人で全部解けるようになった。

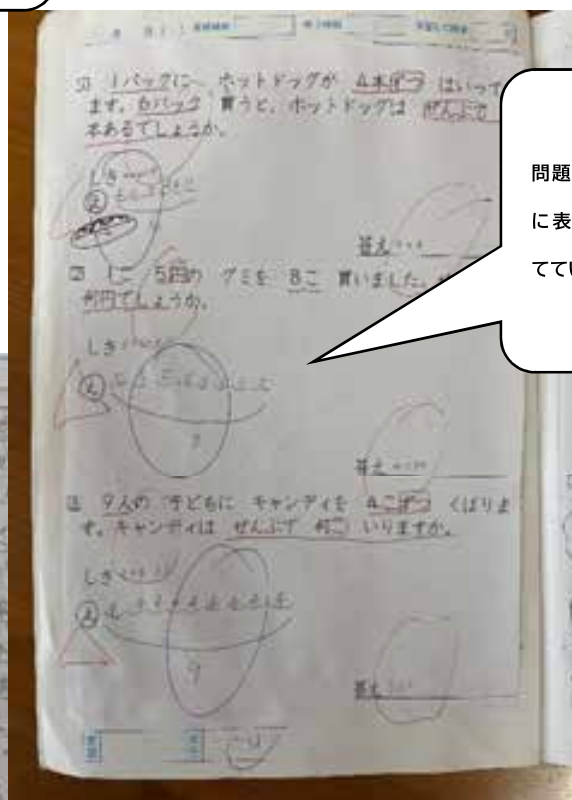


日記の宿題は出していないが、書きたくな
ったことを日記に書く意欲が出てきた。

写真②



漢字学習で出てきた漢字を使って、自分で考え
たり調べたりして熟語にしている。(自学自習)



問題を簡単な絵
に表して式を立
てている。

(2) 恩納村立恩納幼稚園の取組

主題 : 互いのよさに気づき、人と関わる力を育むための援助の工夫

～ 園における遊びを通して～

1. テーマ設定の理由

幼稚園教育要領の人間関係の項目において、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」とある。昨今では、地域活動や異年齢児との関わりなど社会生活の経験が少なく、人間関係において身近な人と親しみ関わるのが減りつつある。本園の幼児は、友達との関わりを好み誘い合って遊びを進めていこうとする姿はみられるが、関わり方や言葉使いに苦手さがあり、相手の気持ちがくみ取れずトラブルが起きてしまう様子がみられる。トラブルの際も自己主張が多く、相手の思いを聞き入れようとする姿があまりみられない。

幼児は教師との信頼関係に支えられて自己を発揮し、教師や他の幼児に認められる体験をくり返し重ねることで満足感や充実感を味わうことができると考える。さらに友達の姿に共感し相手に親しみをもち互いを認め合うことができるだろう。幼児が他の幼児との関わりの中で互いの良さに気づき、相手を尊重する気持ちを共有することによって自己を調整する気持ちが育まれていくと考える。そこで互いの良さに気づき、人と関わる力を育むための援助のあり方を目指し本テーマを設定した。

2. 研究仮説

- (1) 自己を発揮できる場を設定し、自分の力でやる充実感や満足感を味わえるようにすることで、自信をつけ様々な活動に意欲的に取り組むことができるようになる。また相手のよさに気づき、お互いを認め合い尊重し合える関係を築けるようになるだろう。
- (2) 友達との共通の目的をもって活動をする中で、目的を達成するために気持ちの折り合いを付ける体験を重ねることで、その思いに気づき決まりの必要性などに理解し、自分の気持ちを調整する力を育むことができるであろう。

3. 幼児の実態

(1) 恩納幼稚園について

1組担任	: 教諭 池原里奈	男子	: 9人	女子	: 8人	合計	: 17人
2組担任	: 教諭 石垣翔子	男子	: 9人	女子	: 8人	合計	: 17人

(2) 幼児の特徴

- ・活発で明るく社交的な幼児が多い。様々な保育所から入園してきた幼児が集まった幼稚園だが、初対面の友達へも自ら関わろうとするなど、積極的な姿がみられる。中には自己中心的な幼児もあり、自分本位な気持ちを押し通そうとする姿や相手の嫌な面だけを教師へ訴える様子がみられる。また、協力して遊ぶことや一緒に活動することに不安を感じている幼児もいる。

4. 指導の実際

事例1 運動チャレンジ(教師との信頼関係を基盤とした取り組み)

【幼児の姿】

梅雨時期と重なり、室内での静的な活動が多くなってきたが体を動かして楽しみたい幼児が多く、大縄とびが盛んになってきた。一人一人が跳ぶ回数を増やし盛り上がっているがその場限りで終わってしまう様子があった。

【教師の願い】

何度もくり返し頑張って取り組んでいる姿を友達に見てもらい、自信や満足感を感じてほしい。

友達の頑張っている姿を見て、友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを

たくさん、とべるよう
になりたいな～
がんばるぞ～!



味わってほしい。

【環境構成】

テラスで行っていた大縄跳びを、他児の刺激となるようにホールで行った。

【教師の援助】

運動チャレンジカードを作成し跳んだ回数を記入しわかりやすく可視化した。
振り返りの時間に発表の場を設けることで、他児への刺激となるようにした。

【幼児の変容】

運動チャレンジカードを作成し跳んだ回数を記入しわかりやすく可視化し、意欲的に取り組んでいる姿を認める言葉かけを行うことで、記録が増えていく喜びや楽しみを感じ、積極的に取り組む幼児が増えた。

運動チャレンジカードを振り返りの時間に友達に発表することで、友達へも良い刺激となり、「〇〇さんは〇回跳べるんだよ。」「私もやってみたい。」と友達の姿に触発され、幼児自身の意欲へと繋がっている様子がみられた。

みんなに見てもらおう
うれしいな！
やる気がでるぞ！



事例2 運動会（友達と共通の目的をもち取り組んだ活動）

【幼児の姿】

大縄跳びに挑戦したり目当てを達成したりする幼児が増え、ますます体を動かすことに意欲的になってきた。

友達の姿に憧れをもったり、跳び方を教えたりと友達同士の関わりが多くみられるようになってきた。

【教師の願い】

一人ひとりが自信をつけくり返し挑戦する中で、友達同士の関わりが多くなってきたが、まだまだ少人数の集まりなので全体で協力したり、一つの目的に向かって挑戦しやり遂げたりと満足感や達成感を感じてほしい。

【環境構成】

リズムダンスを取り入れ全体で共通の活動を行い、楽しさを共有できるようにする。

新たな運動チャレンジカードを用意し、さらに幼児同士の関わりがもてるようにする。

【教師の援助】

全体でのリズムダンスを取り入れ、自然と楽しい雰囲気ですべての幼児が共通の楽しさや喜びが感じられるようにした。

リズムダンスや縄跳びなど得意なことを多くの人に披露したい気持ちをくみ取り、運動会という場を幼児と計画し、目的を明確化し全幼児の共通の目標を決めた。

【幼児の変容】

運動会という共通の目的をもったことで、一緒に活動する幼児同士が目的を共有し、ときには自己主張がぶつかり合いながらも折り合いをつけることをくり返し、工夫したり協力したりしながら活動を進める姿がみられた。また、一人では得られない達成感や満足感を味わったことで自分のことも友達のことも認めることが出来、生き生きするような関係性を築いていく様子があつた。

みんなでリズムを
あわせておどるに
はどうしたらいい
かな？



5. 考察

成果

- (1) 運動チャレンジという場を設定したことで粘り強く取り組み自己を発揮することや、教師や他の幼児に認められる体験を重ねたことで自分の良さや特徴に気づき、自信をもって行動できるようになってきた。
さらに自分が認められることで友達の良さも認められるようになり、相手を尊重し合い信頼感をもつようになってきた。

あきらめずにれんしゅうしたら、
たくさんとべるようになったぞ！
ばくってすごい！



- (2) 幼児と共に運動会を計画し進めたことで共通の目的が実現する喜びを味わう経験や他の幼児と試行錯誤しながら活動を展開する楽しさを通して、自分の思いと相手の思いの違いに気づいたり、いざこざなどの葛藤体験を乗り越えて互いに我慢したり受け入れたりしながら自己を調整できるようになってきた。
- (3) 友達との関わりを深め、思いやりの気持ちをもつようになり、様々な場面で友達同士協同し活動する姿が多く見られるようになってきた。



おもたそう
だな。
てつだって
あげよう！

ありが
とう

課題

- (1) 積極的に喜んで運動遊びにチャレンジする幼児が76%程度、運動遊びに苦手意識がありくり返し声かけが必要な幼児が24%程度おり、運動遊びを取り入れ研究したことで不得意に感じる幼児への援助の手立ての工夫が必要であると感じた。
- (2) 目的やイメージを共有するなかで幼児同士で思いの伝え合いやいざこざ等の経験を幼児一人ひとりの発達や特性によって感じ方や考え方が様々なため、幼児同士の関わり方に不安があり教師の仲介や代弁等の援助が必要な幼児が全体の18%程いる。

今後の手立て

- (1) 苦手意識をもつ幼児と向き合い、ありのままの姿を受け止め期待をもって見守りながら、信頼関係を築き、安心して自己を発揮できるように援助を行う。また、運動遊びのみではなく幼児それぞれの好きなことや得意なことを発揮する場を設定し幼児の姿に寄り添い、前向きな見通しをもちながら自信をもって取り組めるように援助を行う必要がある。
- (2) 月齢や発達面など個人差はあるが、折り合いをつける経験をくり返し、幼児同士一緒に遊んだり活動したりすることを通して互いの良さや特性に気づいていくであろう。思いを伝え合う経験を重ねていく姿を受け止め、個々の育ちを保護者と共有し適切な援助を行う必要がある。

がんばれ！
がんばれ！
〇〇さん
じょうずだ
なあ。



わたしがま
わしてあげ
る！



いきをあわ
せて…
よいしょ！

恩納村立恩納小学校の取組

主題：自ら学ぶ力を育成するための家庭学習への取組

1. 目標

中学校1学年終了時までに「自学自習力」を身につけさせる。

2. 本校が取り組んでいる家庭学習について

本校では、「家庭学習」を各教科の授業と連動させた既習事項の確認や習熟を図るために課題を出す「宿題」と、児童自身が課題を見つけ、学習計画を立て取り組む「自主学習」の2つを合わせて家庭学習として位置づけている。

「宿題」では、「書く力」の育成に向けた日記や授業で学習した内容を家庭で振り返ることができるよう課題を設定している。その宿題だけでは習熟が足りないようであれば「自主学習」で更に深めたり、時には発展問題に挑戦したりと自分自身で計画を立て（計画）、授業で学習したことの確認（復習）、事前の準備（予習）等を通して、自分の学習の取り組み方を振り返り、次の学習につないでいけるよう進めている。また、音読や読書活動も自主学習として推奨するなど、毎日の学校生活や家庭生活の中から疑問や課題、興味・関心を発見し、自己解決する力の育成に向け、「家庭学習」の習慣を身に付けられるよう促している。

本校の具体的な取り組みとして、県の資料を参考に独自の「自主学習チェックシート(写真①)」や「自主学

習の手引き(写真②)」を作成し、

家庭学習の目標や内容、取り組んだ時間を振り返ることができるよう保護者と連携し(チェックシートに保護者のサインやコメント記入)活用している。また、自主学習のポイント等を明確に示し、効果的に学習する方法や自主的に学習する態度を身に付けさせ、自ら学ぶ習慣の確立と学習内容の確実な定着を図っている。

家庭学習の評価等については、毎日、担任に提出をし、すき間時間等を利用して確認し、コメントを記入するなど看取りや見守り、支援を行っている。また、保護者の協力や理解、児童の意欲を高められるよう、毎学期の成績表に家庭学習の取り組み状況を三段階評価し記載している(図①)。また、優れた家庭学習ノートを掲示し、学校全体で良い取り組みを称賛し、全児童の参考となるようにしている(写真③)。

児童の自主学習チェックシート(写真①)

自主学習の手引き(写真②)

成績表への表記(図①)

評価：自分の課題や目標を持って進んで家庭学習に取り組んでいる。

評価基準	評価
自分の課題や目標を持って進んで取り組んでいる。(宿+自)	◎
毎日の宿題に取り組んでいる。(宿)	○
提出率や取り組み内容に意欲が感じられない。	△

校内掲示(写真③)



「家庭学習」の習慣化は、児童一人一人が夢や目標を持つだけでなく、その夢の実現に向けて努力するための方法を学ばせる機会と考え、小学校生活6年間で学び方を学ばせ、中学校と連携し義務教育9年間を通して家庭学習の充実を図っていきたい。

2. 各学年の取組実践

1 学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「家庭学習」として「宿題」を行う。「宿題」には、授業内容と連動したプリントを活用。「家庭学習」は、ノートの使い方（写本・言葉集め・漢字・計算・日記等）を学習してから2学期から実施。音読カードで毎日の取り組み（音読・家庭学習）を保護者に記録していただく。

（1） 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける（年間を通して実施）
 - ・ 翌日の時間割、持ち物、宿題、下校時刻、連絡などのメモ
- ② 基礎学力を身につける（その日の授業の復習）
 - ・ 写本、平仮名・カタカナ・漢字・計算プリント
 - ・ 国語の教科書・別冊「音読すらすら」からの音読
 - ・ 日記（土日のみ）－ 2学期より実施

（2） 「すてきノート」について（写真②）

- 「すてきノート」1ページに 家庭・自分で考えて取り組む。
- ・ 写本、言葉あつめ、ひらがな練習、カタカナ練習、漢字・計算ドリルの活用、日記 等

（3） 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 毎日粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 読む力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 計画し、実践する力

（4） 評価等の方法

「すてきノート」の宿題プリントは毎日提出し、担任が家庭学習への取り組みがあるかを確認し、指導と支援を行う。「宿題（家庭学習）」は保護者に点検サインと正誤チェックをお願いし、その後、宿題プリントと同じか同等内容のチェックプリントを授業で実施。結果によって補習（一斉・個別）をしている。音読カードで保護者から◎がもらえた児童は、音読テストを実施し、評価を行う。

（5） 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 家庭学習の取り組み内容に差はあるが、30/34人 は、毎日家庭学習に取り組んでいる。
- 単元前に家庭での音読への取り組みがすすめられているため、授業内容理解も早い。
- 日記の取り組みで書くことへの抵抗が少なくなってきたように思う。授業時間内で書き上げることができるようになってきた。家庭学習での取り組みも見えてきた。
- 授業内容と連動した宿題の取り組みで学習効果が得られた。
- △ 家庭学習の習慣化が見られない児童がいる。
 - 家庭へ、家庭学習の効果と必要性について理解と協力をお願いし、児童へ継続指導。（放課後対応）

「すてきノート（宿題）」写真①

手本ノートからすてきノートへの写本

音読・家庭学習への取り組みカード

日	月	記入したところ	書き	読み
1	日	しごうきくろく	①	②
2	月	しごうきくろく	③	④
3	水	しごうきくろく	⑤	⑥
4	木	しごうきくろく	⑦	⑧
5	金	しごうきくろく	⑨	⑩
6	土	しごうきくろく	⑪	⑫
7	日	しごうきくろく	⑬	⑭
8	月	しごうきくろく	⑮	⑯
9	火	しごうきくろく	⑰	⑱
10	水	しごうきくろく	⑲	⑳
11	木	しごうきくろく	㉑	㉒
12	金	しごうきくろく	㉓	㉔
13	土	しごうきくろく	㉕	㉖
14	日	しごうきくろく	㉗	㉘
15	月	しごうきくろく	㉙	㉚
16	火	しごうきくろく	㉛	㉜
17	水	しごうきくろく	㉝	㉞
18	木	しごうきくろく	㉟	㊱
19	金	しごうきくろく	㊲	㊳
20	土	しごうきくろく	㊴	㊵
21	日	しごうきくろく	㊶	㊷
22	月	しごうきくろく	㊸	㊹
23	火	しごうきくろく	㊺	㊻
24	水	しごうきくろく	㊼	㊽
25	木	しごうきくろく	㊾	㊿
26	金	しごうきくろく	㊿	㊿
27	土	しごうきくろく	㊿	㊿
28	日	しごうきくろく	㊿	㊿
29	月	しごうきくろく	㊿	㊿
30	火	しごうきくろく	㊿	㊿

写真②

すてきノート
：家庭学習の取り組み

2 学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」と「宿題プリントファイル」を配布して家庭での学習を行っている。「宿題プリントファイル」の表紙裏には「チャレンジ！宿題チェックシート」を張り、記録をつけるようにしている。

(1) 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身に付ける（年間を通して実施）
 - ・ 翌日の日程（時間割）、宿題、持ち物、家庭への連絡メモ
 - ・ 「チャレンジ！宿題チェックシート」を張り、毎日学習の記録をつける
- ② 基礎学力をつける（その日の授業の復習）
 - ・ 音読
 - ・ 日記
 - ・ 宿題プリント（国語・算数）
 - ・ 「すてきノート」に漢字の復習
 - ・ 「すてきノート」に算数の復習

(2) 「自学自習」について（写真②）

- ・ テストで間違ったところを「すてきノート」に写して復習する
- ・ 自分で考えて漢字や算数の復習を行っている

(3) 身につけさせたい力

- ① 家庭での学習習慣
- ② 粘り強く取り組む力
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 読む力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 計画し実践する力

(4) 評価等の方法

- ・ 毎日提出させ、学級担任が朝の会の前までの時間や、休み時間、隙間時間を利用して確認を行っている。サインやコメントを入れて学習の見取りを行い支援、指導を行っている。
- ・ プリント等の正誤の確認が間に合わないときは、放課後等、児童が帰った後に確認を行っている。

(5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 音読を継続して行うことで教科書の音読が上手になり、読む力が身についてきた。
- 日記を継続することで、文章を書くことに抵抗が少なくなってきた。
- その日に習ったことを家庭でも宿題として出しているので、基礎学力の定着を図ることができた。
- △ 家庭の協力が得られない児童への対応
 - 家庭で、音読やプリントの確認、正誤の確認ができていないので、学校で課題に取り組ませたり、間違い直しや音読などに取り組ませている。家庭への協力願いを継続して行っていく。
- △ 家庭学習の習慣化
 - 個別に支援が必要な児童に対してプリントを張って対応したり、休み時間や放課後に取り組ませるようにしている。家庭への協力願いを継続して行っていく。

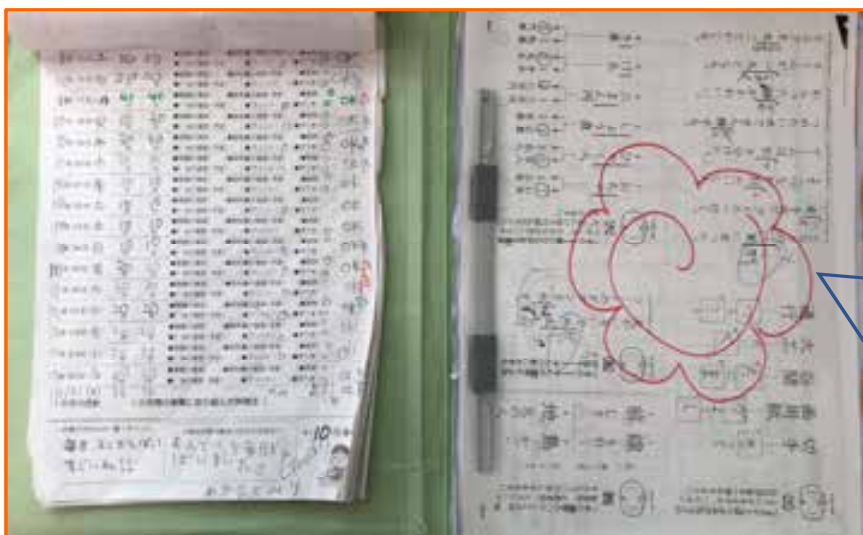
「すてきノート（宿題）」写真①

上の段

- ・連絡・日程（時間割り）・宿題の内容・持ち物などを書く。
- ・宿題については、音読する本の題名を入れている。
- ・「すてきノート」については、2ページ以上とし、今日の授業の復習をおたすけシートを見ながら復習している。

下の段

- ・今日あった出来事を「いつ・どこで・何をした」を意識したり、会話文を入れたりして日記に書くように取り組んでいる。
- ・習った漢字を使うように指導している。



宿題ファイル

宿題ファイルに宿題チェックシートを貼り、保護者のサインをもらうようにしている。月の初めに月目標を立てて、2週間で振り返りをさせている。

国語算数のプリントで復習を行っている。

「すてきノート（自学自習）」写真②

自分で考えての復習



算数のテストの間違い直し



学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「宿題」と「自主学習」を行う。「宿題」は、授業の復習になるプリントを配布したり、市販されている「漢字ドリルノート」や「計算ドリルノート」を活用している。また、「自主学習」はやる内容について困っている児童もいるので、時々授業の単元に応じて語句調べや短歌・詩づくりや、文章題作りなどを薦めたりしている。

(1) 「宿題」について (写真①)

① 生活習慣を身につける。

- ・ 翌日の日程、宿題の課題、持ってくるもの、連絡などのメモ

② 基礎学力を身につける。(その日の授業の復習を中心に)

- ・ 国語プリント
- ・ 算数プリント
- ・ 別冊「漢字ドリルノート」
- ・ 別冊「計算ドリルノート」
- ・ 日記

(2) 「自主学習」について (写真②)

「日記」と自分に必要な内容の「自主学習」を毎日1ページやってくるようにしている。

- ・ 日記はメモを書いた下の部分に課題として出している。題や書く量は特に指定せずに自由に書かせているが、行事や学年の校外学習などが行われた日はそのことを題にして書かせている。
- ・ 授業やテストの復習
- ・ 授業の予習
- ・ 調べ学習 (自分の興味があることや授業の中で気になったこと)

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 継続する力
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 書く力
- ⑤ 興味関心を広げる
- ⑥ 計画し、実践する力

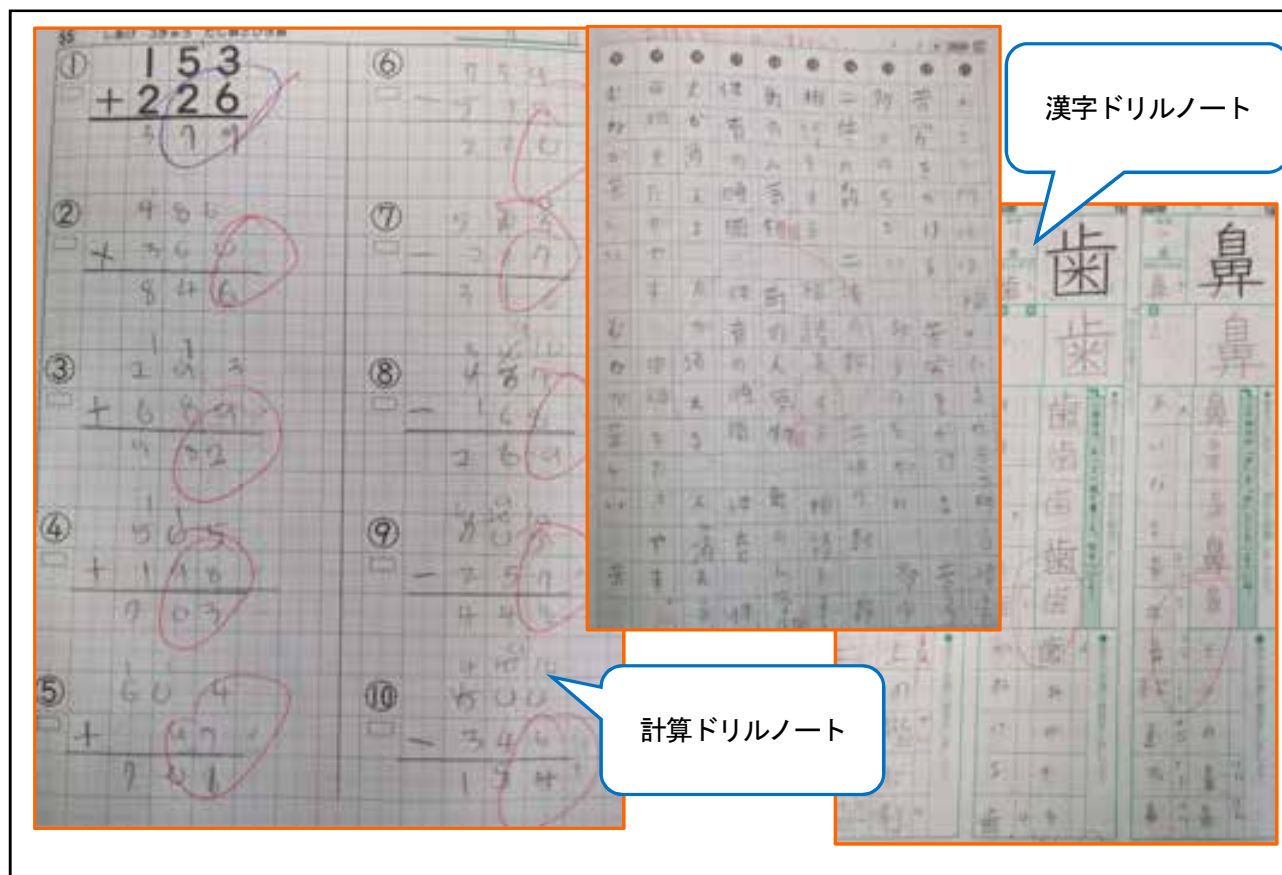
(4) 評価等の方法

毎朝提出させ、係が提出状況をチェックしている。学級担任が専科の時間やすき間時間を活用して確認し、丸付けとコメントを入れて見るや指導、支援を行っている。プリントの解答は、補習の時間に行ったり担任が行ったりしている。

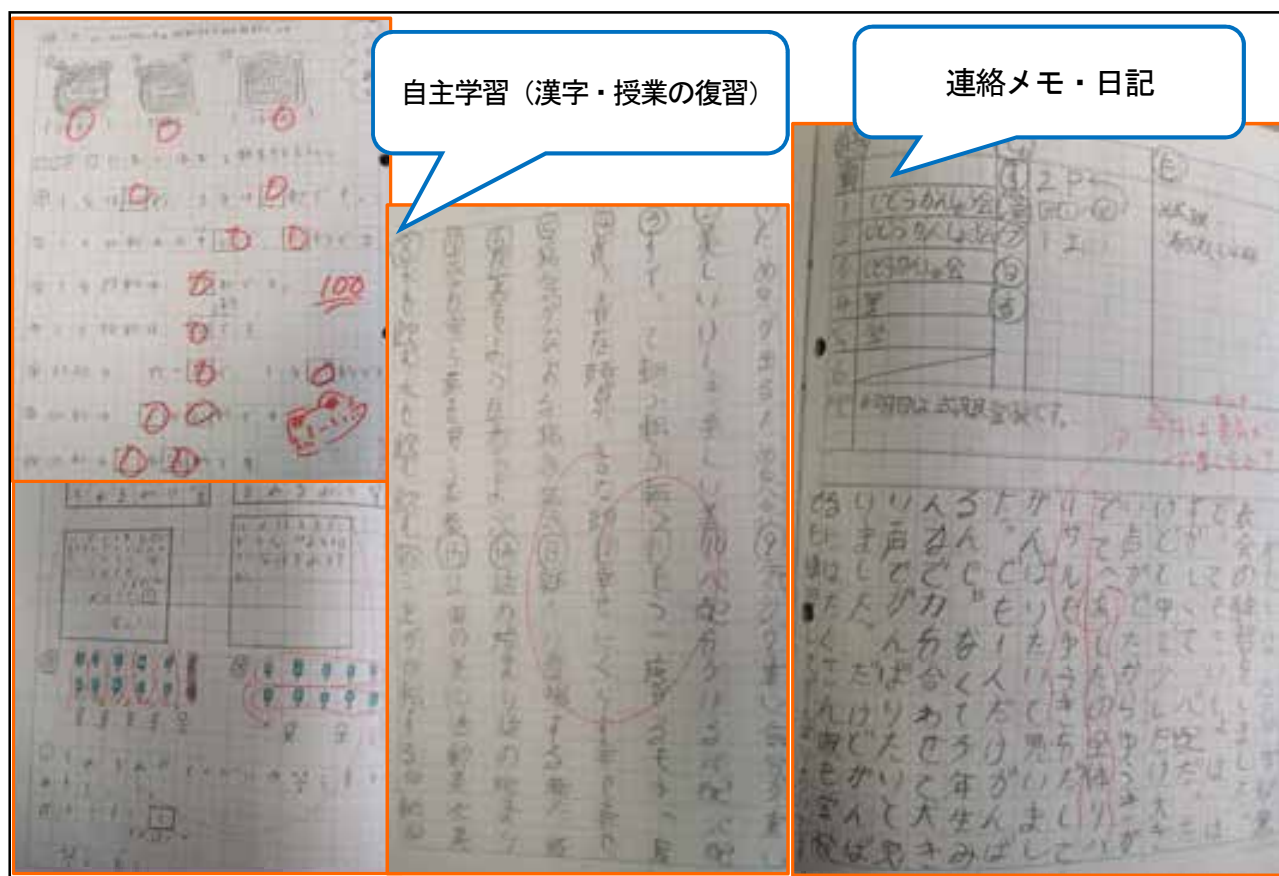
(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 授業と家庭学習を連動させることで理解が深まった。(プリント・ドリル学習)
- 教科の学習だけでなく、自分の興味のあることを調べることで意欲的に学習できるようになった児童がいる。
- 自習学習ノートに授業ではできない色ペンの活用をしながらまとめることで楽しく取り組む児童がいる。
- △ 自主学習ノートの提出状況が悪い (25%~70%)
 - 家庭との連携、他の児童の内容を紹介する等して指導していく。
- △ 自主学習内容の工夫
 - 内容や書き方の良い児童のノートを紹介する。
 - 丁寧に書くことの大切さを伝える。

「宿題」について（写真①）



「自主学习」について（写真②）



4 学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「宿題」と「自主学習」を行う。「宿題」は、各担任が授業の流れに応じた国語、算数の課題をだしている。市販されている「計算ドリルノート」や「漢字ドリルノート」も活用している。表紙裏には「自主学習シート」を張り、「自主学習」を行った際に児童や保護者が記録を付ける。

また、「すてきノート二冊制」で行っている。これは、毎日宿題の課題として日記を書かせており、担任の返事を書く時間をとるため、交換日記のような感覚で行っている。これは校内研究（「書く」こと）と連動した取り組みとしている。

(1) 「すてきノート」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける
 - ・ 翌日の日程、宿題の課題、持ち物、連絡などのメモ
- ② 基礎学力を身につける（その日の授業の復習）
 - ・ 別冊「計算ドリルノート」
 - ・ 別冊「漢字ドリルノート」
 - ・ 日記
 - ・ 漢字、計算の練習
- ③ 学びに対する主体性を身につける
 - ・ 自主学習したことをシートに記入

(2) 「日記」について（写真②）

メモの書いた下の部分に「日記」を毎日課題として出している。教師がお題を設定し、そのことについて自分の考えや思ったことを書かせている。特に、書く量を指定することはなく、自由に書かせている。それに対して、担任が読み、コメントを書いている。

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 毎日粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 書く力
- ⑤ 計画し、実践する力
- ⑥ 興味関心を広げる

(4) 評価等の方法

毎日提出することにし、係が提出のチェックを行っている。そして、放課後や自宅にて学級担任が確認し、検印とコメントを入れ、実態把握や指導、支援を行っている。「自主学習シート」の記入や練習問題等の正誤等の確認は、保護者にお願いしている。

(5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 毎日家庭学習をやってくる児童は6，7割おり、その中でも自主学習をしってくる児童は数名いる。
- 教科等の授業で、書く活動に対する抵抗感が少なくなった。
- 基礎学力（漢字、計算）が定着してきた。
- △ 家庭学習をしてこない児童が決まって同じ児童である。
 - 家庭学習の必要性を理解させるような継続的な指導が児童・保護者に必要。
 - キャリア教育と連動した児童にとって必要を感じるような取り組みを行う。

「すてきノート」について (写真①)

時間内しかり集めてかんはる

日	月	時間	学習したところ(○)	得意なサイン
5	8	30	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
5	16	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	2	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	父
6	10	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	11	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	11	15	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	13	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	15	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	19	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	21	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	24	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
6	24	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
7	2	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母
7	9	10	算数の授業() 算数科書の復習・予習() 算数の他()	母

学習時間の合計 (150)分

「自主学習シート」

「パンダの元祖について」



「日本地図、県名、地方の学習」



「日記」について (写真②)

日記(自由)(3月) リコー

漢(ドリ) + 加

ア

1 算
2 国
3 算
4 国
5 算
6 国
7 算

先生が書いていますね。みんなよく練習
がたりました。あと一回はみんなで作って
来週か来月(ア)を分けて書いていま
しょうね。

がバ か羽 とあさ がよ
し夕だらめのにいたしり今
ま足けた時でアふまち日
すがととにア人し、の
う 思たてアた ア
まアいくいペかハ と
くがまさるアら月 つル
なれす人時とか足 かは
てアやといもを れい
たも、 た練 れく た気

日記(自由)(3月) リコー

漢(ドリ) + 加

ア

1 算
2 国
3 算
4 国
5 算
6 国
7 算

先生が書いていますね。みんなよく練習
がたりました。あと一回はみんなで作って
来週か来月(ア)を分けて書いていま
しょうね。

がバ か羽 とあさ がよ
し夕だらめのにいたしり今
ま足けた時でアふまち日
すがととにア人し、の
う 思たてアた ア
まアいくいペかハ と
くがまさるアら月 つル
なれす人時とか足 かは
てアやといもを れい
たも、 た練 れく た気

5 学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「宿題」と「自学学習」を行う。「宿題」には、「プリント」や「漢字ドリルノート」も活用している。

(1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
 - ・ 翌日の日程、持参物、(保護者サイン欄有)
 - ・ 日記
- ② 基礎学力を身につける (その日の授業の復習)
 - ・ 漢字の学習
 - ・ プリント1枚 (表: 国語「慣用句・ことわざ」 裏: 算数「授業と連動した内容」)
 - ・ 国語の教科書の音読

(2) 「自学学習」について (写真②)

「宿題」の次のページから、自分に必要な内容の「自学学習」を毎日1ページ以上書いてもらっている。

- ・ 授業やテストの復習 (各教科)
- ・ 授業の予習
- ・ 調べ学習 (自分の興味がある物や授業の中で気になったこと)
- ・ 各種検定の学習 等

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 毎日粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 基礎学力の定着
- ⑤ 興味関心を広げる
- ⑥ 書く力
- ⑦ 読む力

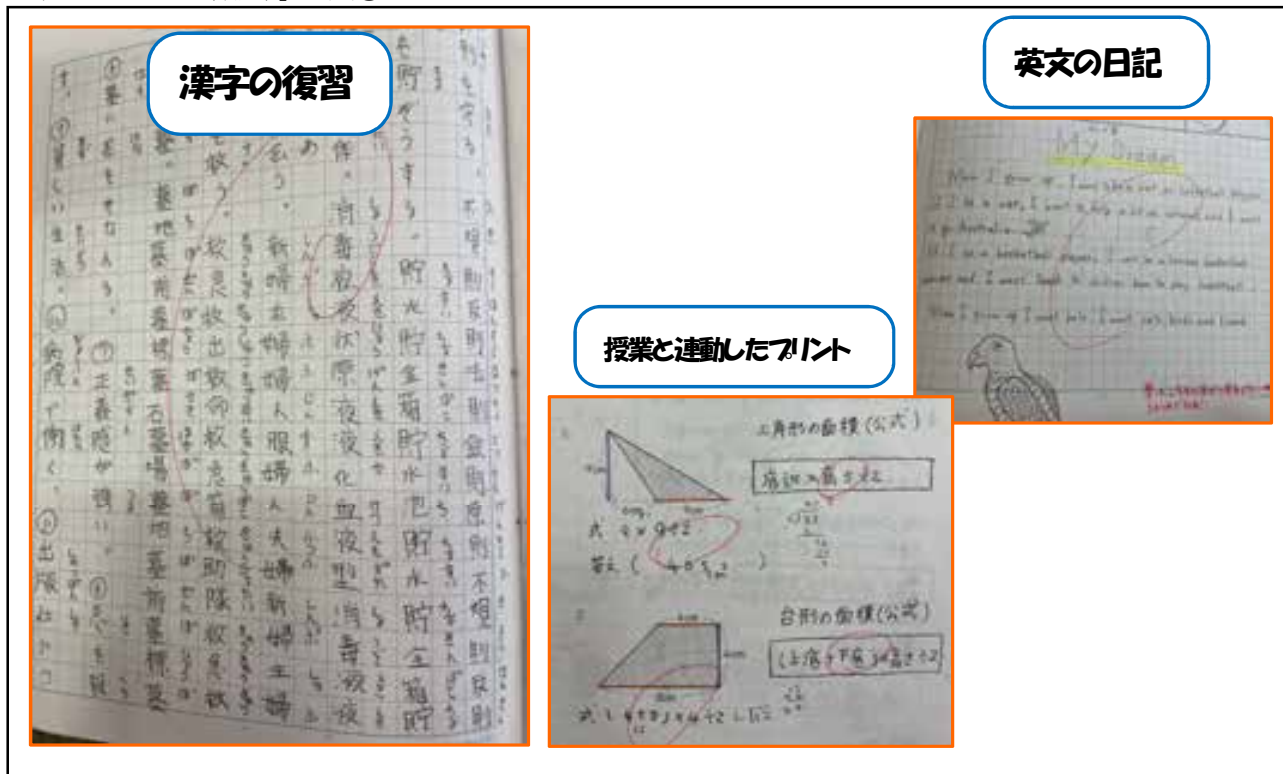
(4) 評価等の方法

毎日朝提出させ、係が確認し、その後、学級担任がすき間時間を活用して確認し、コメントを入れて看取りや指導、支援を行っている。プリント等の解答は、授業の中や補習の時間に行っている。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 粘り強さが出た。(ほとんどの子が毎日提出できる)
- 日記の内容が工夫して書けるようになった。
- 自学学習では、授業の復習だけでなく、自分自身が調べたいことをまとめたり、講話などで学んだことを表や文章でまとめたりするなど、工夫して学習できる子が多い。
- 授業と家庭学習を連動させることで、理解が深まった。
- △ 家庭学習の習慣化
 - 習慣付いていない子は、家庭と連携を図りながら、指導していく。
- △ 自学学習の内容の工夫
 - よいお手本を常に意識させ、意味のある学習になるように指導する。

「すてきノート（宿題）」写真①



「自学学習」写真②



6学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「宿題」と「自学学習」を行う。「宿題」には、「プリント」や「漢字ドリル」や「計算ドリル」、作文等も活用している。

(1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
 - ・ 翌日の日程、持参物の確認 (保護者サイン欄有)
 - ・ 日記 (授業の振り返り、友達のこと、月ごとの振り返り、新しい月の目標等)
 - ・ 「チャレンジ! 自主学习チェックシート」の活用 (2週間の取り組みの予定や振り返り)
- ② 基礎学力を身につける (その日の授業の復習)
 - ・ 漢字・計算ドリルを活用し、日々の学習の定着を図る。
 - ・ プリント1枚 (授業の復習)
 - ・ 国語の教科書の音読

(2) 「自学学習」について (写真②)

「宿題」の次のページから、自分に必要な内容の「自学学習」を毎日1ページ以上書いてもらっている。

- ・ 授業やテストの復習 (各教科)
- ・ 授業の予習
- ・ 調べ学習 (自分の興味がある物や授業の中で気になったこと)
- ・ 行事後の作文を活用し、自分の成長と今後の展望について文章にまとめる。

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 毎日粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 基礎学力の定着
- ⑤ 興味関心を広げる
- ⑥ 書く力
- ⑦ 読む力

(4) 評価等の方法

毎日朝提出させ、係が確認し、その後、学級担任がすき間時間を活用して確認し、コメントを入れて看取りや指導、支援を行っている。プリント等の解答は、授業の中や補習の時間に行っている。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 毎日の宿題と日記指導を行う中で、授業内容の定着や児童理解を進めることができた。
- 日記や作文指導、俳句の作成、新聞投稿を通して、書くことの苦手意識が無くなり、自分の考えを短い時間でまとめられるようになってきた。
- 自学学習では、授業の復習だけでなく、自分自身が調べたいことをまとめ、興味のあることを調べることのできる児童も出てきた。
- 授業と家庭学習を連動させることで、理解が深まった。
- △ 自主学习チェックシートの習慣化
 - 習慣付いていない子は、家庭と連携を図りながら、指導していく。
- △ 自学学習の内容の工夫
 - よいお手本を常に意識させ、意味のある学習になるように指導する。

◎「宿題」について（宿題①）：2週間ごとの自主学習チェックシートと毎日の日記指導を行い、家庭学習の習慣化を行う。漢字ドリル、計算ドリル、音読、復習プリント等を活用し、「宿題」の定着を図る。

自主学習チェック
シートの活用。

毎日の日記を通して
書く力を高め、児童
理解にも活用する。

◎「自学学習」について（写真②）社会科のテスト前の問題作り、授業内容を深めるための練習問題。

(社会科)

授業と連動した自主学習。自分
で内容を考え、学びを深める。

(算数)

(3) 恩納村立仲泊幼稚園の取組

友達と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして

一緒に活動する楽しさを味わえるようになるための援助の工夫

～友達との関わる活動を通して～

1. テーマ設定の理由

幼稚園教育要領では、人との関わりに関する領域「人間関係」に、『他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う』とあり、ねらいに(1)幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動する事の充実感を味わう。(2)身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。(3)社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。と示されている。

また、幼稚園教育要領解説では、幼稚園においては、教師との信頼関係を基盤としながら様々なことを自分の力で行う充実感や満足感を味わうようにすることが大切であり、人と関わる力の基礎は、自分が保護者や周囲の人々に温かく見守られているという安定感から生まれる人に対する信頼感を持つこと、さらに、その信頼感に支えられて自分自身の生活を確立することによって培われると述べられている。

本園の幼児の様子として、3.(2)の幼児の特徴があり、一人一人遊びが好きで活発であるが、友達に合わせたり、言葉での伝え合いがうまくいかず、自分の思いが先行しがちでトラブルを日々繰り返す様子が見られる。入園当初の園児にはこのような様子は例年所々に見られるのだが、同じような事でのトラブルが続いたり、気持ちの切り替えに時間がかかることが目立った。そのような園児の様子から、幼稚園が安心して過ごせる場所になり、安心感のもと、友達と親しみ関わりを深め、一緒に活動する楽しさを味わえるようになることを育み、さらには、工夫したり、協力したり、互いの良さを認め合う協同性への育ちを目指し、指導援助の工夫を進めたいと考えた。

2. 研究仮説

- (1) 様々な出来事を通して、嬉しい、悔しい、悲しい、楽しいなどの多様な感情体験を友達と一緒に味わい、触れ合いを繰り返すことで、友達との関わりが深まり、互いの思いや考えに気づいたり、認め合う関係ができ、一緒に活動する楽しさを味わえるようになるであろう。

3. 幼児の実態

(1) 担任 : 教諭 船越千亜紀 男子 : 10人 女子 : 9人 合計 19人

(2) 園児の特徴

- ① 外遊びが好きで活発に動き遊ぶ子が多い。
- ② 歌やリズムが好きな子が多い。
- ③ 想像力があり遊びのイメージを広げ上手である。
- ④ 遊びや生活の中で、気持ちを言葉で伝えたり、気持ちの調整がうまくいかず、トラブルになることが多い。
- ⑤ 元気があり賑やかなクラスであるが、話を聞いて欲しい子が多く、静かに話を聞いたり、待つ事が全体的に難しい様子がうかがえる。
- ⑥ マイペースな子が多く、それぞれのペースの個人差が大きい。

4. 研究の方法

- (1) 幼稚園教育要領の領域「人間関係」について理論研究を行う。
- (2) 幼児一人一人の発達段階や発達の個人差を考慮しながら、幼児に必要な経験を見通し指導を行う。
- (3) 友達との関わり合いが深められるよう環境構成と教材研究を継続的に行う。
- (4) 保育の記録や振り返りを行い、保育環境の改善や充実を図る。

5. 実践

(1) 幼児が互いに関わりを深め、協同して遊ぶようになるための過程について（幼稚園教育要領より抜粋）

- ・集団の中のコミュニケーションを通じて共通の目的が生まれてくる過程
- ・幼児が試行錯誤しながらも一緒に実現に向かおうとする過程
- ・いざこざなどの葛藤体験を乗り越えていく過程

幼児が協同して遊ぶようになるためには、一人一人がその子らしく遊ぶことができるように自発性を育てる事が基盤となる。幼児は、教師や他の幼児との関わりの中で多様な関わりを学んだり、体感したことを自分の中に取り込み、自発性を獲得し、より生き生きとした深みのある人間関係を繰り返し広げていく。そして、幼児が互いに関わりを深め、共に活動する中で、皆でやってみたい目的が生まれ、工夫したり、協力したりするようになっていく。教師は、活動の過程での幼児の変容を読み取り、大切に受け止めていくことが重要である。

(2) 事例 友達と共通の遊びができるように段階を踏んだ環境構成と援助の工夫

①安心して過ごせる場の設定 4月・5月



落としゲーム遊び

ままごとコーナー

ブロック

ボーリングあそび

【環境構成】好きな遊びや知っている遊びの場

【幼児の姿】4月・5月

配置された玩具（写真以外に、おりがみ、パズル、ぬりえ、絵本コーナーなど）に興味を示して遊び、それぞれが自分の好きな遊びや知っている遊びを楽しみ、居場所を見つけて行った。遊びや場に慣れていくと、自分のやりたい気持ちが強くなり、譲り合いができずトラブルがあらちこちで発生。また、言葉でのやりとりがうまく進まず、互いの気持ちが分からずいじわるされたと感じたり勘違いや気持ちのすれ違いから泣いたり怒ったりが続き、手が出てしまう。また、隣で同じ遊びをする友達がいるが、一緒にではなく、それぞれで遊びを進め平行遊びが見られた。

【教師の援助】

トラブルに丁寧に対応し、双方の気持ちの聞き取りを行い、どちらの気持ちも受け止め、言葉で伝え合うことと、繰り返し起こるトラブルの解説を根気よく行い、解決へ導くことを行う。また、楽しいイメージで遊びが終わりまた遊びたい気持ちで終われるよう教師が遊びに入り共通の遊びで友達と繋がれるようにした。

②個々の遊びから少人数グループでの遊びへ 5月～7月

—友達と一緒に楽しめるよ、でも順番を待ったり交代が必要だね—



うさぎとの触れ合い

ブランコ遊び

スケーター乗り

砂場あそび

【環境構成】園生活に慣れ、友達と少しずつ共通のイメージを持って遊びを進められるようになった頃、友達と一緒にする遊びの場として、うさぎとの触れ合いコーナーの柵、スケーター、砂場あそびの用具、等を配置。

【幼児の姿】

園生活に慣れ、保育園から一緒にの友達、新しい友達、共に一緒に遊ぶことが見られるようになり園生活を楽しむ様子が見られた。遊びも友達の楽しそうな様子を見て自分もやってみたい、一緒に遊びたい気持ちが見られ、それ

それぞれ好きな遊びの場に分かれて遊びが進められている。楽しんでいる中で、「自分も遊びたいのに入れてくれない」「自分も使いたいのにかしてくれない」という声。そして交代できない場面ではつい手が出てしまったり、玩具や遊具を乱暴に奪ってしまう事がありトラブル発生。

【教師の援助】

双方の気持ちの聞き取りを行い、遊びの流れを一緒に振り返り、どこでどうした方が良かったのか、楽しく遊びを続ける為に何が必要かを話し合う。同じようなトラブルが続くがその都度仲介役を繰り返し行い双方に伝えていく。幼児に寄り添い根気強く援助にあたる。また、固定遊具では、どのようなタイミングで交代することがいいかを相談し、提案をしながら幼児の考えや意見を取り入れ、ルールを確認して決めていった。

③状況理解が必要なごっこ遊び 1 学期後半



まつりごっこ



おうちごっこ



学校ごっこ



赤ちゃんごっこ

【幼児の姿】

好きなごっこ遊び（例えば、おうちごっこ、レストランごっこ、学校ごっこ など）を設定し遊びを進めるが、役割決めて相談がうまくできず、やりたい役になれなかったり、勝手に役を決められたり、遊びの進め方に相違がありトラブルが見られた。教師が仲介役となり、役を交代することはどうかという提案をきいて、役を交代して遊んだり、また、途中から役を2人にしたりして新しい考えを出して遊びを進めていく事ができた。それぞれが色々な役になる事で、その役の気持ちになり、いろいろな感情の体験にも繋がった。その経験から相手の気持ちや立場で考える機会やきっかけにもなる様子が見られた。

【教師の援助】

基本的には幼児のやりとりを見守り、求められたら助け舟を出し対応。トラブルへの助言として、双方の思いを聞き、その思いを伝え合った後に役を交代したり、他の役を増やしたりするのはどうかと遊びの提案を行った。また、幼児からの新しい提案やうまく遊べたことに良かった事を伝え、トラブル中の気持ちとうまく遊べた時の気持ちの違いに気づけるよう声をかけた。

④多様なルールが含まれる集団遊び 7月～9月



いすとりゲーム



フルーツバスケット



走り競争



カードゲーム

【幼児の姿】

遊び好きな本園児であるが、負ける事が嫌という理由で勝敗のある集団遊びを好まない幼児が多く、負けると、負けた事を受け入れられず、怒ったり、泣いたり、落ち込んだりする幼児が数名おり、気持ちの切り替えにも時間がかかっていた。また、順番を待つ、1回ずつ、当たるともう1回できる、など細かいルールのひとつひとつを守る事が難しく、特に自分が不利な状況になると感情的になる事があり気持ちを抑えられずトラブルになる事が続いた。

【教師の援助と意図】

勝ち負けには相手がいること、自分の順番の時は友達が待っていること、うまくいかなかった時に励ましたり応援してくれてくれる友達がいることなどを伝え、葛藤を繰り返し色々な感情の体験を重ね、気持ちのコントロールができるようになっていけるよう幼児の様子と調整しながら集団遊びを取り入れていった。

⑤みんなで合わせよう！ 運動会への取り組みから 10月



技の前の心の準備 せえのの合図で技の成功 声をかけ合い並ぶ場面 力を合わせて片付け

【幼児の姿】

運動会の取り組みとして、パラバルーンとダンスを行った。練習初めは、緊張からか張り切りすぎてか、はしゃいで自分の気持ちのままに動いたり、話しや説明が聞けなくなる場面が見られた。その状態で練習を進めるが、バルーンが膨らまなかったり、友達同士ぶつかったりしてうまくいかない。ぶつかったことでトラブルも発生。どうしたらいいかを相談しながら進めると「気持ちがばらばらだとうまくいかず、怪我にも繋がる」ことを理解し、『みんなでちゃんと合わせよう！』の声。その後、息を合わせて取り組めるようになっていった幼児達。気持ちが合った時にはバルーンがしっかりふくらみ技が成功する。みんなで声を合わせる楽しさ、気持ちを合わせて成功する心地よさを経験すると活動が活気づき意欲が高まっていった。活動に取り組む際には別の場面でも声をかけ合う事が増え、友達の存在に喜びを感じ、関係の深まりが感じられるようになっていった。

⑥みんなで気持ちを合わせよう！ 学習発表会への取り組みの中で 12月



オペレッタの練習 街ち時間を友達と楽しむ姿 遊びのルールや互いの気持ちを確認している場面

【幼児の姿】

発表会への取り組みの中で、オペレッタの歌を誰かが歌うとみんなに広がり大合唱になったり、みんなで踊り出したり、友達と一緒に同じ事を行う事に楽しさを感じて遊びの中でもオペレッタがとても盛り上がった。時々、気持ちが高ぶりふざけになる事が見られたが、「みんなで気持ちを合わせよう！ そうしないとばらばらになるよ。」「ここに並ぶんだよ」など幼児同士で声をかけ合いクラス全体がひとつになっていく様子が見られた。みんなでひとつの目的に向かい思い切り表現できた事が自信となり、友達と一緒にやり遂げる達成感を得たことで、友達関係にも深まりが見られ活動や遊びへの意欲が高まる。

⑦友達関係の深まりから創り出す遊びへ 12月前半



お相撲遊び 自分だけの水槽創り ピカピカお掃除隊 ドミノ大会

【幼児の姿】

イメージを共有して友達と一緒に取り組む楽しさや充実感を味わう事で友達関係により一層深まりが見られ、遊びもアイデアや工夫を出し合い充実している様子が見られる。

【教師の援助】

幼児のやりたい事が実現できるよう、材料を準備したり、必要な物を用意できりようにする。

⑧先生、ドラム屋さんやりたい！ 経験したことからいろいろな〇〇屋さんへ 12月後半



お店の看板



ドラム屋さん



お店の看板



ピアノ屋さん



帽子屋さん



演奏を聞かす所（幼児の表現）



食べ物屋さん

【幼児の姿】

遊びの中に日々展開が見られ、「こうしてみたい」「ああしてみたい」と幼児のイメージやアイディアがどんどん出てきた12月後半。まずドラム屋さんがオープン。友達の提案に乗って、一緒に必要な物を作ったり、材料や用具が足りない時には必要な物を準備したり先生にリクエストにしたり、イメージを共有してイメージの実現を目指し、友達と関わりながら楽しんでいる。更に遊びにこだわりが見られる。また、友達の様子を見て、他のお店をオープンし、お店や商品作りがどんどん広がっている。

【教師の援助と意図】

幼児のイメージやこだわっていることを友達と一緒に表現できるように場を設定し援助する。振り返りの時間に取り組みの良さや、取り組みのお知らせを全体に紹介し、他児の関心を引きたい。そこから遊びを全体に広げ、お店屋さんごっこや演奏会等のイベントにできたらと考えている。

6. 考察

- (1) 教師が必要に応じて、遊びの助言者になったり、遊びの仲間になったり、トラブルの際には振り返ったりする場を設定し、幼児の遊びや思いを言葉にして伝え、つなぐ等、関係作りや話し合いを支えるよう時間をかけて援助していくことで自分の思いや考えを伝えたり相手の思いや考えを受け止めたりして遊びを進めていこうとする姿が見られるようになった。
- (2) 幼児一人一人の発達の過程を振り返りながら、その時期に必要な体験を積み重ねていけるよう援助をしてきたことで、幼児一人一人の育ちを促すことにつながっていった。
- (3) 共通の遊びや活動を行う中で、気持ちのすれ違いやぶつかり合いが起こるが、互いの思いを伝え合い、互いの思いをすり合わせる経験を重ねることで、試行錯誤したり一緒に活動する楽しさや共通の目的が実現する喜びを味わい、いざこざなどの葛藤体験を乗り越えていく姿につながっていった。

7. 今後の課題

- (1) 一人一人の育ちが見られるが、発達する姿はそれぞれ異なっている為、今後も幼児一人一人に思いを寄せ内面理解に努め一人一人が存在感を持って生活できる集団の育成に配慮しながら取り組みを続ける。
- (2) 今後も自己主張のぶつかり合いが予想されるので、自己主張のぶつかり合いは自己発揮と自己抑制の発達の上で重要であることを考慮し、幼児が納得して気持ちの立て直しができ次に進めるよう継続して援助にあたる。
- (3) 意見を出したり、互いの遊びを楽しくするための幼児同士の話し合いが深まるように、遊びの振り返りタイムを充実できるよう時間設定を見直す。

8. 参考文献 幼稚園教育要領解説・保育内容5領域の展開・インリェスを育む・10の姿を育む保育・こどもの発達 等

恩納村立仲泊小学校の取組

主題：自ら学ぶ力を育成するための家庭学習への取組

1. 目標

中学校1学年終了時までに「自学自習力」を身につけさせる。

2. 本校が取り組んでいる家庭学習（自学自習と宿題等）について

本校では、学力向上推進の目標に掲げてある「自立した学習者」を育てるため、家庭学習を「わくわく学習」と「バッチリ学習」の2つに分けた共通実践と音読を加えた3つの視点で行っている。「バッチリ学習」は、「漢字テストに向けた練習」や「苦手な計算の復習」など、授業と連動した内容や基礎的・基本的な内容を中心に学習内容の定着を図るものとして行っている。プリント学習や教師からの課題もこれに含まれる。それに対し「わくわく学習」は、学ぶことを楽しみ、児童の好奇心や知りたいという気持ちを大切にしたい学習である。自分で課題を選び、調べたり、まとめたりすることを通して、本質的な学習（探究学習）の方法につながるものとして、本校では、以下のA～Eの5つのカテゴリーに分けて取り組んでいる。

（わくわく学習の内容）

- A：ふりかえり（授業で学んだ内容→できなかったこと、もっとやってみたいこと）
- B：クイズ作り（得意な分野についてクイズを考え、答えの説明をつける）
- C：Let's スタディ（自分で計画・テスト・分析・練習を行う）けてぶれ学習
- D：探究（総合学習や個人で、本や新聞、ネットやインタビューなどから調べたこと）
- E：トピック学習（新聞記事を読んで、切り抜いた記事から感じたことややってみたいことを書く）

（バッチリ学習の内容）

- | | |
|--------------|-----------------|
| ○今日の授業の復習 | ○算数ドリル |
| ○漢字の熟語練習 | ○テストのまちがい直し（復習） |
| ○教科書の詩や物語の視写 | ○文章問題作り |

さらに見通しを立てた学習計画作りとして、週のはじめに、1週間の計画表を作成。週末で学習のふりかえりを行い「良かった点」と「改善したい点」を記入し、次週の計画につなげるようにするとともに偏った学習にならないよう時々教師から内容を指定しながら進めている。また、音読を通して保護者の協力を得るため、サインをお願いしている。

評価等については、毎朝提出してもらい、計画表と内容を確認し、コメントを挿入。学年によっては、児童の評価も取り入れている。また、自主学習を苦手としている児童に対しては、隙間時間を使い、担任が学び方の支援をくり返し行うことで、勉強する習慣を身につけさせていくとともに「家庭学習は未来の自分のために積み上げていくもの」だということを意識させながら進めている。

今後の取り組みとして、児童のがんばりを児童同士で評価させたり、朝の会や帰りの会において、自作クイズの発表を行ったりしながら、互いの学びの良さにふれさせていきたい。また、ていねいなノートやアイディアたっぷりのノート等を掲示する場を設定し、児童らのさらなる意欲につなげながら、自主（わくわく）学習の定着に努めていきたいと考える。

2. 各学年の取組実践

1 学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」を作成。教師の作成したお手本を活用したり、漢字ドリルを手本にしたりして取り組ませ、週末はプリントを配布している。音読ファイルを作成し、表紙にめあてと自己評価をはりつけ、毎日取り組ませている。3学期からは、学級全体で「わくわく学習」にも取り組んでいく。

(1) 「宿題」について (写真①)

① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・ 1週間の予定表と連絡メモ
- ・ 朝の活動表や給食完食表

② 基礎学力を身につける (バッチリ学習)

- ・ 算数1ページ、国語1ページ→授業と連動させた教師のお手本を活用
- ・ 国語・算数の形成プリント
- ・ 毎日の音読

(2) 「はっするノート」について (写真②)

- ・ カタカナ集めやことば集めなどに取り組ませている。(教師からの課題)
- ・ 保護者といっしょに言葉集め、言葉しりとり、漢字等に自主的に取り組んでいる。

(3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 音読で文を読む力
- ③ 書く力 (ひらがな・カタカナ・漢字)
- ④ 継続する力 (家庭学習の習慣化)

(4) 評価等の方法

- ・ 担任が毎日確認し、スタンプやコメントで賞賛している。
- ・ プリント等、授業で確認。はっするノートは1冊終えるごとにみんなに報告し、クラスで賞賛。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- ひらがなが定着。漢字の練習にも意欲的
- 家庭学習は、9割の子が習慣化している。
- △ 音読が定着していない子がいる。
→ 保護者と連携をとりながら、補習の時間や授業の中で取り組ませる。
- △ 自主学習「わくわく学習」への取り組み
→ 「物の名前集め」や「もの知り博士」など、興味を持たせながら3学期から取り組ませる。

9 29 19

女	女	男	男
の	く	の	1
ひ	父	ひ	口
と。	女	と。	田
女	③	大男。	田
の	女	男。	男
子	女	男	男
の	女	男	男
ふ	女	男	男
く	女	男	男

9 28 18

①	11	+	4	=	15
②	13	+	4	=	17
③	16	+	3	=	19
④	12	+	6	=	18
⑤	10	+	8	=	18
⑥	14	+	5	=	19
⑦	17	+	2	=	19
⑧	13	+	5	=	18
⑨	16	-	3	=	13
⑩	19	-	6	=	13
⑪	15	-	4	=	11
⑫	18	-	4	=	14

The image displays two pages from a Japanese calligraphy practice book, focusing on the character '木' (tree). The pages are titled '木' and '木'.

Left Page (木):

- Top left: 木 (small)
- Top right: 木 (medium)
- Bottom left: 木 (large)
- Bottom right: 木 (large)
- Center: 木 (medium)
- Numbers 1-10 indicate stroke order for the large '木' at the bottom right.

Right Page (木):

- Top left: 木 (small)
- Top right: 木 (medium)
- Bottom left: 木 (large)
- Bottom right: 木 (large)
- Center: 木 (medium)
- Numbers 1-10 indicate stroke order for the large '木' at the bottom right.

☆「わくわく学習」 おうちの人とがんばったよ。

2学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」を作成し、「くり返し漢字ドリル」を使った漢字の練習や今日学習した算数の計算問題に取り組みさせている。また基礎基本の定着として形成プリント1枚と学習している単元の音読を毎日保護者にチェックしてもらい、日記も毎日書かせている。

自主学習として、ふりかえりや授業の一部で、「わくわく学習」のしかたを学ばせ、クイズ作り等に取り組ませている。

(1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
 - ・ 1週間の予定表を配布 (保護者コメント欄有)
 - ・ 1週間の学習計画表 (学習用具の準備) を作成
 - ・ 保護者へのお知らせ
- ② 基礎学力を身につける (バッチリ学習)
 - ・ 授業と連動した内容の宿題 (漢字・算数のプリント)
 - ・ 国語の教科書の音読

(2) 「わくわく学習」について (写真②)

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組ませている。「わくわく学習」の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 学習に興味を持たせるため教師からの本の提供を行っている。(学級で順番に活用)「地球の不思議」「宇宙の不思議」など)

(3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 継続する力 (家庭学習の習慣化)
- ③ 最後まであきらめずに取り組む力
- ④ 興味・関心をもって取り組む力

(4) 評価等の方法

- ・ 隙間時間を使って、全員のノートをチェックし、コメントを挿入。
- ・ 音読の状況や学習内容を確認

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- ノートの使い方を指導することで、使い方が上手になった。
- 書写の学習を意識させることで、文字をていねいに書く子が多くなった。
- △ 家庭学習は、こなすだけで内容に変化がない子もいる。
 - 学習の方法を提示したり、その日やる学習を「ふりかえりの時間」を使って一緒に確認したり、1～2行程度一緒に書く活動を取り入れていく。

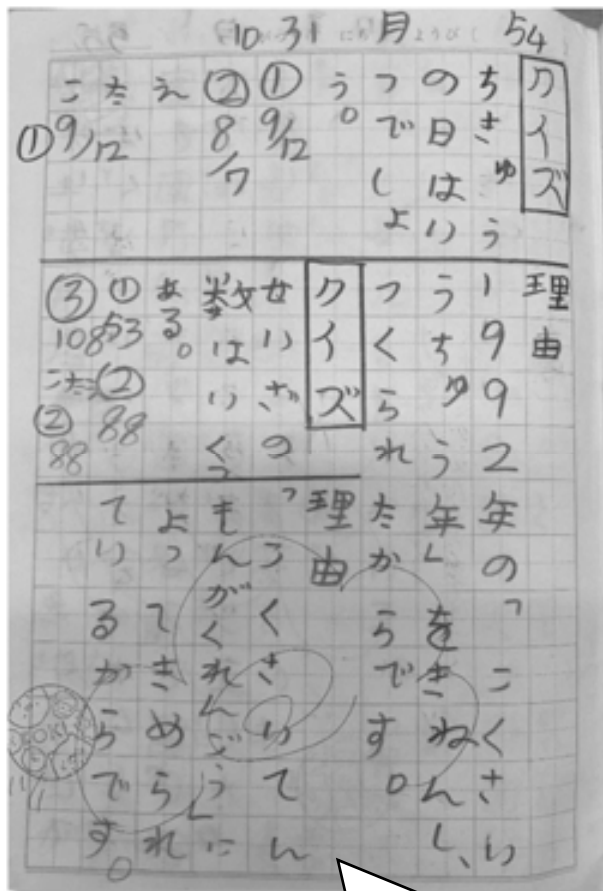
「はっするノート」(写真①②)



スリーヒントクイズ作り。帰りの会でみんなにクイズをだしたよ。

6のたん	7のたん
$6 \times 1 = 6$	$7 \times 1 = 7$
$6 \times 2 = 12$	$7 \times 2 = 14$
$6 \times 3 = 18$	$7 \times 3 = 21$
$6 \times 4 = 24$	$7 \times 4 = 28$
$6 \times 5 = 30$	$7 \times 5 = 35$
$6 \times 6 = 36$	$7 \times 6 = 42$
$6 \times 7 = 42$	$7 \times 7 = 49$
$6 \times 8 = 48$	$7 \times 8 = 56$
$6 \times 9 = 54$	$7 \times 9 = 63$

宿題で苦手な6のたんと7のたんの練習



クイズを作ったら、ずかんを使ってくわしく調べる。

100のたん	500のたん
$100 \times 1 = 100$	$500 \times 1 = 500$
$100 \times 2 = 200$	$500 \times 2 = 1000$
$100 \times 3 = 300$	$500 \times 3 = 1500$
$100 \times 4 = 400$	$500 \times 4 = 2000$
$100 \times 5 = 500$	$500 \times 5 = 2500$
$100 \times 6 = 600$	$500 \times 6 = 3000$
$100 \times 7 = 700$	$20 \times 3 = 60$
$100 \times 8 = 800$	$20 \times 9 = 180$
$100 \times 9 = 900$	$20 \times 18 = 360$
$101 \times 1 = 101$	$20 \times 50 = 1000$
$101 \times 2 = 202$	$20 \times 8 = 160$
$101 \times 3 = 303$	$30 \times 3 = 240$
$101 \times 4 = 404$	$2 \times 9 = 63$
$101 \times 5 = 405$	$8 \times 7 = 56$
	$8 \times 9 = 72$
	$30 \times 5 = 150$
	$20 \times 8 = 160$

九九を使った未習の計算に挑戦。100のたんとでもできた。

3 学年の家庭学習の取組実践事例

- ・「はっするノート」を作成し、「バッチリ学習」と「わくわく学習」を曜日ごとに分けて取り組んでいる。月曜日に予定（計画）を立て、毎日自分で記録させている。
- ・計画表を意識付けさせるために、計画表のページを開いて提出（自己評価や未記入の確認）
- ・授業の中で新しく出た言葉や疑問に思ったことを「わくわく学習」のタネとして教師が意識づけを行っている。

（１） 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける（年間を通して実施）
 - ・ 1週間の予定表を配布（保護者コメント欄有）
 - ・ 1週間の学習計画表を作成、実行させている。（ふりかえりの記入）
- ② 基礎学力を身につける（バッチリ学習）
 - ・ 漢字の学習のやり方指導を行っている。
 - ・ 算数の既習単元のふりかえりプリント

（２） 「わくわく学習」について（写真②）

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組ませている。わくわく学習の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 生活や学習の中での疑問について調べたり、まとめたり、クイズを作ったりしている。
- ・ 授業の中で出てきた「不思議」や「むずかしい言葉」等を投げかけて興味を持たせている。

（３） 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 粘り強くやり抜く力（家庭学習の習慣化）
- ③ 計画し、実践していく力
- ④ 興味関心を広げる力

（４） 評価等の方法

- ・ 朝の時間に全員のノートをチェックし、コメントを挿入。
- ・ 児童のノートを学級便りに掲載。

（５） 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

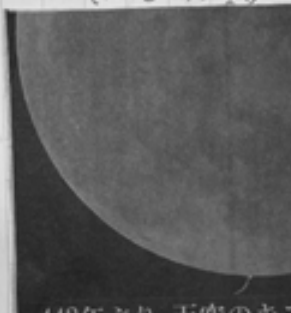
- 家庭学習の取組が習慣化してきた。
- 「わくわく学習」に進んで取り組む子が増えた。
- △ 学習内容の質の向上
 - お手本となる児童のノートを目につきやすいところに展示・掲示
- △ 指導時間の確保
 - 時間を確保し、学習の仕方を説明しながら、一緒に取り組む
- △ 授業と家庭学習の往還

The grid shows a collection of kanji characters arranged in rows and columns. Some characters are circled or boxed, and numbers are written next to them. A large circle highlights the character '福' (Fuk) in the center.

Good!

< 皆既月食と天王星食 >

(か)きげんく (てんのうせい)



442年ぶり 天空のキス

皆既月食で赤銅色となった月に隠れるように見える「天王星食」。月の下に横している白い点が天王星＝8月午後8時13分、那覇市美武山町

皆既月食

とは?

太陽の光が地球にさえぎられて月に当たらなくなり、月が地球から全く見えなくなること。

皆既月食と天王星食

とは?

新月が地球の影に隠れる皆既月食が8日、全国各地で観測された。県内でも夜には晴れ間が見え、赤銅色の月が見られた。天王星が月に隠れる天王星食も同時にあり、約442年ぶりの皆既月食と天王星食の共食となった。皆既月食は午後7時16分から始まり、午後8時47分まで続いた。那覇市内では開始直後から観測できた。

(小川昌英 写真も)

天王星食

とは?

惑星である天王星が月にかくされる現象です。

皆既月食観察後、新聞でまとめた。

Good!

皆既月食観察後、新聞の切り抜きを読んで自分の言葉でまとめた。

4 学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」を配布して、「ばっちり学習」と「わくわく学習」を行う。「ばっちり」は、担任から出す宿題（漢字や計算問題）で、「わくわく」は、自ら課題を選んで学習を行う。また、今週の予定表（時間割）と学習計画表を同じファイルに貼り、見通しをもって取り組めるよう計画を立てさせている。また、学習内容の定着度の確認のため、時々プリントを宿題として出し、教科書の音読もさせている。

（１） 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける（年間を通して実施）
 - ・ 翌日の日程、持参物、家庭への連絡メモ（保護者のサインあり）
 - ・ 日記（週に１回程度）
- ② 基礎学力を身につける（その日の授業の復習）
 - ・ その日の授業の復習
 - ・ 写本、漢字の練習、計算問題
 - ・ 計算ドリルプリント（週に３枚程度）
 - ・ 音読

（２） 「わくわく学習」について（写真②）

- ・ 自学学習を５つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組ませている。「わくわく学習」の仕方が定着するようにと、１０月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ ４年生は、毎日「はっするノート」２ページに取り組んでいる。

（３） 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 粘り強くやり抜く力（家庭学習の習慣化）
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 興味・関心を広げる力
- ⑤ 自ら課題を見つけ解決する力

（４） 評価等の方法

- ・ 学級担任が毎日コメントを入れて看取りや指導、支援を行っている。（賞賛することだけ）

（５） 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 家庭学習を楽しんでやる児童が増えた。
- 家庭学習の習慣が身についた児童が増えた。
- △ 家庭学習の習慣化
 - 引き続き、家庭学習の取り組み方について、根気強く指導を行っていく。
- △ 基礎学力の定着
 - 自ら課題を設定できるように、指導を繰り返す行う。

「はっするノート」（宿題）（写真①②）



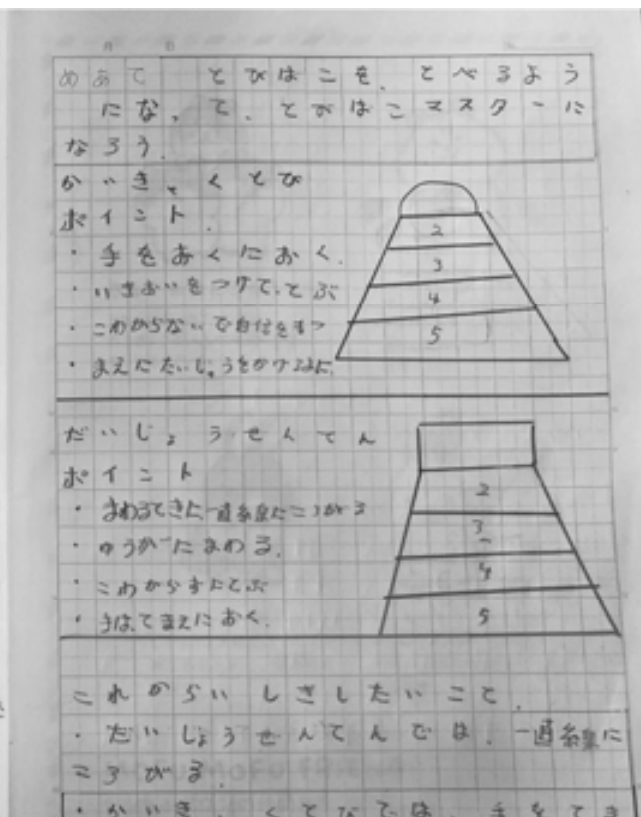
「けてぶれ」で取り組んだ力だめし 100点



新聞の切り抜きから「なぜ？」を見つけて、自分の感想をまとめる。



一冊、一冊を積み重ね、みんなでゴールをめざって



体育の授業でやったとび箱運動。自分のことばで技のポイントをまとめ実践へ。

5学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」「を作成し、子ども自ら内容を選んで、主体的に楽しく学習できるよう「わくわく学習」に取り組ませている。宿題としては、算数のドリルや授業と連動した形成プリントと漢字ドリルに取り組ませている。音読も毎日教科書の音読をさせ、授業の中でチェックを行っている。

(1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
 - ・ 学習計画表を活用し、家庭学習の記録を付けている。
 - ・ 一週間の予定表を配布
- ② 基礎学力を身につける (バッチリ学習)
 - ・ 漢字の練習 (漢字ドリル)
 - ・ 算数の復習プリント

(2) 「わくわく学習」について (写真②)

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組ませている。「わくわく学習」の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 自分の気になったことの調べ学習
- ・ 国語、算数以外の学習

(3) 身につけさせたい力

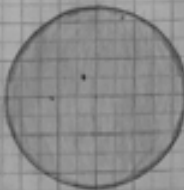
- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 粘り強くやり抜く力 (家庭学習の習慣化)
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 興味・関心を広げる力
- ⑤ 自ら課題を見つけ解決する力

(4) 評価等の方法

- ・ 隙間時間を使って、ノートのチェック、賞賛コメントの記入
- ・ 音読→国語の音読時に評価
- ・ 漢字セルフチェック
- ・ はっするノート大会 (児童同士の評価)

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 音読がスムーズにできるようになった
- △ 課題を通して学ぶというより、こなしている感じで取り組んでいる
 - 広く調べることから、視点を与えてより深く調べる学習を図書館利用の時間を使って支援していく。

月と太陽のちがひ		
太陽	違い	月
		
大きい	形	小さい
地球が太陽のまわりをまわっている。	地球との関係	月が地球のまわりをまわっている。
約億5千万km	地球との距離	約38万km
黒い点がある。	表面	黒いくぼみがある。
直径約140万km	大きさ	直径約3475km
自ら強い光を出している。	光	自ら光を出さず、太陽光が反射し光る。
初めて知。なことを		
- 太陽には、黒い点がある。 - 月は、太陽光を反射し、光る。		

授業で学んだ「エイズ」で知ることができたとをノートにまとめたり、新たに調べたりした「わくわく学習」

エイズ

① Acquired (獲得)

② Immuno (免疫)

③ Deficiency (不全)

④ Syndrome (症候群)

HIVは感染

数週間後には一時的にインフルエンザに似た症状が出ることもある。

免疫低下
弱体化
たがHIVにより
免疫力が低下する
値下する。

エイズ発症

正常な免疫が機能しなくなるような感染症などの発症を促進する。

HIV
免疫不全HIV

指定の2病患のいずれかの発症
AIDS
免疫不全HIV

「わくわく学習」
ノートからはみ出すぐらい調べまとめることができた。

「わくわく学習」
ノートからはみ出すぐらい調べまとめることができた。

6学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」を作成し、「バッチリ学習」と「わくわく学習」に取り組んでいる。「宿題」として毎日プリント1枚と教科書の音読に取り組ませている。「わくわく学習」は、Let's study（けてぶれ学習）を中心に進め、児童が主体的に内容を選び、楽しく学べるように取り組ませている。

(1) 「宿題」について（写真①）

① 生活習慣を身につける（年間を通して実施）

- ・ 1週間の予定表を配布（保護者のサインあり）
- ・ 1週間の学習計画表を作成，毎日記録させる。（ふりかえりの記入）

② 基礎学力を身につける（バッチリ学習）

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組ませている。「わくわく学習」の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 算数のプリント（その日の授業と連動）
- ・ 漢字の練習（けてぶれ学習）

(2) 「わくわく学習」について（写真②）

- ・ 「けてぶれ学習」を意識させて取り組ませている。
- ・ 授業の中で、児童に興味を持たせるような問いかけを心がけ、「わくわく学習」につなげている。

(3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 粘り強くやり抜く力（家庭学習の習慣化）
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 興味・関心を広げる力
- ⑤ 自ら課題を見つけ解決する力

(4) 評価等の方法

- ・ 朝の隙間時間を活用し、全員のノートをチェックしコメントを入れながら指導・支援を行っている。
- ・ 児童の良いノートを学級便りで紹介

(5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 単元テストの平均点が up。
- 家庭学習をやってくる子が増えた。
- △ 保護者のサインがない児童が多い
→ 保護者との連絡・連携を密にしていく。

(4) 恩納村立山田幼稚園の取組

友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫

～ 発達に即した遊びを通して ～

1 テーマ設定の理由

近年、少子化や核家族化などにより、人間関係が希薄化し、他者とのかかわりが苦手な子や、子ども達を取り巻く環境の変化から、受動的な遊びが増えるなど、子ども同士が直に触れ合い、刺激し合いながら育ち会える環境が減少してきているように思われる。

幼稚園教育要領の「人間関係」の領域、内容の取り扱い(3)では、「幼児が互いにかかわりを深め、協同して遊ぶようになるため、自ら行動する力を育てようとするともに、他の幼児と試行錯誤しながら活動を展開する楽しさや共通の目的が実現する喜びを味わうことができるようにすること。」と示されている。

本学級の幼児の実態を見てみると明るく素直な子が多く、自ら友達に関わり遊ぶ子もいるが、どのように友達と関わってよいか分からず一人遊びをする子、遊びが続かない子、気持ちが乗らないと一緒に取り組むことが難しい子や発達段階を考慮した援助が必要な子など、一人一人の発達の個人差が大きい。

そこで本研究では、学級の幼児の実態を踏まえ、興味・関心や発達に即した遊びなどを取り入れ、幼児が友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができるような援助の工夫や協同して遊びたい環境構成の工夫を行うことで幼児が互いのよさに気づき、協同して遊ぶことができる幼児の育成をめざし本テーマを設定した。

2. 研究仮説

幼児の興味・関心や発達に即した遊びなどを取り入れ、コミュニケーションを通して共通の目的に向かうような援助・場の設定をすることで、協同して遊ぶことができる幼児が育つであろう。

3. 幼児の実態

(1) 山田幼稚園について

担任：教諭 高石 葉子 男子：10人 女子：9人 合計 19人
担任補助：渡慶次 由紀子 特別教育支援員：富着 竜一 預かり保育担任：卜部 淑代

(2) 園児の特徴

- ・明るく素直なが多い。気の合う友達同士、遊びや活動を楽しむ子もいるが、友達と一緒に活動が続かなかったり、途中で遊びからぬけてしまったりする子がいる。
- ・友達との関わり合いの中で自分の思いや気持ちを言葉で表現出来ないことが多く遊びが続かないことがある。
- ・発達面から支援の必要とする幼児が数名おり、気持ちが乗らないと一緒に取り組むことが難しい子や発達段階を考慮した援助が必要な子がいる。

4. 指導の実際

事例1, 砂場遊び・色水遊び

【幼児の姿】

- ・みんなと一緒にの空間にいても一人で遊ぶ事を好み、教師と遊ぶ姿が多く見られる。
- ・上手くいかないと泣いたり、諦めたりして教師に助けを求め、自分でやることを諦めてしまうことがある。

【教師の願い】

- ・友達と一緒に遊びを進める中で、様々な出来事を通して、嬉しい、悔しい、悲しい、楽しいなどの多様な感情体験を味わってほしい。
- ・友達と一緒に遊ぶ中で、試したり、工夫したりする楽しさを味わってほしい。

【教師の援助】

- ・ 幼児との信頼関係を築き、自分の気持ちを表現できるようにしていく。
- ・ 幼児の言葉やイメージを幼児同士が共有できるよう、教師があたたかい言葉でつないでいく。
- ・ 学級全体の話し合いの中で、一人一人の意見を大切にし、思ったことが自由に発言できる雰囲気作りを行う。
- ・ 意図的に協同的な遊びの場や、話し合う場面の設定をする。

【幼児の変容】

- ・ 楽しんで遊んでいる遊びを紹介したり、アイディアを話し合ったりしたことで、一人で遊ぶことが多かった幼児も活動に興味を持って参加し友達と一緒に楽しめるようになった。
- ・ 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう経験を積み重ねたことで、上手くいかなくても諦めずに取り組むようになってきた。

石の響きを発見し友達と楽器遊びをしている姿



個々の色水遊びが発展して「友達と一緒に色水滑り台を作っている姿」



砂山作りが遊びが発展して「友達と温泉ごっこ遊びをする姿」



クラスで遊びの共有している姿



事例2：おばけ迷路づくり・大型ブロック遊び

【幼児の姿】

- ・ 廃材を用いた「せい作」遊びを好み、色々な素材を使い作品を作る姿が見られる。
- ・ 個々で作っていた活動が教師の援助により数名、または同じ思いの複数名でのせい作を行うようになってきたが遊びが発展しないことが多い。

【教師の願い】

- ・ 共通の目的に向かっていく中で、友達と一緒に工夫したり協力したりすることを通して遊びを展開する楽しさや共通の目的が達成される喜びを味わってほしい。
- ・ イメージや目的を共有し、それを実現していく中で自己主張がぶつかりあったり、折り合いをつけたりすることを繰り返しながら、工夫したり、協力したりする楽しさや充実感を味わってほしい。
- ・ 友達と一緒に活動していく中で、友達のよさに気づき、一緒に活動することを楽しみ、次の活動意欲へとつながってほしい。

【教師の援助】

- ・イメージを表現するための道具や用具、素材を用意し幼児と一緒に環境構成を行う。
- ・幼児の言葉やイメージを幼児同士が共有できるようあたたかい言葉つないでいく。

【幼児の変容】

- ・初めは個々で製作を楽しんでいたが、同じ目的を持つ友達と一緒に作ることが出来るようになった。またお互いの気持ちを伝え合い、ぶつかり合いながらも試行錯誤しながら工夫して作品を仕上げる様子が見られた。
- ・友達と一緒に作り上げていく中で、友達のアイデアやよい面に気がつき友達同士で楽しみながら製作する姿が見られた。

クラス全体で公園か海賊船作りのどちらにするかディベートをする姿



クラス全員で協力して完成させた「おばけ迷路作り」★衣装作りまで楽しみました



5. 成果と課題

成果

- ・興味関心を捉え、意欲的に環境に関われる物的、空間的環境構成を行ったことで、友達と共通の目的を持ち協同的な遊びが展開していくことができた。
- ・一人一人に応じた援助を行ったことで幼児が自己発揮し、自発的な行動をとれるようになった。また進んで環境に関わり、友達と協同的な活動が展開できるようになった。

課題

- ・園全体で組織的、計画的な園内研修の実施と環境構成の更なる工夫。

6. 参考文献

- ・「幼稚園教育要領解説」(平成30年3月) フレーベル館
- ・「幼稚園教育要領ハンドブック」 武藤隆
- ・「子どもの主体の協同的な学びが生まれる保育」 大豆生田哲友 学研
- ・「日本版保育ドキュメンテーションのすすめ」 大豆生田哲友 小学館
- ・「3, 4, 5歳の児の ごっこ遊び」 神長 美津子 岩城 眞佐子 ひかりのくに

恩納村立山田小学校の取組

主題：自ら学ぶ力を育成するための家庭学習への取組

1. 目標

中学校1学年終了時までに「自学自習力」を身につけさせる。

2. 本校が取り組んでいる家庭学習（自学自習と宿題等）について

(1) 家庭学習（自学自習と宿題）の定義と内容

家庭学習を教師が与える既習事項の定着を目的とする課題「宿題」と児童が主体的に学びたい学習「自学自習」の2つの視点でとらえている。「宿題」においては、全学年で統一教材を選定し、学びをそろえている。

①宿題 ・朝のドリル学習の復習・・・漢字ドリル2字

・授業と連動した課題・・・形成プリント、自作プリント、ICT（端末の活用）

・教科書の内容把握、漢字の読み・・・音読

②自学自習 ・自分に必要な学習、学びたいこと・・・「めあて」「ふりかえり」の記入

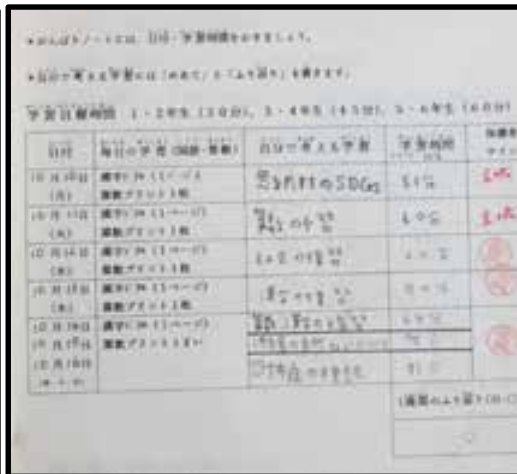
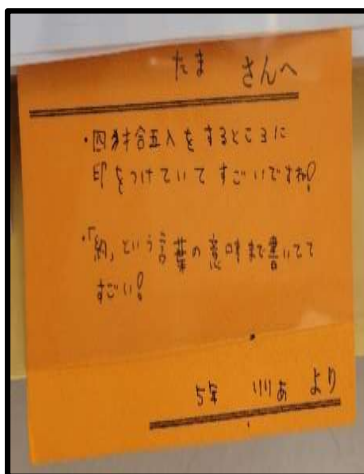
・学期に1度家庭学習強化月間を実施・・・学級のみあての設定、計画表作成、保護者のサイン

評価等については、毎日の提出をチェックし、担任は休み時間やすき間時間等を利用して、コメントを入れたり間違いを直させるなど学習の看取りを行っている。また、お手本となる児童のノートを「がんばりノート展」で貼り出して、どの児童にも「見える化」し参考にできるように工夫している。教師からのコメントだけでなく、児童から児童への「ほめほめカード」を記入させることで、家庭学習ノートの内容や書き方で良かった点を児童自ら見つけ自分の学習に生かしていけるような取り組みになればよいと考え、今年度から実施している。

お手本となるノート

児童の「ほめほめカード」

自学自習計画表（1週間ごとに作成）



(2) 家庭学習の変容（保護者アンケートより）

保護者アンケートで「家庭学習の習慣化してきた」という項目の1学期と2学期を比較してみると、「当てはまる」が11%上昇し、本校の取り組みが児童に定着してきたと感じている保護者が増えている結果となった。しかし、「当てはまらない」「あまり当てはまらない」を合わせると17%となり、課題も見られた。今後も自学自習の取組について工夫改善を図っていく必要がある。



3. 各学年の取組実践

1 学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」として、音読、プリント、がんばりノートの1ページは写しプリントを配布して、基礎学力や、がんばりノートの使い方の定着を図っている。内容は授業内容に合わせて、言葉あつめ、漢字・カタカナ練習、計算など。

1ページは家庭や学童で児童と相談しながら、授業と連動した内容やその子に合った内容を復習させたりしている。その際、今まで学習したのプリントや「くりかえし漢字ドリル」も活用している。又、プリントファイルを作成し、そのファイルに音読表を貼り、保護者のサインなどで意識づけを行っている。週の予定表にその週の音読や学習の内容を保護者に知らせ、協力をお願いしている。12月は「学習計画表」を作成し、自分で計画を立て保護者と協力しながらページや内容を決めさせ、振り返りを行っている。

(1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して週予定表の配布)
 - ・ 翌日の日程、持ち物、音読、課題、家庭への連絡メモ
- ② 基礎学力を身につける (音読・プリント・がんばりノートにその日の授業の復習)
 - ・ 国語の教材の音読 (家庭のサイン)
「形成プリント」その他プリントをファイルに綴り提出
 - ・ 教科書の練習問題や漢字・カタカナ練習・計算等を1ページ (写しプリント配布)

(2) 「自学自習」について (写真②)

家庭・学童と相談しながら自分に必要な内容を1ページ以上

- ・ につき ・ 言葉あつめ ・ カタカナ ・ 漢字 ・ 写本
- ・ たし算、ひき算 (教科書補充問題、過去のプリントから)
- ・ 苦手な単元の復習

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に取り組む力 (計画→実践)
- ④ 粘り強くやり抜く力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 読む力
- ⑦ 振り返る力

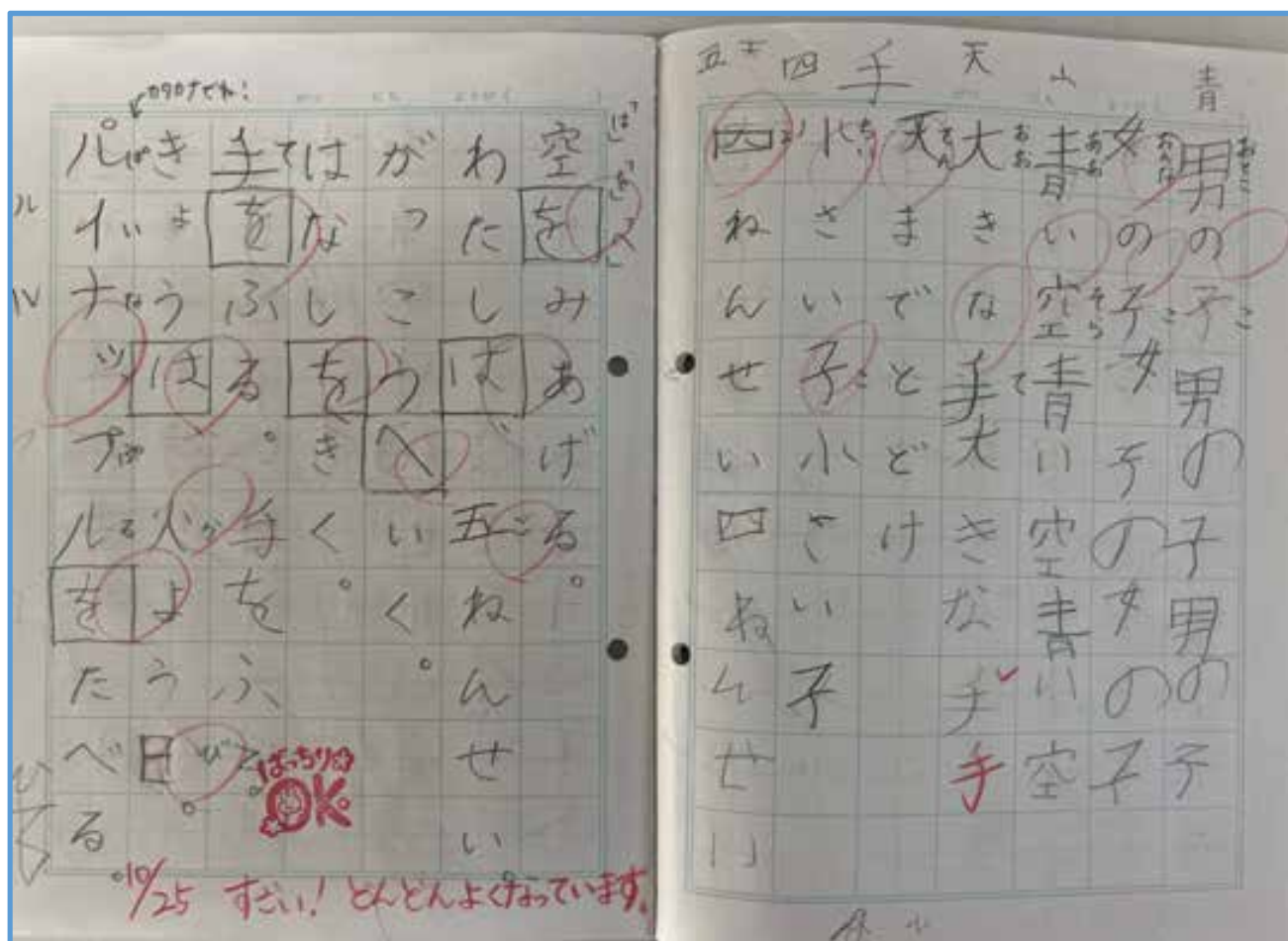
(4) 評価等の方法

- ・ プリントファイルを毎日提出させ、音読、プリントを担当でチェックしている。気になるミスや雑な文字に関しては、放課後やすきま時間に指導。
- ・ 前日に出した漢字等についてミニテスト等を実施し、評価。
- ・ がんばりノートにアドバイスや感想等があれば、コメントなどで指導や支援。
- ・ 音読表で20日以上頑張っている子へごほうびシールを貼って賞賛。

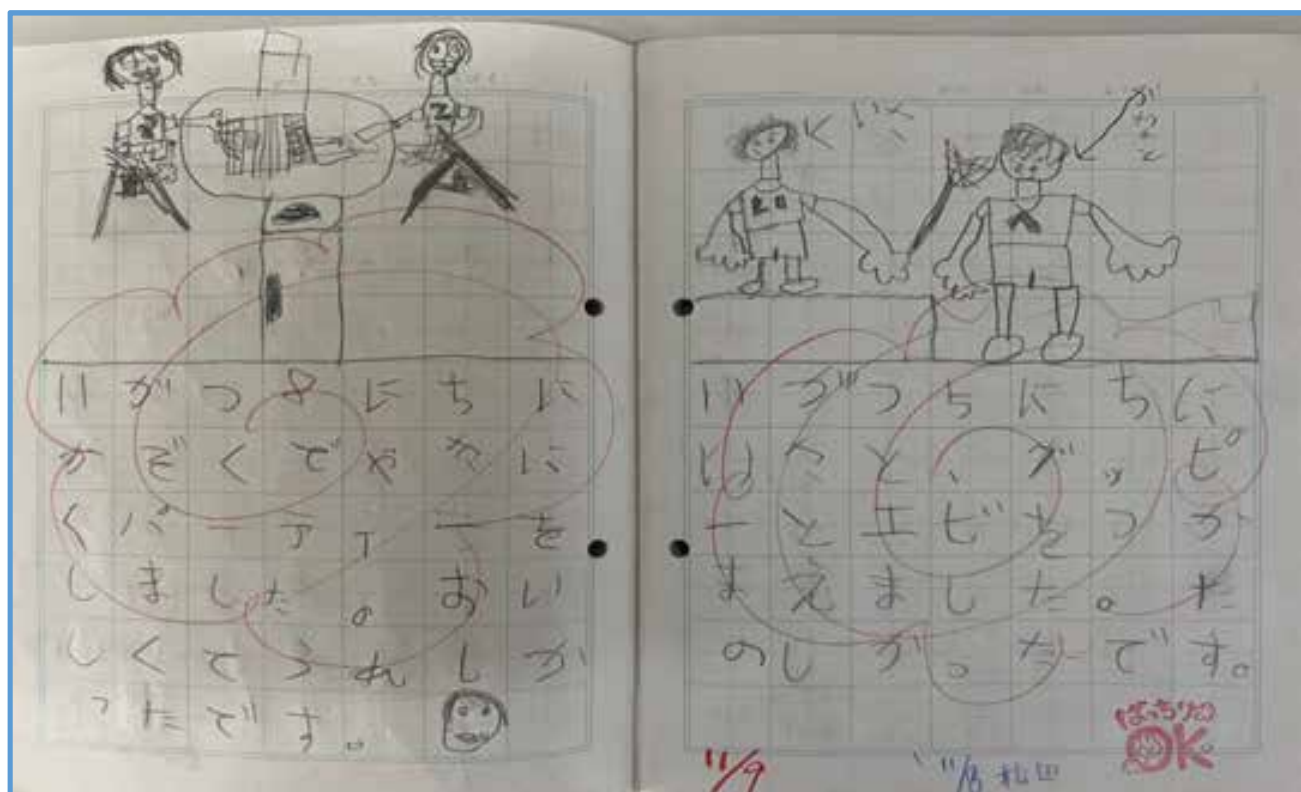
(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- ほとんどの子プリントやがんばりノートを継続できた。
- 授業と連動した宿題を与えたことで、漢字や計算力など定着が見られた。
- △ 音読のサインが少ない。家庭学習として習慣化させたい。→ 家庭への呼びかけ、学童との協力。
- △ 自学自習の取組内容がその子に合っていない。→ 自分に必要な内容かどうかを考え、家庭と協力して粘り強く取り組めるよう支援していきたい。
- △ 授業と家庭学習の往還
→ 予習や復習が生かされるような授業の組み立てを行い、意欲につなげる。

「がんばりノート（宿題）」写真①



「がんばりノート（自学自習）」写真②



2 学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」では、朝のドリル学習の漢字2字を復習させ、算数の「形成プリント」のどちらかを出している。教科書の練習問題に取り組ませるなど、補習や授業と連動した課題を与えている。「自学自習」では、家庭学習強化月間に学級のめあてを設定し、意識づけを行っている。また、「学習計画表」を作成し、内容を記録・振り返りを行っている。

(1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
 - ・ 週の予定の配布
 - ・ 検温・音読カード (保護者の音読サイン欄有り)
- ② 基礎学力を身につける (朝のドリル漢字の復習・その日の授業の復習)
 - ・ 「くりかえし漢字ドリル」
 - ・ 「形成プリント」
 - ・ 教科書の練習問題や発展問題
 - ・ 国語の教科書の音読
 - ・ かけ算を暗唱

(2) 「自学自習」について (写真②)

「宿題」の次のページから、土日の宿題として自分に必要な内容を1ページ

- ・ 絵日記 ・ 計算やかけ算練習 ・ 生きものについて (調べ学習)
- ・ 琉歌 ・ 自分の苦手な単元の復習

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に取り組む力 (計画→実践)
- ④ 粘り強くやり抜く力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 読む力
- ⑦ 振り返る力

(4) 評価等の方法

- ・ 毎日提出し、学習係が提出状況をチェックし、提出を促す。(提出状況の把握)
- ・ アドバイスや感想等があれば、コメントし、指導や支援を行っている。
- ・ 音読表のチェックがない場合は担任が現在学習しているところの音読をさせている。
- ・ 練習問題等の正誤等の確認や手直しは、授業や準備時間、すき間時間で実施。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- △ 学習習慣がまだ身につけていない子がいる。(6 / 27名)
- 授業と連動した宿題を与えたことで、定着が見られる単元もあった。
- 自学自習でも授業で学習したことを復習したり、調べたりしてくる子がいた。
- △ 自学自習の取組内容
 - 簡単な問題をただやってくる子もいるため、見本になる子のノートを提示している。
- 授業と家庭学習の往還

「がんばりノート（宿題）」写真①



「がんばりノート（自学自習）」写真②



3 学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「宿題」「自立学習」を行う。毎日の「宿題」では、国語は。朝のドリルで学習した漢字2字の復習・既習の言葉事項（修飾語や辞典の使い方・漢字の意味など）算数は今日学習した内容の復習を「おたすけプリント」を作成して取り組ませている。復習や補充問題と授業と連動した課題を与えている。漢字ドリルノートも今日学習した文字を練習している。形成プリントも週末に活用し得ている。「自立学習」では、家庭学習強化月間には、学級や個人のめあてを設定や学習計画票を作成し意識づけを行っている。

(1) 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける（年間通して週予定表の配布）
 - ・翌日の日程、持ち物、家庭への連絡メモ
- ② 基礎学力を身につける（授業と連動した課題）
 - ・国語・・・その日学んだ漢字の音訓読み、熟語、使い方、漢字ドリルノート
言葉事項（修飾語・漢字の意味・ローマ字など）、音読
 - ・算数・・・授業の復習や補充問題。予習問題
形成プリント

(2) 「自学自習」について（写真②）

自分を取り組みたい学習をする

- ・日記 ・写本 ・漢字 ・ローマ字
- ・かけ算の筆算 ・わり算（計算問題）・補充問題
- ・得意なことや好きなこと（生き物観察・物語作り・計算・漢字）

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習規律
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に学ぶ力
- ④ 自分の得意なことや好きなことを広げる力（自己伸長）
- ⑤ 粘り強くやりぬく力
- ⑤ 振り返る力

(4) 評価等の方法

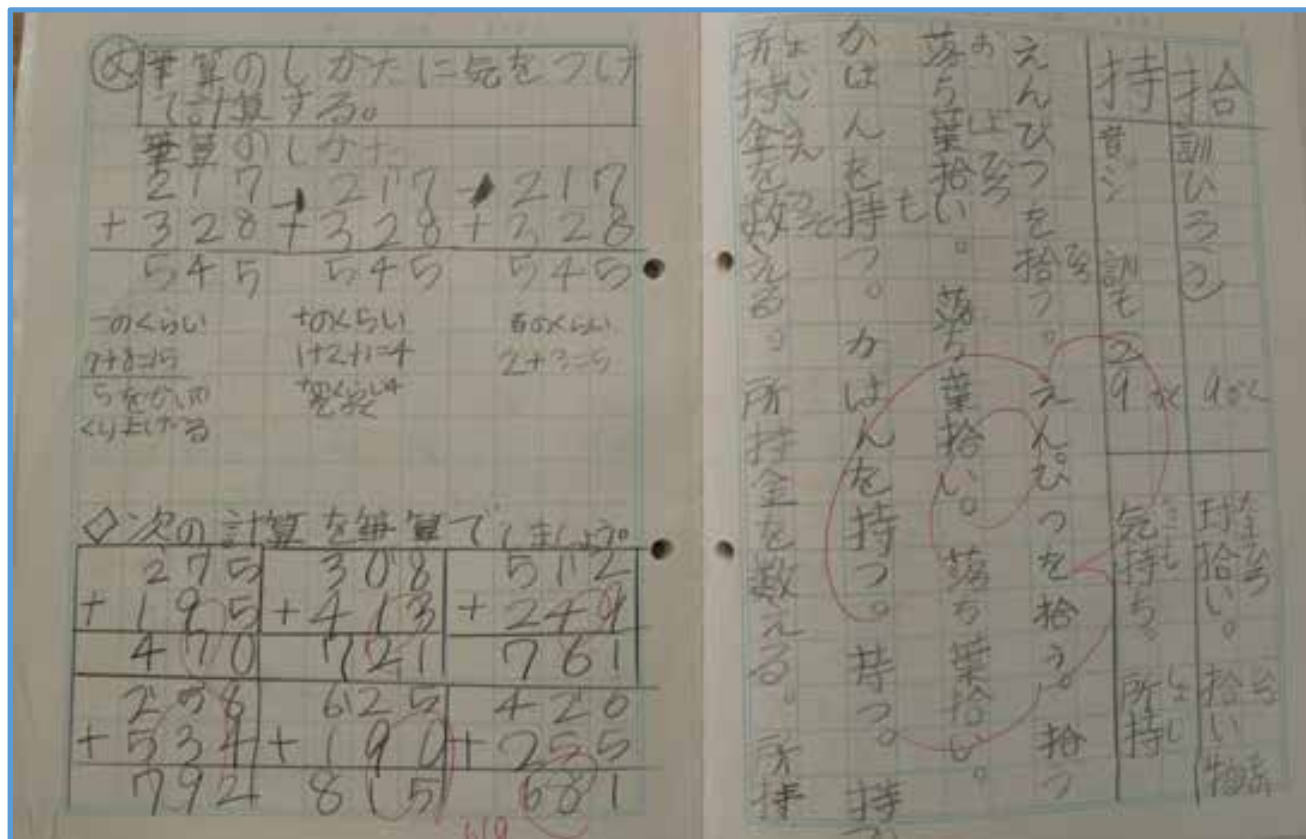
- ・毎日、担任が提出状況を把握し丸つけを行っている。誤答や書き方が雑な児童は支援・指導をしている。
- ・休み時間やすきま時間に誤答の直しの支援や書き方指導を行っている。
- ・ノートの使い方や工夫が見られる児童を賞賛し、紹介している。

(5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 授業と連動した「おたすけプリント」を作成し課題にすることで既習内容の定着が見られた。
- 自分のやりたいことや好きな調べ学習に取り組む児童がいる。
- △ 家庭学習の習慣化ができていない児童への支援
 - 家庭学習の見取りを保護者へ協力依頼をする。できることを考え実行できるように声かけ支援。
- △ 自学自習の支援・指導
 - 自分のよさや伸ばしたいことを考え取り組む。（予習）
苦手なこと課題についての対応を話し合う。（内容や課題）

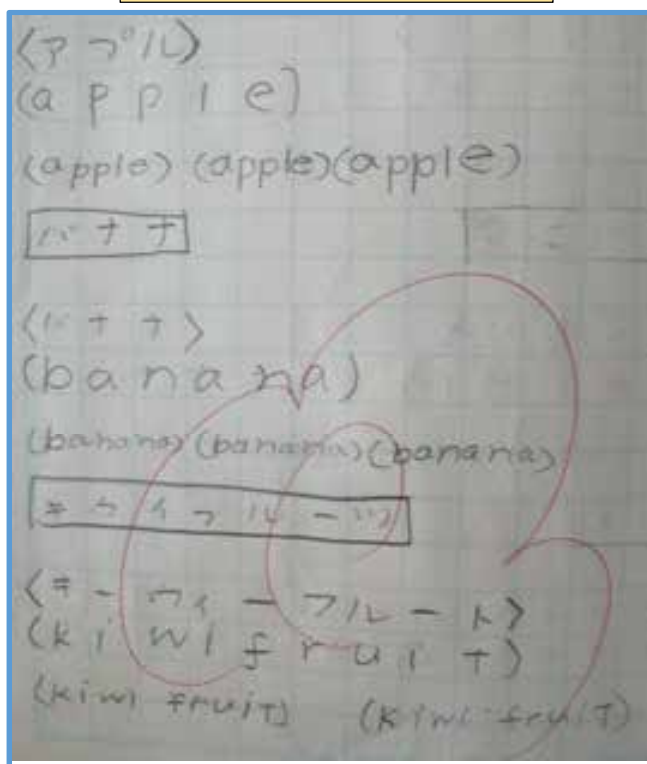
「がんばりノート（宿題）」写真①

「おたすけプリント」で授業と連動したがんばりノート。めあてをもって取り組んでいます。

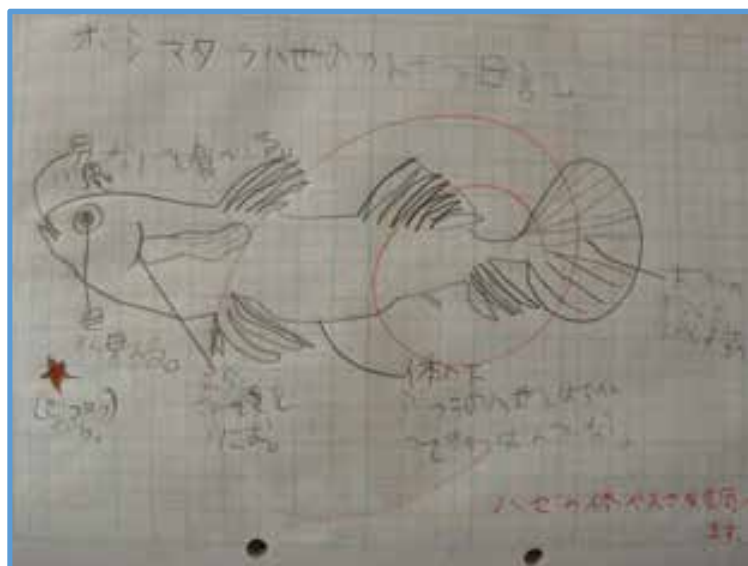


「がんばりノート（自学自習）」写真②

自学自習の取り組み（ローマ字）



好きな生き物観察（調べ学習）



4 学年の家庭学習の取組実践事例

1日の「宿題」は、がんばりノート1ページ半・漢字ドリルノートを活用した新出漢字2字・算数形成プリントを与えている。がんばりノート1ページは、教科書を見て算数の時間の予習や復習を行い、半ページには日記の課題を与えている。

家庭学習強化月間では、一週間の家庭学習予定表の作成、1ページの「自学自習」を推奨している。自分の苦手な教科や単元、興味のある内容など、復習したり調べたりしたことをまとめさせている。また、めあて・振り返りの記入を呼びかけ、目的意識をもった家庭学習に取り組ませている。

(1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける
 - ・ 翌日の日程や持ち物、宿題のメモの記入
 - ・ 日記(条件やテーマを設定する)
- ② 基礎学力を身につける
 - ・ 漢字ドリルノート(朝ドリルの時間に練習した新出漢字2字の復習)
 - ・ 算数形成プリント
 - ・ 算数の練習問題や発展問題、次の時間に学習する内容の予習国語の教科書の音読

(2) 「自学自習」について (写真②)

- ・ 興味のあることを調べてまとめる。
- ・ 苦手な教科の復習
- ・ テスト問題の復習

(3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着(計算力、漢字の読み書き)
- ② 学習習慣
- ③ 自己の課題に向けて、粘り強くやり抜く力
- ④ 書く力
- ⑤ 振り返る力

(4) 評価等の方法

- ・ がんばりノート、漢字ドリルノートは、担任が○付け、訂正があればその場で直させる。
- ・ 算数プリントは、係児童が○付けをし、訂正があればその場で直し、担任が確認をする。
- ・ 担任が、日記に励ましのコメントを記入する。

(5) 成果(○)と課題(△)、課題への対応策(→)

- 個に応じた宿題を提示することで、主体的に学習する児童が出てきた。
- 授業と連動した宿題を与えることで、定着が見られる単元があった。
- 自学自習に取り組む児童を全体に紹介することで、児童の賞賛の場が増えた。
- △ 学習習慣が身につけていない児童がいる。

→家庭と連携をとり、支援を継続する。

5 学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」では、朝のドリル学習の漢字2字を復習させたり、教科書の練習問題に取り組みさせるなど、補習や授業と連動した課題を与えている。また、「形成プリント」や「くりかえし漢字ドリル」も活用している。「自学自習」では、家庭学習強化月間に学級のめあてを設定し、意識づけを行っている。また、「学習計画表」を作成し、内容を記録・振り返りを行っている。

(1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
 - ・翌日の日程、持参物、家庭への連絡メモ (保護者の音読サイン欄有り)
 - ・日記 (行事等がある時)
- ② 基礎学力を身につける (朝のドリル漢字の復習・その日の授業の復習)
 - ・「くりかえし漢字ドリル」
 - ・「形成プリント」のぺら張り
 - ・教科書の練習問題や発展問題
 - ・国語の教科書の音読
 - ・都道府県の歌を暗唱

(2) 「自学自習」について (写真②)

「宿題」の次のページから、自分に必要な内容を1ページ

- ・絵日記
- ・英語のスペルと意味
- ・テスト対策
- ・本の紹介文
- ・他国の豆知識
- ・将来の夢につながる事 (調べ学習)
- ・算数の予習
- ・絶滅危惧種について
- ・苦手な単元の復習

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に取り組む力 (計画→実践)
- ④ 粘り強くやり抜く力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 読む力
- ⑦ 振り返る力

(4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学習係が提出状況をチェックし、提出率を掲示する。(提出状況の把握)
- ・検印をし、三段階で内容の評価する (花丸・◎・○)
- ・アドバイスや感想等があれば、コメントし、指導や支援を行っている。
- ・音読表のチェックは朝の会で実施。
- ・練習問題等の正誤等の確認や手直しは、授業や準備時間、すき間時間で実施。

(5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

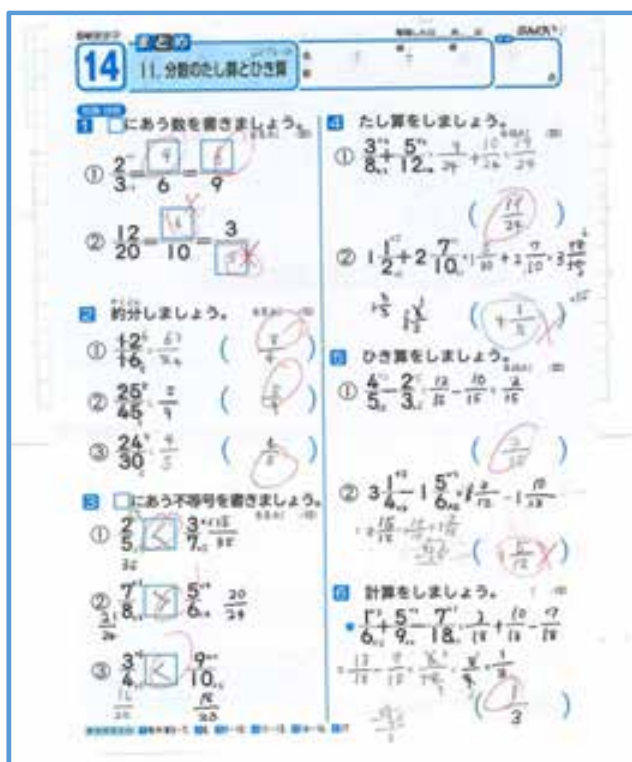
- 学習習慣が身についてきた。(16/19名)
- 授業と連動した宿題を与えたことで、定着が見られる単元もあった。
- 自学自習でも授業で学習したことを復習したり、調べたりしてくる子がいた。
- △ 自学自習の取組内容
 - 自分に必要な内容かどうかを考え、粘り強く取り組めるよう支援していきたい。
- △ 授業と家庭学習の往還
 - 予習や復習が生かされるような授業の組み立てを行い、意欲につなげる。

「がんばりノート（宿題）」写真①

朝のドリル学習で習った2字を宿題として
がんばりノートで復習する。（書き方統一）



単元のプリントを宿題として、がんばりノート
に貼る。（授業と連動した宿題プリント）



「がんばりノート（自学自習）」写真②

社会の覚えていない用語についての復習の様子
「めあて」「ふり返り」の記入有り。



総合学習でサング学習を行った日の自学自習
ノートの様子（イラスト入り）



6学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「課題」と「自学自習」を行う取り組みをした。「課題」では、朝のドリル学習の漢字2字を復習したり、既習算数の類似問題、テストでの落ち込んだところなど、授業と連動した課題を与えている。また、学文会社（係）の子どもたちが前時の授業などから問題を作成したプリントを配布したりと子どもたち自らが進んで取り組めるような家庭学習に取り組んだ。「自学自習」では、教師側から例題を提示したり子どもの自学自習でよいところを紹介したりと楽しく興味を持つような探求的な自学自習に取り組んでいる。さらに、めあてや振り返りも書くような意識づけもさせている。

(1) 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける（年間を通して実施）
 - ・ がんばりノートに課題や自学自習した時間を書かせる。
- ② 基礎学力を身につける（朝のドリル漢字の復習・その日の授業の復習・係活動との連動）
 - ・ くりかえし漢字ドリル
 - ・ 課題プリント
 - ・ 教科書の練習問題や発展問題
 - ・ 社会の歴史上人物調べ
 - ・ 係から出された課題

(2) 「自学自習」について（写真②）

自学自習の例

- ・ 将来の職業との関連
- ・ 読書と感想
- ・ おすすめの本紹介
- ・ 作家活動（物語作り）
- ・ 説明書作り
- ・ 歴史上の人物調べ
- ・ サイン作り
- ・ 季節のスイーツ調べ（実際に作って感想など）
- ・ 画家や作家調べ
- ・ ペット紹介・動物調べ
- ・ ファッション用語調べ
- ・ 電車紹介
- ・ 外国文化調べ
- ・ 野球の作戦など
- ・ 本や資料などを使つての社会や理科の調べ学習

(3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に取り組む力
- ④ 探求しまとめる力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 読む力
- ⑦ 振り返る力

(4) 評価等の方法

- ・ 毎日提出し、学文会社（係）が提出状況をチェックし、提出率を掲示する。（提出状況の把握）
- ・ アドバイスや感想等があれば、コメントし、賞賛や支援を行っている。
- ・ 練習問題等の正誤等の確認や手直しは、準備時間、すき間時間に実施。

(5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 学習習慣が身についてきた。（16／20名）
- 授業と連動した課題を与えたことで、単元テストの平均点が上がった。
- △ 自学自習の取組内容
 - 自分に必要な内容かどうかを考え、粘り強く取り組めるよう支援していきたい。
- △ 習慣化しない子への支援
 - 自分なりにできそうな内容や時間などの週の計画を立てて取り組むようにする。

（特別支援学級（かがやき）の家庭学習の取組実践事例

今年度、本学級には1年生、3年生、4年生2名が在籍している。

家庭学習の取り組み内容は、ほぼ学年と同じであるが、個の実態に応じて書く量や内容を調整している。

「宿題」では、朝のドリル学習の漢字2字を漢字ドリルノートに練習。また、授業と連動した算数の形成プリントに取り組んだ。「自学自習」は、児童と話して内容を決めることが多いが、日記や苦手な計算、ローマ字、漢字の復習等に取り組ませた。家庭学習強化月間には、学年で配布された「学習計画表」を作成し、学習内容の記録振り返りを行った。

（1） 「宿題」について

① 生活習慣を身につける

翌日の時間割や持ち物を交流学級でメモする。（年間を通して実施）

② 基礎学力の定着

朝のドリル漢字の復習 （写真①）

算数形成プリントを自分の力で解く。（写真②）

音読（サインをもらう）

（2） 「自学自習」について

取り組む内容を教師と決め「学習計画表」に記述する。（写真③）

自分に必要な内容を半ページ、1～2ページ（写真④）

（3） 身につけさせたい力

① 学習習慣

② 基礎学力の定着

③ 主体的に取り組む力（計画→実践）

④ 粘り強くやり抜く力

⑤ 書く力

⑥ 読む力

⑦ 振り返る力

（4） 評価等の方法

・毎日提出し、アドバイスや感想等があれば、コメントし、指導や支援を行っている。

（朝で提出できれば、がんばりシールを貼ることが出来る。）

・練習問題等の手直しは、授業のすき間時間やチャレンジタイムで実施。

（5） 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

○ 学習習慣が身についてきた。（3／4名）

○ 授業と連動した宿題を与えたことで、定着が見られる単元もあった。

○ 日記を書かせることで、学校や家での児童の様子を知ることが出来た。

○ 児童がつまづいている箇所早く気づくことで支援につながった。

△ 主体的な学び

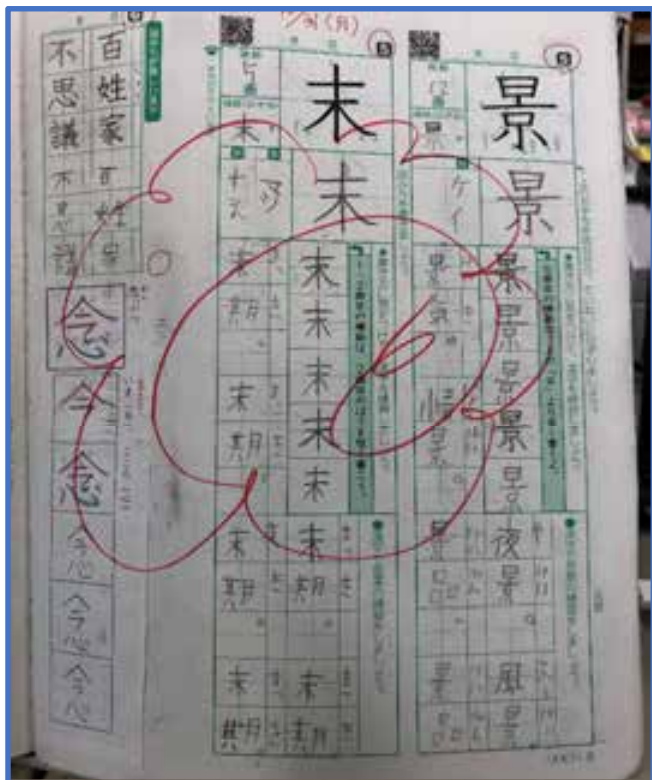
→ 教師主導の児童が多いが、今後少しずつ自学自習に挑戦させたい。

△ 学習習慣がまだ身についていない児童への対応

→ 放課後の個別学習、家庭との連携。

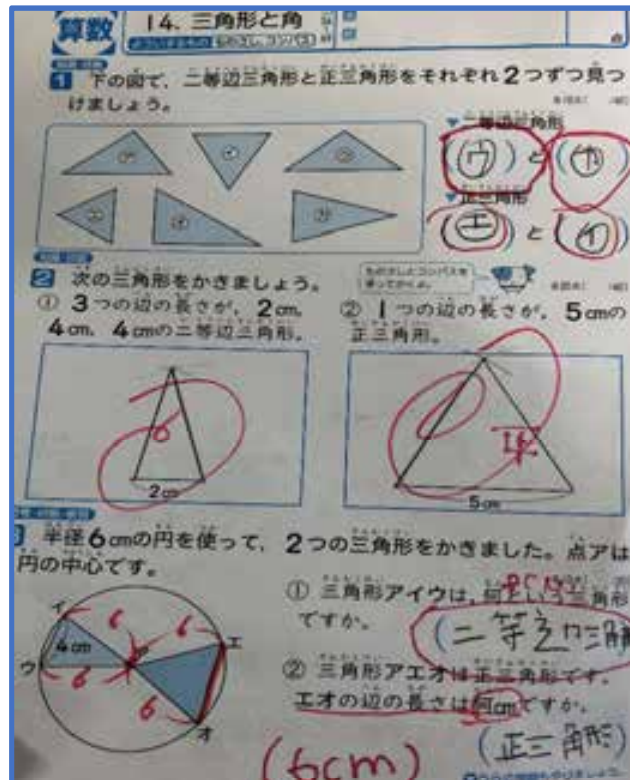
「宿題」写真①

朝のドリル学習で習った2字を漢字ドリルノートに練習する。



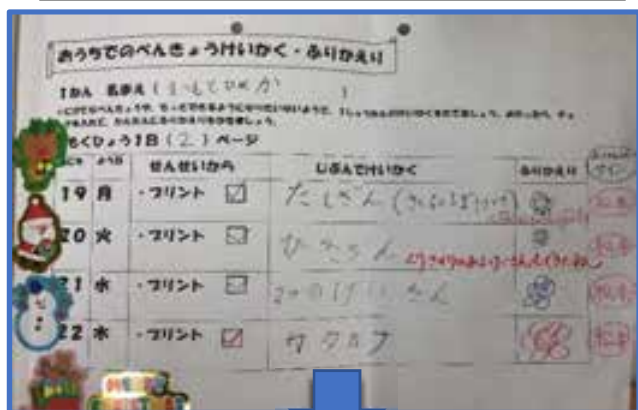
写真②

授業と連動したプリントに自分の力で挑戦する。



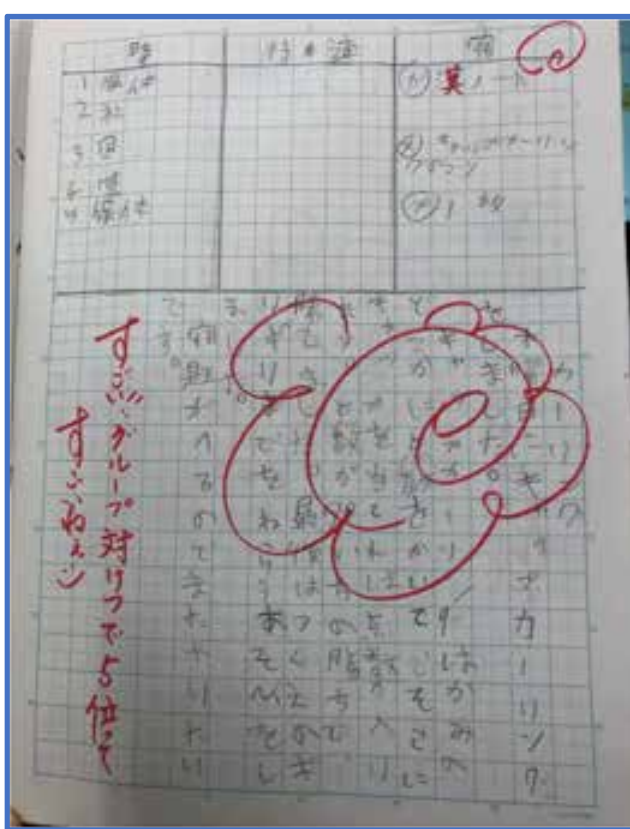
「自学自習 (がんばりノート)」写真③

学習計画表に計画したことを自分で頑張る。
(苦手なさくらんぼ計算に挑戦!)



写真④

行事があったときや週末は、自分が感じたことや思いを日記に綴る。



Ⅱ 恩納村学力向上対策専門部会活動報告

2 家庭・地域教育部会（各地域の実践報告）

- （１）喜瀬武原地区支部
- （２）安富祖地区支部
- （３）太田地区支部
- （４）恩納地区支部
- （５）塩屋地区支部



サンゴの村宣言

Onna Village in Okinawa

地域学習塾活動実績書

（ 喜瀬武原 ） 自治会地域支部

活動日時	場 所	活動内容	参加人数	講師氏名
7 月 26 日 9時から11時	公民館	夏休みの友	2 名	佐久間大輔
7 月 27 日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	8 名	佐久間大輔
7 月 28 日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	0 名	佐久間大輔
7 月 29 日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	4 名	佐久間大輔
8 月 2 日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	5 名	佐久間大輔
8 月 3 日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	2 名	佐久間大輔
8 月 4 日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	2 名	佐久間大輔
8 月 5 日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	5 名	佐久間大輔
8 月 6 日 9時から12時	公民館	工作	14 名	宇江城朝美、瑞慶 山奈美、外間杏野

効果

- ◎参加する子供は早めに宿題に取り組んで順調に終わらせていた。
- ◎工作作りは参加人数が多く、楽しんで作品を完成させていた。
- ◎支援員の先生が参加する日は、子供たちも楽しそうに勉強していた。

課題

- ◎参加する児童が決まってい、全く参加しない子をどう誘うか、今後は保護者への日程表の公文を配布する。学校にも協力してもらおう。（子供会役員からラインで送信したが子供会に加入していない世帯もあるので）
- ◎工作以外の習字等を取り入れたいと思ったが、今回も講師が確保できなかった。
- ◎中学生が参加する日は人数が増えたが、翌日以降コロナウイルス感染症濃厚接触などで参加人数が減った。
- ◎次年度以降のためにも参加方法や講師の確保の工夫が必要だと思う。





地域学習塾活動実績書

自治会地域支部の名称（ 安富祖区 ）

活動日時	場 所	活動内容	参加人数	講師氏名
7月27日（水） 9時から12時	2階畳間	図 画 (夏休みの課題)	0人	コロナ感染 拡大防止の 為中止
8月 1日（月） 9時から12時	会議室	夏休みの課題 予習・復習	2人	
8月 3日（水） 9時から12時	2階畳間	夏休みの課題 予習・復習	4人	伊是名 雄哉
8月 5日（金） 9時から12時	2階畳間	夏休みの課題 予習・復習	4人	幸地 克珂
8月 8日（月） 9時から12時	2階畳間	図 画 (夏休みの課題)	0人	コロナ感染 拡大防止の 為中止
8月 9日（火） 9時から12時	2階畳間	書 道 (夏休みの課題)	0人	コロナ感染 拡大防止の 為中止
8月15日（月） 14時から17時	会議室	夏休みの課題 予習・復習	2人	
8月17日（水） 14時から17時	会議室	夏休みの課題 予習・復習	2人	
8月19日（金） 14時から17時	会議室	夏休みの課題 予習・復習	2人	
月 日 時から 時				
月 日 時から 時				
月 日 時から 時				
月 日 時から 時				

効果と課題

令和4年度 座学のみ 6日間開催 参加人数 16名

コロナ感染拡大防止の為に、2年間地域学習塾を行っていなかった事と、色々な要因が重なり、子ども育成会・学校・名嘉真区・喜瀬武原区と綿密な連携が取れなかった。

地域学習塾が入っている日に稲刈りが日時丸被りで入っていたり、特別支援教育支援の先生の予定が、他の区の地域学習塾と被って先生が不在だったり等、今までなかったことが起こったので今後この様な事が無いように、各関係者と連携をとっていきたい。

また、過去例にみないコロナ感染者数の増加・家庭内感染の増加等の要因も子ども達の参加率を著しく低下させたので、コロナとの付き合い方も考えさせられた。

今回参加人数が少ない事もあってか、子ども達が楽しそうに学習していた。子ども達が自主的に通常2時間の座学を3時間に延ばして先生方との学習を行っていたのが印象的だった。



地域学習塾活動実績書

自治会地域支部の名称（太田区自治会）

活動日時	場 所	活動内容	参加人数	講師氏名
8月1日 8:30 から 10:30	太田公民館 会議室	夏休みの宿題	0名	田中里英
8月3日 8:30 から 10:30	〃	〃	3名	田中里英
8月5日 8:30 から 10:30	〃	〃	5名	伊波早 仲村奈実
8月8日 8:30 から 10:30	〃	〃	8名	無し
8月15日 8:30 から 10:30	〃	〃	5名	無し
8月17日 8:30 から 10:30	〃	〃	7名	無し
8月19日 8:30 から 10:30	〃	〃	4名	無し
8月22日 8:30 から 10:30	〃	〃	3名	無し
8月24日 8:30 から 10:30	〃	〃	1名	無し
8月26日 8:30 から 10:30	〃	〃	2名	無し

効果と課題

- ・夏休みの宿題ができている。
- ・学童に行っている子どもたちがいて、年々参加人数が少なくなっている。



塩屋子供育成会

夏休み工作、ダンボールでシーサーやイルカなどを作る、ストローでコースターを作る。を計画していましたが、コロナ増加の為、役員で型紙を作ったり、ストローをカットしたり、作り方をコピーして、各子供に配布。各自家で工作してもらうことにしました。



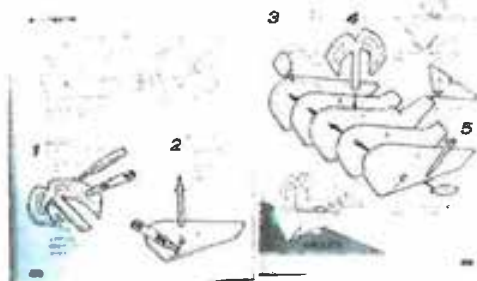
こんな感じで配りました。



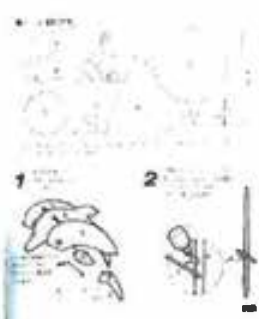
ストローコースターの作り方



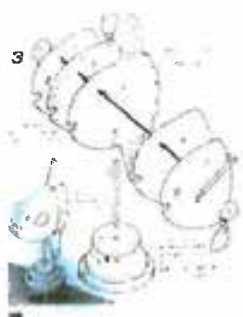
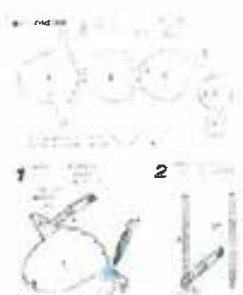
シーサーの作り方



イルカの作り方



シーサーの作り方



Ⅱ 恩納村学力向上対策専門部会活動報告

3 諸検査・調査の結果

- (1) 全国学力・学習状況調査
- (2) 沖縄県学習到達度調査の結果
- (3) 学びの確かめ 結果
- (4) 学校図書館、読書活動の実態調査
- (5) 児童生徒質問紙
- (6) 恩納村学推実践7項目の評価
- (7) 問題行動等及び長期欠席者等に関する実態
- (8) 泳力調査



(1)全国学力・学習状況調査 正答率5年間の推移(小6)

国語		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	65.6	63	66
	差	0.4	3.0	
令和3年度	正答率	64.7	65	68
	差	3.3	3.0	
令和2年度	正答率	*	68.9	70.4
	差	*	1.5	
令和元年度	正答率	63.8	68	71
	差	7.2	3	
国語A		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	70.7	68	64
	差	-6.7	-4	

国語B		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	54.7	56	51
	差	-3.7	-5	

算数		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	63.2	59	65
	差	1.8	6.0	
令和3年度	正答率	70.2	69	73
	差	2.8	4	
令和2年度	正答率	*	66.7	67.5
	差	*	0.8	
令和元年度	正答率	66.6	68	67
	差	0.4	-1	
算数A		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	63.5	66	63
	差	-0.5	-3	

算数B		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	51.5	52	50
	差	-1.5	-2	

理科		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	63.3	61	63
	差	-0.3	2.0	

○小学校においては、国語、算数ともに令和元年度以降平均正答率が全国平均を上回る状況が続いており、今年度も、国語、算数共に、全国平均を0.4ポイント、県平均を3ポイント上回っている。また理科においては、県平均を2ポイント上回っている。

○小学校国語においては、「我が国の言語文化に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、算数においては、「図形」、理科においては、「粒子」、「生命」、「地球」の領域で全国平均を下回り、課題が見られた。

(1)全国学力・学習状況調査 正答率5年間の推移(中3)

国語		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	69	64	62
	差	-7.0	-2.0	
令和3年度	正答率	64.6	60	55
	差	-9.6	-5.0	
令和2年度	正答率	*	76.3	81.5
	差	*	5.2	
令和元年度	正答率	72.8	68	65
	差	-7.8	-3	
国語A		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	76.1	72	70
	差	-6.1	-2	

国語B		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	61.2	58	57
	差	-4.2	-1	

数学		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	51.4	42	37
	差	-14.4	-5.0	
令和3年度	正答率	57.2	52	50
	差	-7.2	-2	
令和2年度	正答率	*	45.1	52
	差	*	6.9	
令和元年度	正答率	59.8	53	49
	差	-10.8	-4	
数学A		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	66.1	59	53
	差	-13.1	-6	

数学B		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	46.9	40	35
	差	-11.9	-5	

理科		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	49.3	44	42
	差	-7.3	-2.0	

○中学校においては、国語、数学ともに平均正答率が全国平均を下回る状況が続いており、今年度も国語で5ポイント以上、数学で10ポイント以上下回っている。また、理科では、全国平均を5ポイント以上、県平均を2ポイント下回っている。

○中学校国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、数学では、「数と式」、「図形」、「データの活用」、理科では、「粒子領域」、「生命領域」、「地球領域」の領域で、全国平均及び県平均を下回り、課題が見られた。

(3) 学びのたしかめ(令和4年度 沖縄県学力定着状況調査)結果 R4. 6月実施
小学校

学年	教科	実施 時期	恩納村		中頭地区平均	沖縄県平均
			恩納村平均	県との差		
4学年	国語	6月	52.6	2.9	49.5	49.7
	算数	6月	57.0	7.4	49.0	49.6
5学年	国語	6月	65.3	2.3	62.8	63.0
	算数	6月	60.4	8.8	51.6	51.6

※令和4年度は、6月のみ実施

中学校

学年	教科	実施 時期	恩納村		中頭地区平均	沖縄県平均
			恩納村平均	県との差		
1学年	国語	6月	50.5	3.3	46.1	47.2
	数学	6月	64.3	8.3	54.7	56.0
2学年	国語	6月	43.0	-1.2	42.9	44.2
	数学	6月	45.2	2.4	41.3	42.8
	英語	6月	44.0	-2.2	44.3	46.2
3学年	英語	6月	37.7	-6.3	42.1	44.0

※令和4年度は、6月のみ実施

(2) 令和3年度 沖縄県学力到達度調査結果

小学校

令和4年2月実施

学年	教科	恩納村		中頭地区平均	沖縄県平均
		恩納村平均	県との差		
5学年	国語	73.6	5.6	68.7	68.0
	算数	61.0	8.5	53.6	52.5
6学年	国語	67.2	5.4	61.2	61.8
	算数	39.3	0.8	38.4	38.5

中学校

令和4年2月実施

学年	教科	恩納村		中頭地区平均	沖縄県平均
		恩納村平均	県との差		
1学年	国語	56.6	3.9	50.0	52.7
	数学	48.3	5.0	41.9	43.3
	英語	44.5	3.2	40.6	41.3
2学年	国語	56.6	1.3	54.1	55.3
	数学	44.0	4.1	37.8	39.9
	英語	52.2	-2.1	52.9	54.3

(4) 学校図書館・読書活動の実態調査
〈学年毎の平均読書冊数（５ヵ年の推移）〉

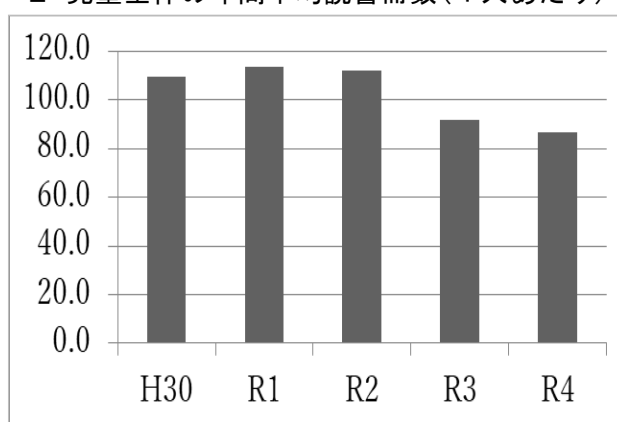
小学校

※単位：冊

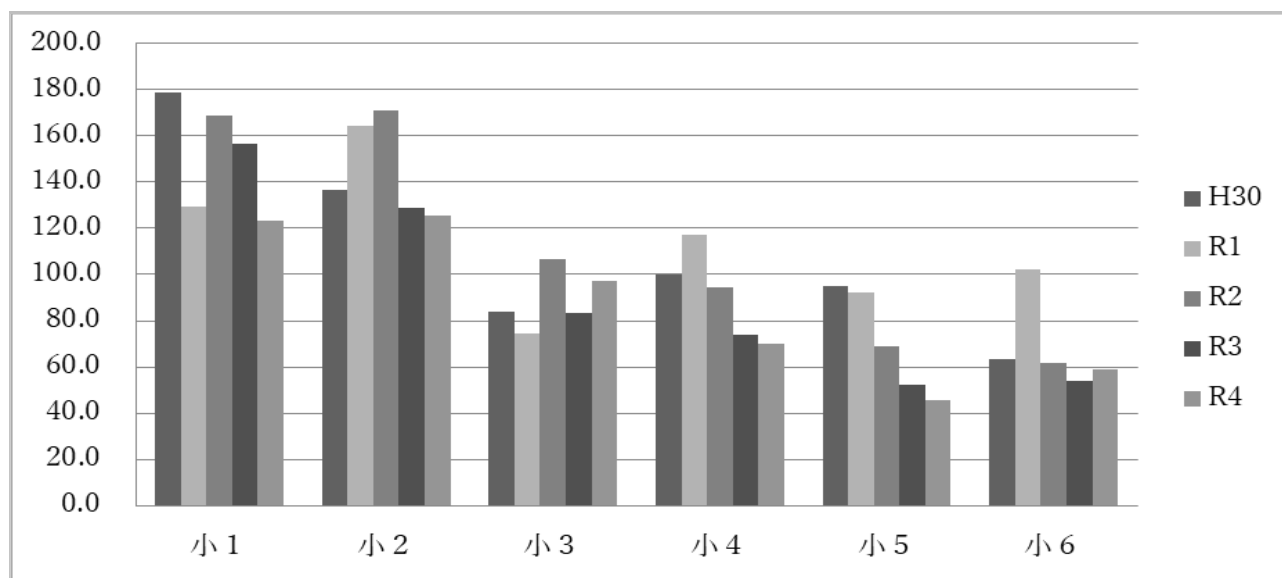
1 読書冊数表（５年間）

	H30	H1	R2	R3	R4
1年	178.8	129.6	168.9	156.8	123.3
2年	136.5	164.4	170.9	128.7	125.3
3年	83.9	74.6	106.4	83.5	97.1
4年	100.0	117.4	94.6	74.0	70.2
5年	95.1	92.4	69.0	52.4	45.8
6年	63.4	102.3	61.5	54.2	58.8
平均	109.6	113.5	111.9	91.6	86.7

2 児童全体の年間平均読書冊数（１人あたり）



3 各学年の１人あたりの読書冊数の推移



4 各学校からの成果と課題

成果	課題
○読み聞かせボランティアや職員の読み聞かせなどを通して興味・関心をもたせることができた。 ○”借りた本を読む”につなげるための読書をする時間をしっかりと設けており、読書の習慣化につながった。 ○読書旬間、月間に積極的に読書に参加する児童が増えた。 ○国語や社会など教科での調べ学習に図書館利用が増えた。また、調べたことをまとめ、図書館で掲示することもできた。	▲３年生と４年生の児童は、絵本から物語等の活字本に読書の幅を広げる時期となるが、なかなか活字本に興味を示さず消極的であった。対策の必要性を感じた。 ▲性別、学級によって借りる本の分類に偏りがあった。 ▲発達段階（学年）に応じた読書の選書がうまくいかなかった。 ▲絵や写真だけ見ている児童もあり、読書の質を上げる取組が必要である。 ▲読書利用時間を確保できない学級があった。

(4) 学校図書館・読書活動の実態調査

中学校

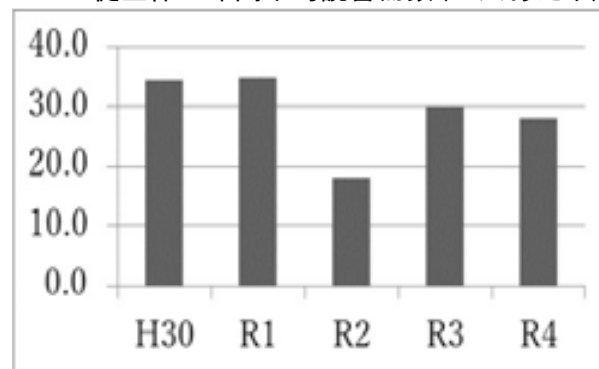
〈学年毎の平均読書冊数（５ヵ年の推移）〉

※単位：冊

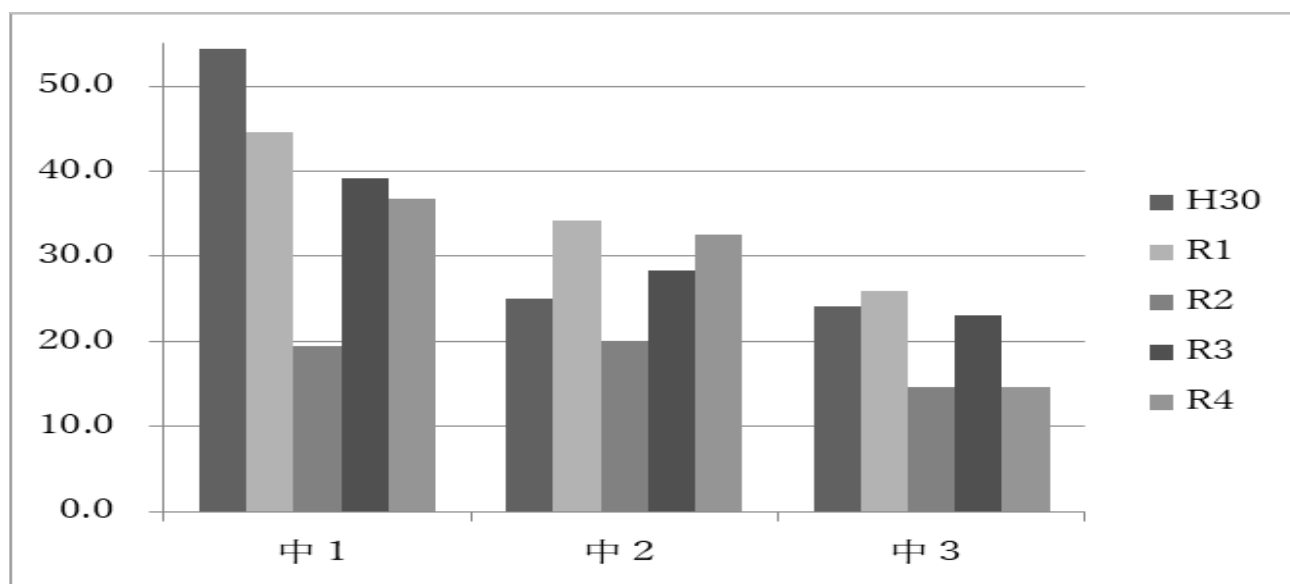
1 読書冊数表（５年間）

	H 3 0	H 1	R 2	R 3	R 4
1 年	54.4	44.6	19.4	39.2	36.7
2 年	25.0	34.3	20.1	28.3	32.6
3 年	24.2	25.9	14.7	23.0	14.6
平均	34.5	34.9	18.1	30.2	28.0

2 生徒全体の年間平均読書冊数（１人あたり）



3 各学年の１人あたりの読書冊数の推移



4 各学校からの成果と課題

成果	課題
・図書館だよりの新刊紹介を見て図書館へ足を運ぶ生徒が増えた。 ・読書旬間の取り組みのある月は貸出数が増加している。 ・授業での図書館利用と担任の声かけにより、貸出が増えた。	・スクールバスの時間があり、余裕を持って図書館利用ができない。 ・読書の時間が時間割で固定されておらず、生徒の自主性によって読書量に個人差がでている。 ・文部科学省の学校図書館図書標準冊数に達していない。2400冊ほど不足している。

(5) 児童質問紙

令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(小4) ア＋イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月	恩納小 11月	恩納小 6月	仲泊小 11月	仲泊小 6月	山田小 11月	山田小 6月	安富祖小 11月	安富祖小 6月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	85.2%	↑	84.0%	1.2	87.0%	86.8%	-1.8	75.6%	74.4%	93.8%	93.3%	94.7%	100.0%	91.7%	78.6%
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	97.6%	↑	93.6%	4.0	92.2%	88.8%	5.4	97.4%	93.0%	100.0%	93.3%	100.0%	95.5%	91.7%	92.9%
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	90.5%	↑	84.0%	6.4	85.7%	86.2%	4.8	80.0%	72.1%	100.0%	100.0%	100.0%	95.5%	100.0%	85.7%
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	94.3%	↑	91.5%	2.8	93.5%	91.5%	0.8	92.7%	88.4%	93.3%	100.0%	100.0%	95.5%	91.7%	85.7%
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	87.1%	↑	83.0%	4.1	86.9%	87.2%	0.2	73.7%	69.8%	93.8%	93.3%	100.0%	95.5%	100.0%	92.9%
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	88.4%	↑	88.3%	0.1	88.6%	88.3%	-0.3	82.1%	81.4%	93.8%	100.0%	94.7%	90.9%	91.7%	92.9%
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	95.3%	↑	93.6%	1.7	96.5%	95.1%	-1.2	90.0%	88.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	71.4%	↑	68.1%	3.3	73.6%	74.4%	-2.2	57.9%	58.1%	93.3%	66.7%	78.9%	81.8%	75.0%	78.6%
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	84.7%	↑	81.9%	2.8	84.0%	82.6%	0.7	71.8%	65.1%	93.8%	93.3%	100.0%	100.0%	90.9%	92.9%
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	81.2%	↑	74.5%	6.7	81.8%	80.0%	-0.6	71.8%	67.4%	86.7%	86.7%	89.5%	90.9%	91.7%	57.1%
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	95.3%	↓	97.9%	-2.5	96.8%	95.8%	-1.4	92.3%	97.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	92.9%
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	95.3%	↓	95.7%	-0.5	92.7%	92.5%	2.6	92.5%	93.0%	100.0%	93.3%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%
13 学級みんなで話し合っ決めてことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	90.6%	↑	85.1%	5.5	89.2%	87.2%	1.4	82.1%	76.7%	93.3%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	88.5%	↑	88.3%	0.2	88.3%	86.2%	0.2	82.5%	81.4%	93.8%	80.0%	94.7%	100.0%	91.7%	100.0%
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	98.9%	↑	83.0%	15.9	81.8%	73.2%	17.1	100.0%	67.4%	93.8%	86.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

1. 全体の成果について

調査項目の93%（14／15）が良い評価（ア＋イ）であり、児童は、充実した学校生活を過ごしている。特に、95%以上の成果は、「教師のボイスシャワーの取組（問2）」、「努力の必要性（問11）」、「教師の補習指導（問12）」、「ICTを活用した授業（問15）」となっている。

2. 全体の課題について

（1）「計画的な家庭学習（問8）」

3. 課題への対応

（1）目標設定：「主体的な学びづくり」の取組

▲ 計画的な家庭学習 ○ 仲泊小学校の取組が良い結果を示している。

令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(小5) ア＋イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月	恩納小 11月	恩納小 6月	仲泊小 11月	仲泊小 6月	山田小 11月	山田小 6月	安富祖小 11月	安富祖小 6月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	82.2%	↑	80%	2.2	85.7%	85.9%	-3.5	86.2%	80.0%	78.9%	75.0%	81.6%	80.6%	80.0%	86%
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	91.1%	↑	89%	1.6	92.5%	91.4%	-1.5	82.8%	88.0%	100.0%	95.0%	92.1%	86.1%	93.3%	93%
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	86.1%	↓	95%	-8.6	85.1%	85.8%	1.0	79.3%	96.0%	100.0%	95.0%	84.2%	91.7%	86.7%	100%
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	94.1%	↑	92%	2.5	93.3%	92.6%	0.8	89.7%	88.0%	94.7%	85.0%	94.7%	94.4%	100.0%	100%
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	90.1%	↑	87%	2.7	88.5%	88.4%	1.6	89.7%	92.0%	89.5%	80.0%	86.8%	86.1%	100.0%	93%
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	89.1%	↑	86%	2.8	87.3%	86.9%	1.8	93.1%	76.0%	94.7%	95.0%	89.5%	83.3%	73.3%	100%
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	93.1%	↓	95%	-1.7	96.9%	96.5%	-3.8	100.0%	92.0%	100.0%	100.0%	86.8%	97.2%	86.7%	86%
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	79.2%	↑	72%	7.6	69.0%	71.1%	10.2	89.7%	76.0%	68.4%	60.0%	73.7%	72.2%	86.7%	79%
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	86.1%	↑	77%	9.3	82.3%	82.3%	3.8	89.7%	72.0%	78.9%	80.0%	86.8%	77.8%	86.7%	79%
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	86.1%	↑	80%	6.1	81.4%	80.6%	4.7	93.1%	80.0%	84.2%	80.0%	76.3%	75.0%	100.0%	93%
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	92.0%	↓	96%	-3.8	96.1%	95.7%	-4.1	100.0%	100.0%	100.0%	95.0%	78.4%	91.7%	100.0%	100%
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	95.0%	↓	96%	-0.7	92.0%	93.2%	3.0	96.6%	96.0%	94.7%	100.0%	92.1%	91.7%	100.0%	100%
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	88.9%	↑	87%	1.5	87.5%	86.7%	1.4	75.0%	72.0%	94.7%	95.0%	94.6%	88.9%	93.3%	100%
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	88.1%	↓	93%	-4.5	87.8%	87.1%	0.3	89.7%	96.0%	78.9%	80.0%	89.5%	94.4%	93.3%	100%
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	93.1%	↑	74%	19.4	85.1%	83.5%	8.0	100.0%	64.0%	84.2%	65.0%	92.1%	80.6%	93.3%	86%

1. 全体の成果について

調査項目の93%（14／15）が良い評価（ア＋イ）であり、児童は、充実した学校生活を過ごしている。特に、95%以上の成果は、「教師の補習指導（問12）」となっている。

2. 全体の課題について

（1）「計画的な家庭学習（問8）」

3. 課題への対応

（1）目標設定：「主体的な学びづくり」の取組

▲ 計画的な家庭学習 ○ 恩納小、安富祖小の取組が成果を上げている。

令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(小6) ア＋イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	イ どちらかといえば当てはまる	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月	恩納小 11月	恩納小 6月	仲泊小 11月	仲泊小 6月	山田小 11月	山田小 6月	安富祖小 11月	安富祖小 6月
1 自分には、よいところがあると思いますか。		85.9%	↓	88%	-2.1	86.2%	85.1%	-0.3	89.7%	95.2%	84.2%	89.5%	77.3%	73.9%	100.0%	100%
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。		94.9%	↑	92%	2.9	93.1%	92.1%	1.8	93.1%	90.5%	100.0%	100.0%	90.9%	82.6%	100.0%	100%
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。		88.3%	↓	89%	-1.0	86.3%	85.5%	2.0	93.1%	95.2%	94.7%	84.2%	72.7%	87.0%	100.0%	92%
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。		92.2%	↓	99%	-6.5	93.8%	92.8%	-1.6	93.1%	100.0%	89.5%	100.0%	90.9%	95.7%	100.0%	100%
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。		97.4%	↑	92%	5.4	89.2%	88.9%	8.3	100.0%	95.2%	89.5%	78.9%	100.0%	95.7%	100.0%	100%
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。		84.6%	↓	92%	-7.4	86.3%	85.3%	-1.7	89.7%	95.2%	73.7%	84.2%	86.4%	91.3%	87.5%	100%
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。		####	↑	99%	1.3	96.7%	95.8%	3.3	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100%
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。		80.5%	↑	80%	0.5	65.0%	66.7%	15.5	69.0%	76.2%	88.9%	73.7%	86.4%	82.6%	87.5%	92%
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。		94.9%	↑	92%	2.9	81.7%	81.8%	13.2	96.6%	85.7%	84.2%	89.5%	100.0%	100.0%	100.0%	92%
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。		90.8%	↓	92%	-1.2	83.2%	81.6%	7.6	92.6%	95.2%	84.2%	100.0%	90.9%	91.3%	100.0%	75%
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。		96.1%	↓	97%	-1.3	96.4%	95.6%	-0.4	100.0%	100.0%	94.7%	94.7%	90.9%	100.0%	100.0%	92%
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。		94.8%	↓	96%	-1.2	92.9%	93.2%	1.9	92.9%	95.2%	94.7%	94.7%	95.5%	95.7%	100.0%	100%
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。		93.4%	↑	92%	1.4	87.8%	84.2%	5.6	93.1%	90.5%	88.2%	89.5%	95.5%	91.3%	100.0%	100%
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。		93.5%	↑	89%	4.2	88.3%	88.1%	5.2	96.6%	95.2%	88.9%	84.2%	95.5%	82.6%	87.5%	100%
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。		89.7%	↑	89%	0.4	89.1%	85.1%	0.6	79.3%	71.4%	89.5%	89.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100%

1. 全体の成果について

調査項目のすべてが良い評価（ア＋イ）であり、児童生徒は、充実した学校生活を過ごしている。特に、95%以上の成果は、「規則の遵守（問5）」、「いじめ防止（問7）」、「努力の必要性（問11）」となっている。

2. 全体の課題について

- 計画的な家庭学習が他の項目に比べて低くなっている

令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(中1) ア＋イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	86.1%	↑	83%	3.1	83.4%	83.9%	2.8
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	90.4%	↑	90%	0.8	89.2%	90.2%	1.3
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	88.8%	↑	89%	0.1	82.3%	85.0%	6.5
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	91.9%	↓	93%	-1.5	92.9%	92.6%	-1.0
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	86.6%	↓	93%	-6.8	93.8%	93.0%	-7.2
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	90.8%	↑	89%	2.1	85.5%	86.3%	5.4
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	97.9%	↑	97%	0.7	96.1%	95.7%	1.8
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	53.1%	↓	58%	-5.4	54.3%	62.0%	-1.3
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	77.8%	↓	83%	-5.2	79.3%	82.2%	-1.6
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	87.2%	↑	83%	4.2	83.9%	83.9%	3.3
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	97.9%	↑	96%	1.7	96.0%	95.4%	1.9
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	93.9%	↑	90%	4.3	89.8%	90.8%	4.1
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	89.6%	↑	87%	2.8	83.7%	81.5%	5.9
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	86.9%	↑	82%	4.8	84.8%	86.1%	2.1
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	100.0%	↑	98%	1.9	83.9%	73.5%	16.1

1. 全体の成果について

調査項目の87% (13 / 15) が良い評価 (ア＋イ) であり、生徒は、充実した学校生活を過ごしている。

特に、「いじめ防止 (問7)」、「努力の必要性 (問11)」、「ICTを活用した授業への取組 (問15)」が成果のあった取組となっている

2. 全体の課題について

- (1) 「計画的な家庭学習 (問8)」
- (2) 「主体的な授業への参加 (問9)」
- (3) 「規範意識 (問5)」の低下が見られる

3. 課題への対応

- (1・2) 目標設定：「主体的な学びづくり」の取組
 - ▲ 計画的な家庭学習
 - ▲ 主体的、対話的で深い学びとなるような授業展開
- (3) 自治意識の高揚につながる特別活動の実施

令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(中2) ア＋イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	88.5%	↓	89.7%	-1.2	83.8%	83.8%	4.8
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	90.5%	↑	88.2%	2.3	90.1%	89.6%	0.4
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	85.6%	↑	82.4%	3.2	80.6%	81.0%	5.0
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	92.6%	↓	92.6%	-0.1	93.1%	92.0%	-0.6
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	95.7%	↑	92.6%	3.1	94.7%	93.9%	1.0
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	83.7%	↓	83.8%	-0.1	86.5%	86.3%	-2.8
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	94.7%	↓	97.1%	-2.3	96.2%	95.9%	-1.5
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	45.7%	↓	51.5%	-5.8	49.3%	52.1%	-3.7
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	78.7%	↓	83.8%	-5.1	78.5%	79.6%	0.3
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	85.4%	↑	80.9%	4.5	85.7%	84.1%	-0.3
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	97.8%	↑	89.7%	8.1	95.8%	95.0%	2.0
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	91.4%	↑	89.7%	1.7	89.4%	89.3%	2.0
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	88.5%	↑	80.9%	7.7	84.8%	81.6%	3.7
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	91.5%	↑	85.3%	6.2	84.1%	85.2%	7.4
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	97.9%	↑	95.6%	2.3	88.4%	85.0%	9.5

1. 全体の成果について

調査項目の87% (13/15) が良い評価 (ア＋イ) であり、生徒は、充実した学校生活を過ごしている。

特に、「規範意識 (問5)」、「いじめ防止 (問7)」、「ICTを活用した授業への取組」 (問15) が成果のあった取組となっている

2. 全体の課題について

- (1) 「計画的な家庭学習 (問8)」
- (2) 「主体的な授業への参加 (問9)」

3. 課題への対応

(1・2) 目標設定：「主体的な学びづくり」の取組

- ▲ 計画的な家庭学習
- ▲ 主体的、対話的で深い学びとなるような授業展開

令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(中3) ア＋イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	91.0%	↓	91.3%	-0.3	87.2%	84.9%	3.9
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	93.3%	↓	94.6%	-1.3	91.5%	90.5%	1.8
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	95.5%	↑	91.3%	4.2	83.4%	81.9%	12.0
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	100.0%	↑	97.8%	2.2	94.8%	93.5%	5.2
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	97.8%	↑	95.7%	2.1	97.0%	95.7%	0.8
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	93.3%	↑	89.1%	4.1	88.8%	86.7%	4.4
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	97.7%	↓	98.9%	-1.2	96.7%	95.5%	1.0
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	77.0%	↑	59.8%	17.2	57.4%	53.2%	19.6
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	93.3%	↑	84.8%	8.5	84.4%	82.3%	8.9
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	94.4%	↑	89.1%	5.3	88.1%	85.3%	6.3
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	95.5%	↓	96.7%	-1.2	97.4%	96.2%	-1.9
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	89.7%	↑	87.0%	2.7	91.5%	90.6%	-1.9
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	94.1%	↑	92.4%	1.7	88.8%	83.2%	5.3
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	93.2%	↑	91.3%	1.9	87.0%	86.0%	6.2
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	98.9%	↑	97.8%	1.1	89.6%	86.9%	9.3

1. 全体の成果について

調査項目の93%（14／15）が良い評価（ア＋イ）であり、生徒は、充実した学校生活を過ごしている。

特に、「学校が楽しい（問3）」、「ねばり強さ（問4）」、「規範意識（問5）」、「いじめ防止（問7）」、「努力の必要性（問11）」、「ICTを活用した授業への取組（問15）」の多くの項目に成果があった

2. 全体の課題について

（1）「計画的な家庭学習（問8）」

3. 課題への対応

（1）目標設定：「主体的な学びづくり」の取組

▲ 計画的な家庭学習

山田小	学年	平均	1学年	2学年	3学年 ↑	4学年 ↑	5学年	6学年 ↑
	評価7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価12月	3.5	3	3	4	4	3	4
	項目	○半具体物を使った操作や図式化などの可視化で自力解決の時間を取り、全体での話し合い活動。 ○チャレンジタイムや朝ドリルの時間の活用。 ○算数では、問題解決的な学習を行い児童の考えをクラスで共有できた。授業形態を変えながら対話的な学習を取り入れている。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	○聞き方名人の徹底。ペアやグループでの話し合いの有効活用 ○自分で考える時間の確保。 ○ペアやグループ学習で対話を通して互いに学ぶ活動。ペアやグループ活動の充実						
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●話し合い活動でのタブレット活用を更に進めていく。 ●児童に問いを持たせる授業を日々実践していく ●書く活動の充実と国語辞典を活用し語彙力を高める。話し合い活動を適宜取り入れ掲示資料の活用 ●話し合い活動の目的を適宜確認する。質問名人・聞き方名人の活用 ●学んだことをどのような場面で活かしていくのか、例を紹介する。 ●ペアやグループ活動から全体交流につなげる発表活動に取り組む。						

2 個に応じた指導の充実

村設定目標		○幼児児童生徒個々の実態に応じた指導の工夫 ○特別支援教育支援員の効果的な活用 ○朝学習、補習等の工夫 ○地域人材を活用した学習の実施 ○各種調査を活用した指導の工夫 ○地域学習塾との連携					
恩納村 ↓		1学年 ↓	2学年 ↓	3学年 ↑	4学年 ↓	5学年	6学年 ↑
評価 7月	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.8	3.6
評価 12月	3.4	3.0	3.0	3.5	3.3	3.8	3.8

安富祖小	学年	平均	1学年 ↓	2学年	3学年	4学年	5学年 ↓	6学年 ↓
	評価 7月	2.8	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	評価 12月	3.2	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0
	項目		○朝の校内統一した一斉漢字学習と水曜日○金曜日の漢字テスト ○特別支援教育支援員が個に応じた効果的な声かけ(活用) ○タブレットを活用しての理解度の確認 ○チャレンジタイムや補習指導の計画的な実施(ドリル○ICT機器の活用)					
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策		●個々の理解度の把握の不十分 →ミライシードの活用 →個別最適な学び					

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年 ↑	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.3	3	3	3	3	4	4
	項目		○月1回のハッピーライフをもとに、児童との話し合いや指導につなげる。 ○各種学力調査、単元テスト、プレテストの分析結果から児童の実態に合わせた対応(場の設定、課題設定) ○特別支援教育支援員の計画的な活用。 ○朝、補習の時間を活用し、学習の定着を図る。 ○総合的な学習の時間における村地域コーディネーターの活用。 ○授業と連動した宿題を出し、補習で定着の確認の実施。					
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策		●毎月ハッピーライフチェックで個別に対応し児童理解に努めていく。 ●特別支援教育支援員と各担任が連携する為の時間を確保する。 ●朝や補習の時間を活用して、既習事項の習熟や繰り返しに苦手な単元の復習を計画的に行う。 ●自己肯定感を上げるために「ボイスシャワー」や一人一人の日頃の活動を記録し褒め称え児童の次への目標に繋げられるようにする。 ●地域人材を活用した学習を実施し、指導の充実を図る。 ●授業内容(テストの分析の結果)と連動した宿題をだし、補習で学習の定着の確認をしていく。					

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年 ↑	4学年	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	2.8	3	3	2	3	3	3
	評価 12月	3.3	3	3	4	3	4	3
	項目		○支援員や特支担当と連携を図り個別対応を行った。(1、2、3、4年) ○個々の児童の特性の理解(2年) ○補習の工夫(欠席等の遅れ)(2年) ○放課後、隙間時間の補習(4、5年)					
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策		●既習事項の定着が弱い為、朝学習や補習を活用する。(3年) ●引き続き、支援員と連携した個別対応の工夫を行う。(1・2・4年) ●地域人材活用などの年間計画を立てる(5年) ●全国学調結果活用の指導の工夫(6年)					

山田小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	3.7	3	3	4	4	4	4
	評価 12月	3.7	3	3	4	4	4	4
	項目		○朝学習やチャレンジタイムで苦手な部分の強化。放課後の個別学習 ○落ち込みがあった子への補習。課題を視覚化し、分かりやすくする。 ○社会や総合的な学習で地域人材(博物館職員)を活用して恩納村めぐりを実施。 ○総合学習で、村社会福祉協議会と連携して福祉体験を実施。 ○総合(環境)で、赤土流出防止についての講話を実施。(赤土協議会) ○総合、国語、道徳など地域の人材を活用しながら学を深める。					
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策		●個に応じた指導の充実を継続していく。 ●放課後の個別学習の充実により、学習の基礎基本の定着を図る。 ●チャレンジタイムや放課後で個別指導を実施。 ●朝学習の時間やチャレンジタイムを活用した個別指導。 ●「分からない」が言えない児童への対応。支援員と連携し個別指導を行う。 ●地域人材活用を年間計画に位置付け、次年度も実施する。					

村設定目標 ○図書館教育全体計画に則った指導の充実 ○第3日曜日「家庭の日、ファミリー読書」の推進	
恩納村 ↑	1学年 ↓ 2学年 ↑ 3学年 ↑ 4学年 ↑ 5学年 6学年 ↑
評価 7月	3.2 3.5 3.0 3.3 3.3 3.0 3.0
評価 12月	3.3 3.3 3.3 3.5 3.5 3.0 3.3

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年 ↑	5学年	6学年
	評価7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価12月	3.2	3	3	3	4	3	3
	項目	○授業内容と連動して並行読書を進める。 ○1年生保護者による読み聞かせ。(コロナ禍により1回実施) ○計画的な図書館利用と隙間読書の推奨。 ○図書館司書と連携し授業に関係する図書の資料提供。 ○学年児童や個の実態に応じた目標設定や課題設定。 ○読書旬間、平和月間等の行事を活用し、その時期にあった内容の本を紹介。						
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受け ての次年度への課題 と対応策	●授業内容と連動した図書の紹介を行うことができた。 ●隙間時間を利用して読書活動を行うことができた。 ●読書活動が定着し、休み時間も読書を楽しむ子が増えてきた。 ●計画的に授業内容と連動した図書の活用に努める。 ●読書の質と量の確保に努める。 ●保護者による図書の紹介を計画的に進めることができ、児童の本への関心が高まった。						

山田小	学年	平均	1学年	2学年 ↑	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価7月	3.8	4	3	4	4	4	4
	評価12月	4.0	4	4	4	4	4	4
	項目	○読み聞かせ、本の紹介、読書ビンゴなどによる読書活動の推進。 ○国語や生活科の単元と絡めた授業実践。 ○並行読書、読書月間の取り組み。 ○同じ筆者の作品を紹介(国語) ○読書旬間の取り組み ○国語「仕事の工夫見つけたよ」「はじめて知ったことを知らせよう」等で、図鑑や関連図書を活用。並行読書や作者の作品紹介 ○過ごしやすい町にする工夫(国語) ○平衡読書、本の紹介や各教科との関連						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)							
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●読書記録カードの取り組みを継続し、学習計画に位置付ける。 ●読書月間の取り組みを通して、読書に親しむ声かけや賞賛を行う。 ●単元前に図書館司書と連携し図書資料の準備。(並行読書)読書声かけ。 ●並行読書や関連本の紹介を通して、多様な種類の本に触れさせる。 ●授業の取り組み以外での児童の読書活動の充実に向けた声かけを行う。 ●学習教科と関連した読書活動の取り組みを実施する。						

村設定目標 ○授業と連動した宿題の出し方の工夫 ○予習の奨励 ○目的意識を持ち、自ら学ぶ家庭学習の定着	
恩納村 ↑	1学年 2学年 3学年 ↑ 4学年 ↓ 5学年 ↑ 6学年 ↑
評価 7月	3.2 3.5 3.0 3.3 3.3 3.0 3.3
評価 12月	3.5 3.5 3.0 3.5 3.0 4.0 3.8

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年 ↑	6学年 ↑
	評価7月	2.8	3	3	3	3	2	3
	評価12月	3.3	3	3	3	3	4	4
	項目	○教師が家庭学習のお手本を示し、学習内容の定着を図る。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	○毎日の授業と連動し、授業の中で苦手としていた問題などをドリル等も活用し宿題で定着を図る。 ○読み物教材は前もって音読の予習に取り組む。 ○手本となる児童の自主学習ノートを紹介する。 ○キャリア教育の視点に立った自主学習の奨励、自己評価チェックシートの活用。 ○家庭学習の保護者への協力依頼。						
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●低学年でも数人ではあるが、自主学習に取り組む児童がいる。 ●自主学習で「音読」に取り組む、保護者の協力もあって、単元開始までに読むことができる児童が増えた。 ●チェックシートや手引きを活用し、保護者と連携した家庭学習の充実を図る。 ●家庭学習(宿題＋自主学習)の定着に差があるので保護者への協力依頼の方法を検討していく。						

山田小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年 ↓	5学年 ↑	6学年
	評価7月	3.7	4	3	4	4	3	4
	評価12月	3.7	4	3	4	3	4	4
	項目	○授業の内容や児童の実態に合わせたプリントやがんばりノート。音読の課題 ○国語や算数の授業進度と合わせた家庭学習の設定。 ○授業と連動したの復習プリント(おたすけ)を作成し取り組ませている。 ○自分のよさを伸ばす家庭学習の推奨 ○授業の復習プリントを与える。 ○算数の教科書を読む予習の推奨。 ○授業の復習プリントを与える。 ○自学習の推奨(めあて、ふりかえり) ○係を活かした学習の工夫。						
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●保護者と連携し、児童の家庭学習の習慣化に努める。 ●自立学習での取り組み案の提示 ●自立学習へ計画の仕方やめあて・振り返りの指導・支援 ●自分で計画を立て学習ができるよう、めあて・振り返りの記入 ●引き続き、自立学習を推奨し予習の大切さにも目を向けさせる。 ●自学ノートの紹介を通して児童同士の交流につなげる。						

村設定目標		○将来の夢や希望を育む学習の設定 ○職場見学○職場体験学習の実施による勤労観 ○職業観の育成 ○当番活動、児童会、生徒会活動の充実 ○幼児児童生徒に「学ぶ意義」を実感させる工夫 ○部活動の奨励					
恩納村 ↑		1学年 ↑	2学年	3学年	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
評価 7月	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
評価 12月	3.3	3.3	3.0	3.0	3.3	3.8	3.5

安富祖小	学年	平均	1学年 ↑	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.3	4	3	3	3	3	4
	項目		○自己目標の設定やふり返りの実施 ○一人一役の係活動や当番活動の充実、活動時間の確保 ○キャリアパスポートの作成・活用					
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)		●主体性をもって取り組む → キャリアパスポートの活用					
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策							

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.5	3	3	3	4	4	4
	項目		○一人一役の役割を与え、勤労観や責任感を意識づける。 ○キャリアを意識した体験学習の充実。 ○道徳の時間を活用した。将来の夢や学習をはぐむ場の設定。 ○専門的な立場から話を伺えるよう地域人材を活用した校外学習の計画。 ○各学期のめあてや目標を立たせ、達成に取り組む。(振り返りも) ○班活動を中心とした当番活動の実施。					
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)		●キャリアパスポートを活用し、各学期の目標を立て、振り返りを行うことで自分の行動を評価することへつなげることができた。					
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策		●地域人材等を活用する際には、キャリアを意識した授業づくりを行う。 ●地域人材や校外学習を充実させ、教科横断的に学習に生かしていく。 ●自己評価の低い児童が数名いるので自信を持たせ自己肯定感を高められるよう活躍の場を設定する。 ●中学校を見据えた児童への意識改革を行う。					

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.2	3	3	3	3	4	3
	項目		○お手本ファイルの作成、形成プリントの活用。(1年) ○授業と運動した内容のプリント(2、4年) ○家庭学習の定着に重点を置いて指導(3年) ○目的意識を持たせた学習(5年)ICTの活用(5年) ○めあて、振り返りの記入					
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策		●体験活動を通し地域で働く人の様子を知らせる(2・5年) ●自己肯定感が低い子が多いため、学期のめあてや活動ごとのめあてを振り返ることを必ずおこない、できるようになったことを認める(3年) ●活動の目的意識をもたせ、振り返りを行う(1・4年) ●児童会の企画・準備・実施の時間の確保(6年)					

山田小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.2	3	3	3	3	4	3
	項目		○清掃や係の活動の振り返り。 ○キャリアパスポートの活用。 ○夢やめあてを考えワークシートに書いた。係り活動は、活動に差がみられた。 ○係活動、当番活動の振り返りの時間を確保。 ○係り活動を振り返る場を設定。 ○月に2度の意欲的にできるような係活動の話し合い場を設定。					
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策		●各行事でのめあての確認やの日記をとおしてふりかえりを実施する。 ●生活や学活を中心とした学級作り ●当番や係活動は、意義や必要性を話し合う。学習や行事の取り組みはめあて・振り返りの継続実施 ●活動の振り返りを行い、さらに充実した活動にするためには？児童に考えさせ、行動させる ●今学習していることが将来にどのように繋がっているのか考えさせる。 ●児童会を中心に自治的活動の推進に努める。					

村設定目標		○学習環境の充実 ○規範意識、マナーの向上 ○支持的風土の醸成 ○生活リズムの確立					
恩納村 ↑		1学年	2学年 ↑	3学年 ↑	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
評価 7月	3.0	3.0	2.8	2.8	3.3	3.0	3.0
評価 12月	3.3	3.0	3.0	3.3	3.3	3.5	3.5

安富祖小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.2	3	3	3	3	3	4
	項目	○学習規律の徹底(学習の準備、返事、ベル席等) ○「安富祖っ子よい子の一日」の確認、保護者への協力依頼 ○レインボー7(24時間時計)の作成と活用、ふり返りの実施						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●生活リズムの確立 → 保護者との連携協力						
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策							

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.2	3	3	3	3	3	4
	項目	○恩納村実践7項目を意識した教育活動の実践。 ○恩納小授業スタンダード、学年共通実践を教師間、児童と確認し徹底。 ○ベルスタートができるよう早めの声かと号令の取り組み。 ○児童の居場所づくりを意識した細やかな声かけと保護者との連携 ○率先垂範を意識した児童の活動。 ○学習環境の充実に向けて、様々な教材、教具の準備、掲示行い児童が意識するようにする。 ○誰もが発言しやすい学級、授業づくり						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●恩納村授業実践7項目を基にした恩納小スタンダードの共通実践の徹底を図る。 ●ベルスタートが定着しつつあるが、まだまだ声かけが必要である。児童自身が時刻を意識し、行動できるようにしていきたい。 ●きまりは何のためにあるのかを考えさせるなど、日常から意識して行動できるようにする。 ●児童が安心して学ぶ環境を作るため、支持的風土のある学級経営を行う。						
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策							

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	2.8	3	3	2	3	3	3
	評価 12月	3.2	3	3	3	3	4	3
	項目	○学習規律(聞く姿勢・授業に向かう姿勢)の徹底(1、6年) ○タイムマネジメントの充実(2年)学習規律の徹底(2、3、4、5年)安心して過ごせる支持的学級の風土(2年)児童同士の他者理解(2年)						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●継続的な日常の指導とボイスシャワーの実践。居場所作り(1年) ●生活リズムが整っていない子がいるので、就寝時間を意識させる(24時間時計等の活用)(3年) ●学習規律、タイムマネジメント、支持的風土の醸成、他者理解(2・4年) ●学習規律の徹底(6年)						
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策							

山田小	学年	平均	1学年	2学年 ↑	3学年 ↑	4学年	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	3.0	3	2	3	4	3	3
	評価 12月	3.5	3	3	4	4	4	3
	項目	○道徳の内容「きまりをまもろう」と関連して実践し、定期的に振り返る場を確保。 ○学習規律や学校の過ごし方の指導や授業「学活や道徳」を実施。できている子の褒め、がんばりを認めた。 ○聞き方名人の徹底(あいうえお) ○山田スタンダードの活用。学習や生活の毎月の振り返りの実施。 ○毎月の生活振り返りや学活、道徳などの内容実践。 ○山田スタンダードの徹底。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●生活リズムの確立に向けて保護者との連携・協力体制を構築していく。 ●学習規律やマナーが定着するまで、粘り強く意義を伝えていく ●山田スタンダードや話し方・聞き方名人を確認する。保護者への啓発 ●山田スタンダードや話し方名人・質問名人の確認。生活リズムの確立に向けた保健指導。 ●電話やメモ等で児童の様子を伝え、保護者と連携を図っていく。 ●毎月の生活調査を徹底し、生活リズムの振り返りを継続する。						
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策							

村設定目標		○年間指導計画に基づいた一貫指導の充実 ○幼小中乗入れ授業の実施 ○異年齢集団による学習活動の展開 ○生活規律、学習規律の幼小中一貫した指導の工夫 ○幼小中の連携した校内研修の充実					
		1学年 ↑	2学年	3学年 ↑	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
評価 7月	2.5	2.3	2.8	2.3	2.5	2.5	2.8
評価 12月	2.8	3.0	2.8	2.5	2.8	2.8	3.0

恩納小	学年	平均	1学年 ↑	2学年	3学年	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年
	評価7月	2.3	2	3	2	2	2	3
	評価12月	2.8	3	3	2	3	3	3
	項目	○行事等での連携を密に図る。○幼稚園教諭による児童の授業参観の実施。 ○新1年生を学校案内する計画や準備を児童が中心となり取り組む。 ○すてき運動、GOGOファイブ週間の振り返りと日々の実践。 ○1年生の手伝いや低学年の見本となるような行動を意識させる。 ○中学校を意識した授業づくり。○中学生の職場体験と児童を結びつけた指導。						
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受 けての次年度への課題 と対応策	●幼稚園児・1年生を招待し、2年生児童が中心となり交流する予定である。計画的に準備を進め、児童の成長と学校生活への意欲を持たせる場作りに努める。 ●GoGoファイブ週間後の振り返りを徹底する。 ●各行事、クラブ活動、他学年との交流授業等で異学年交流が行えたことで、休み時間も一緒に遊ぶ姿が見られ、安心できる学校生活へとつながっている様子が伺える。 ●中学校とのつなががないので、進学や将来の話をするのが難しい。 ●中学生の職場体験を自分事として考えられるよう意識させる。						

仲泊小	学年	平均	1学年 ↑	2学年	3学年 ↑	4学年	5学年	6学年
	評価7月	2.5	2	2	2	3	3	3
	評価12月	2.8	3	2	3	3	3	3
	項目	○校内研・生活科で低学年交流、幼稚園との交流(1年) ○隣学級での共通理解や交流(2、3年) ○職員連絡会での情報共有(4年) ○1年生のお世話(6年)						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)							
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●異年齢での交流が少ないため、朝活・清掃を縦割りにしたり授業での交流を行ったりする工夫が必要(1・2・3・5年) ●中学校との連携、交流(6年)							

山田小	学年	平均	1学年	2学年 ↑	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価7月	2.0	2	2	2	2	2	2
	評価12月	2.2	2	3	2	2	2	2
	項目	○今後のコロナの状況を見て異学年や幼稚園との交流予定。 ○幼小での指導事項を一致させる。 ○春の遠足で4年生と合同レクを実施。 ○臨学年でのレク大会の実施。クラブ活動 ○クラブ活動(異年齢集団) ○縦割り班での活動、3学期は中学校との連携を図る予定。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)							
	2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●隣学年と協力し、行事や生活科の単元を進める ●隣学年と協力し、行事や生活科の単元を進める ●隣学年と協力して運動会や持久走大会 ●遠足などの取り組み ●運動会での隣学年と協力した取り組み。 ●学校行事を活用した他学年との交流や連携を意図的に計画する。 ●児童朝会での縦割り活動を継続し、児童会行事を継続実施する。						

(6) 恩納村学推実践7項目の評価(恩納村立うんな中学校)

能1 の基礎 的・活 基 本 的 な 力 の 識 育・成 技	評価\教科	国語 ↓	社会 ↑	数学 ↑	理科	英語
	評価7月	3.2	4	3	3	3
	評価12月	3.4	3	4	3	3
	項目	○個やペアでの「学び合い」活動を積極的に取り入れている。 ○振り返りを学級全体で共有する時間を持っている。 ○「振り返り」の視点を3学年で統一し、80～90文字で取り組ませている。 ○めあて、まとめ、振り返りを明確化している。 ○単元計画(シラバス)を配布して、見通しを持たせている。 ○章テスト、単元テスト、再チャレンジテストを実施している。				
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●タブレット等(メタモジ)を活用し、書くことが苦手な生徒の支援、発表が苦手な生徒に対しての支援を行う。 ●PCタブレットを活用した授業では学び合いやひかひか学びにつながる授業展開に改善が必要。 ●教科会や校内研修、個人研鑽を充実させ、実際生活に近い言語活動を多く実践する。 ●授業内での評価問題、振り返り問題を毎回実施し、1時間で学んだことが定着できたかを見取る工夫をする。				
2 個に 応じ た 指 導 の 充 実	評価\教科	国語	社会	数学	理科 ↑	英語
	評価7月	2.8	3	3	2	3
	評価12月	3.0	3	3	3	3
	項目	○PCドリル学習(ミライシード等)を活用して、生徒個々人の能力に合わせて、基礎・基本問題、発展・応用問題に取り組ませている。 ○ALTを活用して、発展・応用問題に取り組ませている。 ○学習に遅れがちの生徒の情報共有を支援員と綿密に行っている。 ○再チャレンジテストを実施している。○各種検定の対策をしている。 ○諸調査の問題を活用した授業を実践している。				
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●漢字の定着にミライシードをもっと活用していく。(ドリル) ●再テストを実施しているが、再テストを受ける生徒の学習支援を行う時間の確保が難しい。 ●単元テスト対策の充実、その後の再チャレンジテストの充実を図り、基礎・基本の定着を図る。 ●再チャレンジテストの受検する機会を増やす。(週時程や補習の時間の活用)				
3 読 書 指 導 の 充 実	評価\学年	1学年	2学年	3学年		
	評価7月	3.7	4	4	3	
	評価12月	3.7	4	4	3	
	項目	○朝の会が早く終わった時や課題が早く終わった時のすき間時間に読書を積極的に奨励している。 ○教育相談月間と並行して実施している。				
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●帰りの会や授業で図書館を活用して読書の奨励を行う。				
充4 実 授 業 と 連 動 し た 家 庭 学 習 の	評価\教科	国語	社会 ↑	数学	理科 ↑	英語
	評価7月	2.8	3	3	2	3
	評価12月	3.2	3	4	3	3
	項目	○授業と直接連動した予習や復習、各種テストや発表テストと連動した課題を与えている。 ○授業で活用したワークシートや副教材を、予習・復習として宿題にした。 ○タブレットドリル(ミライシード)を活用している。				
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●ミライシードの宿題配信機能をもっと活用する。 ●授業と連動したタブレットドリルやワークシートを宿題としているが、取り組みえない生徒があり、意欲を高める支援が必要。 ●課題に取り組む意義や達成感等々を感じさせるための工夫を行う。 ●取り組みえない生徒への声かけ、手立ての工夫。(週時程や補習の時間を活用し、取り組みへの支援を行う)				
5 キ ャ リ ア 教 育 の 充 実	評価\学年	1学年 ↑	2学年	3学年 ↑		
	評価7月	3.3	3	4	3	
	評価12月	4.0	4	4	4	
	項目	○本村、本校特有の課題を解決する学習 ○進路ノートを活用したキャリア教育 ○全学級で統一した学習規律と学ぶ姿勢の心得 ○職場体験を実施し、望ましい勤労観・職業観の育成に努めた。				
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●村事業との連携により充実しており、更に深められるように連携するとともに小学校との系統的な計画が必要。				
6 学 習 を 支 え る 力 の 育 成	評価\学年	1学年 ↓	2学年	3学年 ↑		
	評価7月	3.3	4	4	2	
	評価12月	3.3	3	4	3	
	項目	○PCタブレット使用のマナー指導 ○2分前入室、1分前着席、3秒礼の徹底 ○学年委員を活用しての声掛け ○職員の統一した声掛け、指導 ○道徳や学活の時間等も活用し、支持的風土づくりに努めた。 ○フオーサイトを活用し、生活リズムの確立、見通しを立てて計画的に行動できる生徒の育成に努めた。				
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●休みがちな生徒の欠席要因として生活リズムの乱れが考えられる。保護者・家庭と連携した取り組みが必要。				
7 幼 小 中 一 貫 教 育 の 徹 底	評価\学年	1学年	2学年	3学年		
	評価7月	2.0	2	2	2	
	評価12月	2.0	2	2	2	
	項目	○総合的な学習の時間において、恩納村の課題を解決。 ○年度末に行われる、各小学校との引継ぎ				
	学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●新型コロナウイルスの影響で交流が難しい部分もあった。中学校見学については3学期に実施予定。				

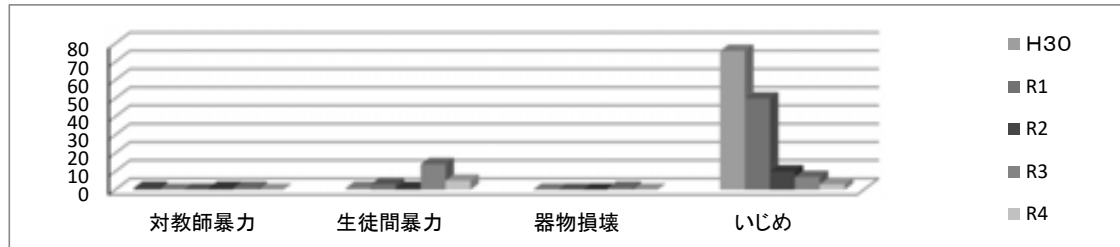
(7) 問題行動等及び長期欠席者等に関する実態

1 問題行動等の発生件数(過去5年間の推移)

※ R4は令和4年11月末日現在

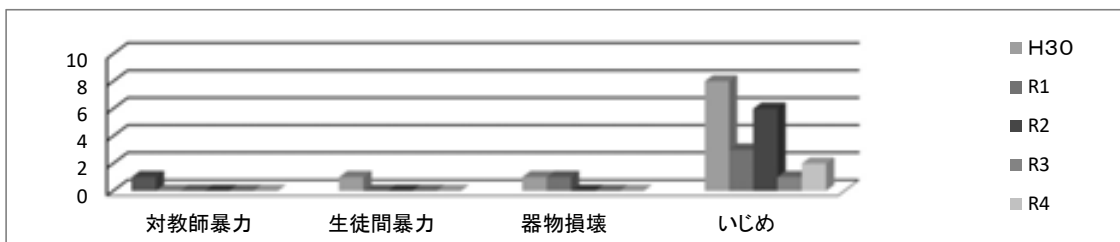
(1) 小学校

	対教師暴力	生徒間暴力	器物損壊	いじめ
H30	0	1	0	76
R1	0	3	0	50
R2	1	1	0	10
R3	1	14	1	7
R4	0	5	0	3



(2) 中学校

	対教師暴力	生徒間暴力	器物損壊	いじめ
H30	0	1	1	8
R1	0	0	1	3
R2	0	0	0	6
R3	0	0	0	1
R4	0	0	0	2

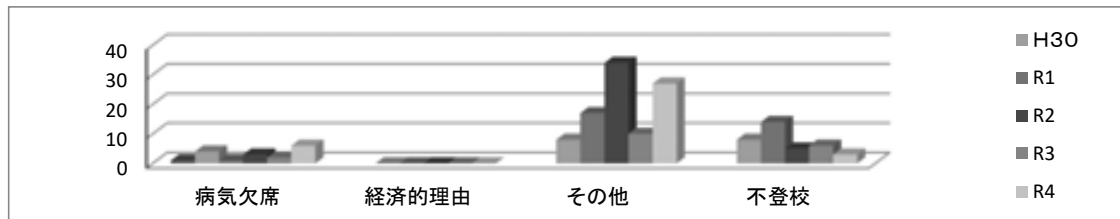


2 30日以上欠席者数

※ R4は令和4年11月末日現在

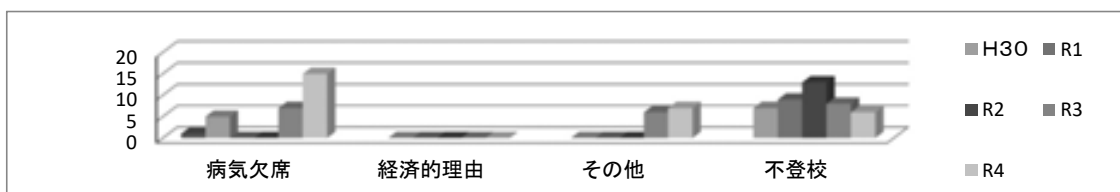
(1) 小学校

	病気欠席	経済的理由	その他	不登校
H30	4	0	8	8
R1	1	0	17	14
R2	3	0	34	5
R3	2	0	10	6
R4	6	0	27	3



(2) 中学校

	病気欠席	経済的理由	その他	不登校
H30	5	0	0	7
R1	0	0	0	9
R2	0	0	0	13
R3	7	0	6	8
R4	15	0	7	6



(8) 泳力調査(令和4年度)

1 小学校(泳法:小3～5は自由、小6はクロールか平泳ぎの得意とする方)

学年	性別	泳げない		泳げる				泳げる子の割合(%)		
		5m未満	5m～25m未満	25m～50m未満	50m～100m未満	100m～200m未満	200m以上	男女別	学年別	県平均(R3)
3	男子	15	24	4	2	0	0	13.3%	11.7%	19.3%
	女子	10	42	3	3	0	0	10.3%		14.7%
4	男子	2	28	13	3	1	1	37.5%	31.4%	33.7%
	女子	7	33	11	2	0	1	25.9%		26.8%
5	男子	1	22	12	6	5	9	58.2%	54.1%	50.0%
	女子	1	26	16	6	1	4	50.0%		37.9%
6	男子	0	6	9	4	3	22	86.4%	72.6%	61.5%
	女子	3	14	6	1	3	13	57.5%		52.2%

2 中学校

① 平泳ぎ

学年	性別	泳げない		泳げる				泳げる子の割合(%)		
		5m未満	5m～25m未満	25m～50m未満	50m～100m未満	100m～200m未満	200m以上	男女別	学年別	県平均(R3)
1	男子	1	14	4	5	6	10	62.5%	51.0%	57.5%
	女子	8	24	13	3	5	3	42.9%		42.4%
2	男子	2	9	3	7	11	11	74.4%	69.2%	73.4%
	女子	5	16	12	16	3	9	65.6%		54.0%
3	男子	2	7	2	4	4	27	80.4%	72.9%	84.3%
	女子	1	13	6	1	4	14	64.1%		64.6%

② クロール

学年	性別	泳げない		泳げる				泳げる子の割合(%)		
		5m未満	5m～25m未満	25m～50m未満	50m～100m未満	100m～200m未満	200m以上	男女別	学年別	県平均(R3)
1	男子	1	8	11	7	8	6	78.0%	64.2%	60.5%
	女子	1	24	16	9	3	1	53.7%		53.3%
2	男子	1	8	11	10	6	7	79.1%	76.2%	73.0%
	女子	0	15	20	16	5	2	74.1%		64.6%
3	男子	0	5	4	18	5	11	88.4%	90.4%	86.0%
	女子	1	2	13	6	4	14	92.5%		72.9%

Ⅲ 各学校の教育活動の実績

- 1 安富祖小学校
- 2 喜瀬武原小学校
- 3 恩納小学校
- 4 仲泊小学校
- 5 山田小学校
- 6 うんな中学校



1. 令和4年度 恩納村立安富祖小学校 教育活動の実績

月	名称	成績	学年 児童生徒名
9	母の日図画・作文コンクール	優秀賞	4年 幸地 結我
		佳作	1年 宇江城 彩
		佳作	1年 荻堂 すみれ
		入選	1年 荻堂 すみれ
		入選	1年 兼箇段 叶愛
		入選	1年 杉本 メリア
		入選	1年 照屋 彩智
		入選	1年 當山 想來
		入選	1年 元 孝
		入選	1年 松茂良 琉依
		入選	1年 宮城 琉桜
		入選	1年 柳 華愛
		入選	1年 與儀 泰清
		入選	1年 吉井 千波流
		入選	4年 嘉納 瑠花
		入選	6年 嘉納 美桜
10	令和4年度「家庭の日」絵画・ポスターコンクール	優秀賞	1年 照屋 彩智
		優秀賞	4年 嘉納 瑠花
10	学校給食会創立60周年記念事業「学校給食」に関する図画工作	佳作	3年 當山 清風
11	令和3年度恩納村学校給食作文・ポスター・標語コンクール	最優良賞	6年 与儀 陽季(標語の部)
		優秀賞	1年 照屋 彩智(標語の部)
		優秀賞	2年 宮城 琉美(標語の部)
		優秀賞	2年 漢那 湊音(ポスターの部)
		優秀賞	2年 當山 清風(作文の部)
		優秀賞	4年 宮城 乃菜(作文の部)
		優秀賞	5年 比嘉 紗那(標語の部)
		優秀賞	6年 松川 小桜(作文の部)
11	令和4年度恩納村「あいさつ運動」標語	最優秀賞	2年 喜納 真理
		最優秀賞	5年 松茂良 咲来
		優秀賞	1年 松茂良 琉依
		優秀賞	1年 兼箇段 叶愛
		優秀賞	2年 伊佐 元斗
		優秀賞	3年 外間 小雪
		優秀賞	3年 宮里 楓花
		優秀賞	4年 名城 朱莉
		優秀賞	4年 漢那 希叶
		優秀賞	4年 嘉納 瑠花
		優秀賞	4年 幸地 結我
		優秀賞	5年 伊是名 結芽
		優秀賞	6年 草薙 美月
		優秀賞	6年 松川 小桜

11	第70回全琉小・中・高校図画作文書道コンクール	佳作	1年 照屋 彩智(図画の部)
		佳作	1年 宮城 琉桜(図画の部)
		佳作	1年 荻堂 すみれ(図画の部)
		佳作	3年 外間 秀(図画の部)
		佳作	6年 加藤 莉愛(図画の部)
		佳作	4年 宮城 乃菜(作文・散文の部)
11	令和4年度 中部地区読書感想文・画コンクール	優秀賞	2年 新垣 優和(感想画・指定図書の部)
		優秀賞	3年 外間 秀 (感想画・自由図書の部)
		優秀賞	4年 幸地 結我(感想画・自由図書の部)
		優秀賞	6年 松川 小桜(感想画・指定図書の部)
11	第39回沖縄市小学生バドミントン大会(混合ダブルスBクラス)	3位	4年 外間 正己 5年 外間 陽翔
11	MOA美術館沖縄県児童作品展	銀賞	6年 松川 小桜(絵画の部)
11	第39回全九州小学生選手権大会(男子5年生以下シングル)	第4位	5年 外間 陽翔
12	令和4年度日本漢字能力検定	6級合格	6年 荻堂 裕羅
		6級合格	5年 外間 陽翔
		7級合格	5年 比嘉 紗那
		8級合格	4年 荻堂 里嵐
		10級合格	2年 重久 陽樹
12	令和4年度日本数学検定	7級合格	5年 宇江城 湊
		8級合格	5年 山口 颯也
		10級合格	2年 荻堂 葵斗
12	第32回琉歌大賞	入選	5年 松茂良 咲来
		入選	5年 山口 颯也
		入選	6年 幸地 克樹
		入選	6年 草薙 美月
		入選	6年 當山 涼功
		入選	6年 荻堂 裕羅

令和4年度 恩納小学校児童の活躍

内 容

第60回 母の日 図画・作文コンクール

【作文の部】

(特賞):2年 池原 心希

(優秀):5年 池原 心海

【図画の部】

(佳作):3年 池原心愛 5年 池原心海

令和4年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

【ポスターの部】

県知事賞:いけはら ここの

令和4年度中部地区児童・生徒科学作品展

(銅賞):1年 佐々木 優成

村童話お話し大会学校代表

・低学年の部:池原 心愛 高学年:池原 心海

沖縄県全島緑化県民運動ポスター原画コンクール

(優秀賞):5年 當山 紗彩

全沖縄少年少女空手道大会

(優良賞):眞壁 力斗

恩納村学校給食作文・ポスター・標語コンクール

【作文の部】(低学年)

(最優秀賞):1年 池原 心希

(優秀賞):3年 池原 心愛

(高学年)

(最優秀賞):5年 新井 愛陽

【ポスターの部】(低学年)

(最優秀賞):3年 池原 心愛

(優秀賞):2年 坂元 日彩

(高学年)

(優良賞):4年 山城 由愛

:6年 山城 礼里

恩納村「あいさつ運動」標語

【低学年の部】

(優秀賞):1年 玉代勢 姫愛、宮崎 佳澄、2年 工藤 瀧也、新崎 楽琉、大城 瑛子

:3年 大城 ひなた、仲松 温

【高学年の部】

(優秀賞):4年 與那嶺 心春、5年 屋嘉部 大盛、白井 椿喜 6年 宮城 歩、並里 隆良

【特別支援の部】

(優秀賞):1年 伊波 蒼一朗、2年 當山 結斗、山中 貴、與儀 隼大 4年 瀬良垣 紅愛

:5年 新崎 楽斗、呉屋 良久、當山 康輝、仲本 晃基 6年 具志堅 誇空

中頭地区読書感想文・感想画コンクール

【中学年の部】

感想文 課題図書

(優秀賞) 池原 心愛

感想画 自由の部

(優秀賞) 2年 仲本 晴貴 6年 特別支援 具志堅 誇空

(優秀賞)特別支援 2年 新崎 楽琉

指定の部

(優秀賞) 6年 山城 礼理

いっしょに読もう新聞コンクール

(学校奨励賞) 恩納小学校

MOA美術館児童作品展

【絵画の部】

(銅賞) 2年 高江洲 樹季

第70回全琉小中高校図画作文書道コンクール

【書道の部】

(優秀賞) 3年 池原 心愛

(優良賞) 1年 いけはら ここの 6年 糸数 百花

【作文 散文の部】

(優良賞) 1年 いけはら ここの

【図画の部】

(優良賞) 5年 新井 愛陽

水難事故防止ポスター

(優秀賞) 6年 石川 楓華

恩納村教育の日 善行少年表彰 小6 山城 礼理

令和4年度 恩納村立仲泊小学校 教育活動の実績

月	名称	成績	学年 児童生徒名
6	令和4年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール	優良賞 入選	3年 久高 みやび 1年 みなとがわ せな、しんざと さら
6	算数検定	10級 9級	3年 金城 佑風 3年 平安名 芽花
8	日本漢字能力検定	6級 7級 8級 9級 10級	新里 百花、知花 心澄、比嘉 七音、宮坂 鈴 新里 奏太、富着 琳々娃 玉城 結伍 儀間 聖空 宮坂 慈朗 喜納 佑飛、玉城 稜太、金城 利久斗
11	全琉小中高校図画作文書道コンクール	最優秀賞 佳作 佳作	2年 たなべ しゅう 2年 きんじょう たくむ、おおしろ とわ 3年 山城 結愛
11	中部地区読書感想文感想画コンクール	入選/文 入選/画	1年 島袋 ゆかり 1年 勅使河原 このか
12	令和4年度恩納村あいさつ運動標語コンクール	優秀賞 優秀賞 優秀賞 優秀賞 優秀賞 優秀賞	1年 久田 夏音、勅使河原 このか 2年 田邊 周、玉城 稜大 3年 上間 美緒、久高 みやび、古世子 愛冬 4年 中村 にこ、儀間 聖空、瑞慶覧 朝仁 5年 中村 寿梨、玉城 菜那瀬 6年 古波蔵 沙菜
12	令和4年度恩納村給食作文・ポスター・標語コンクール	最優秀賞	5年 金城 佑空
12	水難事故防止ポスター	優秀賞	3年 浜元 清浪
12	教育の日関連表彰	善行児童賞	6年 久高 壘
1	第60回「沖縄教育版画コンクール」	佳作 入選	2年 ひらい かなた 4年 瑞慶覧 朝仁 1年 やましろ そうた 、 まちだ ゆあ みやぎ あゆめ 、 しんざと さら しまぶくろ ゆかり 、 たまき ふうか なりそこ いくみ 、 きんじょう はうる ちねん あい 、 なかむら きょうすけ てしがわら このか 、 みなとがわ せな おおしろ ふうか 、 くだ なつね 2年 たまき りょうた 、 なかとくもり こうじゅん きんじょう はうら 、 まちだ あいる まつもと ふみや 、 ドロビアラ はくと あふそ ここね 、 まつだ ななお おおしろ とわ 、 きな ゆうひ いは るい 、 きんじょう たくむ おおやま るい 、 おおしろ うめ まつだ なおや 、 たなべ しゅう なかむら あおは 、 きんじょう りくと 4年 當山 にこ 、 田中 美空 、 仲徳盛 寛仁 浜元 清春 、 長浜 梨彩 、 中村 にこ 山城 颯介 、 町田 幸愛 、 富着 竜気 富着 弘登 、 島袋 あかり、中村 琉心愛 古波蔵 秀 、 儀間 聖空、下村 侍玄ジャスパ 6年 石川 氷基 、 當山 航琉 、 北村 悠太 新里 百花 、 宮城 旺楓 、 知花 心澄 勝矢 崇太 、 田中 瑛士 、 金城 樹利亜 比嘉 音七 、 町田 恵矢 、 古波蔵 大志 富着 琳々娃 、 久高 壘 、 平安名 盛夢 大城 夢叶 、 仲徳盛 寛大 、 新里 奏太 山城 大成

令和4年度 教育活動の実績(山田小学校)			
	名 称	成 績	氏 名
第70回 全琉小・中・高校 図画・作文・ 書道コンクール 優秀(2人) 優良(12人) 佳作(19人) 	優秀賞	3年 永瀬 なお(作文) 4年 金城 希歩(書道) 阪口 芳恵(書道) 5年 イーマン喜衣(書道) 6年 島袋 莉子(書道)	
	優良賞	1年 かねしろ おとは(書道) 2年 上間 七海(書道) 上間 日々紀(書道) 3年 塚本 日向(図画) 永瀬 なお(書道) 4年 長濱 暖人(書道) 吉本 一弥(書道) 宮平 海璃(書道) 5年 兼城 有花(書道) 吉田 兼晨(作文)	
	佳作	1年 よしもと かな(書道) 3年 塚本 日向(書道) 上地 南空(書道) 4年 比嘉 一穂(図画) 阪口 芳恵(図画) 5年 塚本 旭(図画) 宮平 怜奈(図画) 長濱 詩央(書道) 上原 由彩(書道) 鈴木 惺也(書道) 金城 歩愛(書道) 中村 優人(書道) 吉田兼晨(作文) 6年 田港 海咲希(図画) 宮平 芽依(書道) 兼城 百花(書道) 棚原 結愛(書道) 山内 涼悟(書道)	
令和4年度恩納村学校給食 作文・ポスター・ 標語コンクール (標語の部)	最優秀賞	1年 饒波 勘太郎	
	優秀賞	4年 比嘉 こころ	
令和4年度恩納村学校給食 作文・ポスター・ 標語コンクール (ポスターの部)	優秀賞	6年 竹田 ふく	
令和4年度恩納村 あいさつ運動 標語コンクール	最優秀賞	1年 松本 妃叶	
	優秀賞	1年 渡嘉敷 大智 久貝 琉愛來 2年 田港 菜月妃 吉田 慶二郎 3年 安田 夏凜 渡邊 泰耀 4年 金城 希歩 松井 ひなた 5年 駒村 百花 吉田 兼晨 6年 古波蔵 咲乃華 ケンヒネン 和ジョシュア	
令和4年度 漢字検定 (第1回7月)	7級	5年 佐久川 莉愛 宮平 陽大	
	8級	5年 宮城 太翔	
	9級	3年 新垣 勇乃介 4年 金城 希愛 大嶋 涼寧	
	10級	2年 古波蔵 咲希菜 仲座 一颯	
第90回 全国書画展覧会 (書写の部) 	特選	3年 永瀬なお 堀内 颯人 5年 イーマン喜衣	
	金賞	3年 糸数 蓮華 伊波 凜空 上地 南空 河原 あにた 中村 星羅 安田 夏凜 山城 怜緒 5年 上原 由彩 金城 歩愛 鈴木 惺也 渡慶次 美月 長濱 詩央 安田 林檎	
	銀賞	3年 阿部 航人 上原 ありす 島袋 巧望 スミス イザベル 竹田 壮志 仲座 愛琉 宮平 りん 山城 英真 渡邊 泰耀 東恩納 煌 5年 新垣 日南人 新垣 結悠 兼城 有花 喜友名 優馬 金城 心 菜 佐久川 莉愛 棚原 慶介 饒波 清志郎 宮平 怜奈 吉田 兼 晨 伊波 凜藍 上間 月音 河原 りあな 駒村 百花 鈴木 咲来 棚原 絵夢 比嘉 温也 南崎 琉星 宮平 陽大 吉田 凜生 仲宗根 陸斗	
	銅賞	3年 新垣 勇乃輔 宮城 旭 仲宗根 光翼 5年 糸数 蓮音 宮城 太翔 東恩納 玲 塚本 旭 比嘉 悠菜 比嘉 琳太 吉田 希琉丸	
	入選	5年 金城 永珠	

 第90回 全国書画展覧会 (画の部)	金賞	1年 久貝 愛來 佐久川 花 比嘉 悠里
	銀賞	1年 阪口 弓恵 竹田 紗椰 棚原 良 渡嘉敷 大智 2年 上間 七海 上間 日々紀 川上 航汰 島袋 昊太朗 仲宗根 昊希 又吉 沙羅
	銅賞	1年 兼城 音花 神谷 瑠羽 喜友名 晴空 金城 一心 櫻場 ひなの 鈴木 さくら 棚原 心ノ介 饒波 勘太郎 松田 愛叶 松本 夢叶 ファーガソリアム義 宮里 琥也 宮平 優希菜 吉本 圭那 松本 妃叶 2年 阿嘉 すみれ 金城 芹那 島袋 颯 仲座 一颯 仲本 颯人 饒波 祭 深見 健蔵 山城 琉歌 吉田 慶二郎 ライオン愛桜ハメラ 金城 愛笑
	入選	1年 大城 郁 島袋 恭伍 2年 金城 歩夢 金城 桃愛 ケンビネン琉可ヨハネス 古波蔵 咲希菜 田港 菜月妃 山川 実咲 山城陽翔 山城 芽依 吉山 航世
MOA沖縄県児童作品展	銅賞	3年 永瀬 なお(書写)
令和4年度 恩納村 教育の日表彰	善行 児童	6年 棚原 結愛
第72回 社会を明るくする運動 作文コンテスト	優秀賞	4年 金城 希歩
第70回 全琉小・中・高校 図画・作文・ 書道コンクール	優秀賞	3年 (作文) 永瀬 なお 4年 (書道) 金城 希歩 阪口 芳恵 5年 (書道) イーマン喜衣 6年 (書道) 島袋 莉子
	優良賞	1年 (書道) かねしろ おとは 2年 (書道) 上間 七海 上間 日々紀 3年 (書道) 永瀬 なお (図画) 塚本 日向 4年 (書道) 長濱 暖人 吉本 一弥 宮平 海璃 5年 (書道) 兼城 有花 (作文) 吉田 兼晨
令和4年度中部地区 読書感想文・感想画 コンクール	優秀賞	4年 竹田 珠 金城 有海妃 6年 兼城 百花
	入選	1年 金城 一心(自由) 宮里 琥也(指定) 2年 仲本 颯斗(自由) 3年 山城 英真(自由) 山城 伶緒(自由) 永瀬 なお(指定) 4年 吉山 翔悟(自由) 5年 饒波 清志郎(自由) 吉田 凜生(指定) 6年 古波蔵 咲乃華(自由)
令和4年度 英語検定	4級	5年 河原 りあな 吉田 兼晨
	5級	5年 イーマン喜衣 宮平 陽大



月	日	大会・検定名等	成績	学年・生徒名
4	23	第 25 回中頭地区中学校春季選抜バドミントン競技大会	男子団体 3 位	3 年 湊倖多 山城功補 當山稜卓 石川來空 大嶺愛斗 内間友都 2 年 中塚正太郎
5	1	第 7 3 回沖縄陸上競技選手権大会	女子 B 1 0 0 m 3 位	3 年 金城かりの
5	14	第 4 4 回沖縄県中学校陸上競技選手権大会	女子 2・3 年走高跳 1 位 女子 1・2 年 8 0 mH 1 位 女子 2・3 年四種競技 1 位 女子共通 1 0 0 mH 3 位 女子 2・3 年 1 0 0 m 3 位 男子 2・3 年 棒高跳 4 位 女子共通 4×100m リレー 6 位 女子 2・3 年 4 0 0 m 7 位	2 年 金城麗璃 2 年 金城麗璃 3 年 又吉南海 3 年 又吉南海 3 年 金城かりの 3 年 桐野あらた 1 年 玉城梓恵菜 2 年 金城麗璃 3 年 金城かりの 又吉南海 3 年 金城かりの
5	22	第 6 回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」	音楽部門 県教育長賞	2 年 古波蔵雅
5	29	第 60 回母の日図画作文コンクール	図画の部 優秀賞 〃 佳作	3 年 大城花歩 1 年 池原心寧
6	5	第 49 回中頭地区中学校バドミントン競技大会 〃 〃 〃	男子団体 準優勝 男子シングルス 優勝	3 年 湊倖多 山城功補 當山稜卓 石川來空 大嶺愛斗 内間友都 1 年 石坂咲太朗 3 年 湊 倖多
6	19	第 49 回中頭地区中学校軟式野球大会	準優勝	野球部
6	12	第 49 回中頭地区中学校ソフトボール大会	女子の部 3 位	女子ソフトボール部
7	2	第 3 回沖縄県中学校ダンスコンテスト	ビック部門 銅賞	ダンス部
7	7	日本漢字能力検定	準 2 級	3 年 伊藤藍梨菜
7	8	実用英語技能検定	準 2 級	3 年 東江 旭
7	9	第 64 回沖縄県中学校水泳競技大会	男子平泳ぎ 100m 3 位 男子平泳ぎ 200m 2 位	2 年 山本朝日 〃
7	9	第 57 回沖縄県中学校女子ソフトボール大会	女子の部 ベスト 8	女子ソフトボール部
7	17	第 42 回沖縄県中学校夏季陸上競技大会	女子低学年 80mH 1 位 女子共通 4 × 100m R 2 位 女子総合得点 1 位	2 年 金城麗璃 1 年 玉城梓恵菜 2 年 金城麗璃 3 年 金城かりの 又吉南海
7	23	第 68 回全日本中学校通信陸上競技大会 OKINAWA	男子共通棒高跳 1 位	3 年 桐野あらた
7	29	第 42 回沖縄県中学校バドミントン競技大会	男子シングルス 3 位	3 年 湊 倖多
7	30	中頭地区北ブロック中学校野球大会 1 年生の部	優 勝	野球部 1 年生
8	4	第 57 回タイムス杯争奪全沖縄ゴルフ選手権大会	レディース A の部 優勝	3 年 玉城 豪華
8	7	中頭地区北ブロック中学校野球大会 代表の部	優 勝	野球部
8	12	第 26 回沖縄県民ゴルフジュニア選手権大会	中学女子の部 3 位	3 年 玉城 豪華
8	16	第 10 回全日本小中学生ダンスコンクール九州大会	中学生オープン参加の部 金賞	1 年 古河 聖梨（チーム）
8	27	第 53 回全沖縄ジュニア陸上競技大会	女子 U16 走高跳 1 位(大会新) 女子 U16 走高跳 5 位 女子 U16 100mH 4 位 女子共通 4 × 100mR 5 位 女子 1 年 100m 8 位	2 年 金城麗璃 3 年 又吉南海 3 年 又吉南海 1 年 玉城梓恵菜 2 年 金城麗璃 3 年 金城かりの 又吉南海 1 年 玉城梓恵菜
8	28	〃		

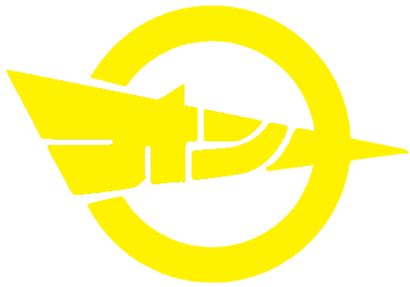
月	日	大会・検定名等	成績	学年・生徒名
9	5	第37回沖縄県少年の主張中頭地区大会	優良賞	3年 桃原 心菜
9	9	中頭地区英語スピーチ大会	最優秀賞	3年 ラゾウド バルキス
9	11	第31回地区中学校新人シングルスバドミントン競技大会	女子シングルス2年生の部 3位	2年 外間 莉杏
9	19	第49回中頭地区中学校陸上競技大会	共通男子800m 1位	3年 ノヴァック 生坐耶
			共通女子 走高跳 1位	2年 金城 麗璃
			共通女子400mR 2位	3年 金城 かりの 又吉 南海
				2年 金城 麗璃 1年 玉城 梓恵菜
			共通女子200m 3位	3年 金城 かりの
		共通女子100m 3位	3年 金城 かりの	
9	22	中学校英語弁論大会沖縄県大会	最優秀賞	3年 ラゾウド バルキス
9	27	R4沖縄県愛鳥週間ポスター	優秀賞	1年 石坂 咲太郎
10	7	中頭地区中体連軟式野球競技	投手 優秀選手賞	3年 濱元 未緒
			内野手 優秀選手賞	3年 イーマン 琉海
10	15	第64回沖縄県中学校陸上競技大会	女共通4×100mR 3位	3年 金城 かりの 2年 金城 麗璃 1年 玉城 梓恵菜 宮平 夏亜
			男共通棒高跳 3位	3年 桐野 あらた
			女共通走高跳 2位	2年 金城 麗璃
10		沖縄県学校給食会創立60周年記念事業「学校給食」に関する図画作品	佳作	3年 又吉南海
11	1	第70回全琉小中高校図画作文書道コンクール（書道の部）	最優秀賞（1）	3年 桃原 心菜
			優良賞（4）	1年 長濱 日菜太 2年 浜元 杏奈 3年 又吉 南海 3年 加蘭 桃子
			佳作（5）	1年 古河 聖梨 2年 山内 柚乃 2年 永瀬 にこ 2年 仲本 瑠留 3年 伊波 璃音
		第70回全琉小中高校図画 作文書道コンクール(図画の部)	最優秀賞	1年 上間 結衣菜
			優秀賞	1年 ノヴァック 真里 1年 鈴木 凜 3年 仲松 愛彩 3年 知花 喜喜
		第70回全琉小中高校図画作文書道コンクール（絵画の部）	優秀賞	3年 大城 花歩 3年 大城 知穂
11	10	第2回日本漢字能力検定	準2級合格	3年 山田 虹音妃
11	11	第2回実用英語技能検定	2級合格	3年 ラゾウド バルキス
11	12	第33回中頭地区中学校意見発表大会	最優秀賞	3年 又吉 南海
11	12	令和4年度県全島緑化県民運動ポスター原画コンクール	最優秀賞	3年 比嘉笑里
			入選	1年 饒波 千
11	12	沖縄県全島緑地県民運動ポスター原画コンクール	最優秀賞	3年 比嘉 笑里
11	18	高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論決勝大会出場		3年 ラゾウド バルキス
11	20	第90回 全国書画展覧会（書道の部）	特選（3）	3年 桃原 心菜 3年 又吉 南海 3年 加蘭 桃子
			金賞（7）	1年 古河 聖梨

11	20	第 9 0 回 全国書画展覧会（書道の部）	金賞	1 年 津波古 優香 2 年 永瀬 にこ 2 年 山城 さくら 2 年 浜元 杏奈 2 年 山内 柚乃 3 年 伊波 璃音
			銀賞（9）	1 年 吉田 らん 1 年 山城 令愛 2 年 山本 朝日 2 年 新里 琉美 2 年 宮平 篤仁 2 年 金本 海穂 3 年 松島 瑠亜 3 年 上地 珠寧 3 年 比嘉 笑里
			銅賞（5）	2 年 並里 隆生 2 年 佐久川 尚人 3 年 吉田 有花 3 年 松島 瑠来 3 年 松茂良 興世
11	23	第 30 回読谷村教育長旗争奪沖縄県中学校ソフトボール大会	女子三位	女子ソフトボール部
11	27	新人ダブルスバドミントン競技大会	男子ダブルス 三位	石坂 咲太朗 山城 裕太郎
12	1	R 4 学校給食コンクール ポスターの部	最優秀賞	2 年 浜元 杏奈
			優秀賞	3 年 桃原 心菜
			優良賞	1 年 高江洲 桜千愛
		R 4 学校給食コンクール 作文の部	最優秀賞	2 年 安富祖 怜
			優秀賞	2 年 永瀬 にこ 3 年 根路銘 国仁
		R 4 学校給食コンクール 標語の部	最優秀賞	1 年 中平 翔太
			優秀賞	2 年 比嘉 穂乃 2 年 岡 陽太
		R 4 恩納村あいさつ標語コンクール	最優秀賞	2 年 深松 琉郁
			優秀賞	1 年 當山 心菜 1 年 浅尾 恭輝 1 年 鈴木 凜 2 年 瑞慶山 志帆 2 年 駒村 拓海 3 年 田邊 蒼 3 年 町田 宗紀
12	4	第 47 回沖縄県アンサンブルコンテスト	クラリネット三重奏 銀賞	2 年 呉屋 由利亜 2 年 山城 さくら 1 年 新垣 乃彩
			管楽六重奏 銅賞	2 年 城間 香乃 2 年 名城 亜美 2 年 新里 琉美 2 年 伊波 美桜莉 2 年 知花 嘉嘉 1 年 宮城 菜那花
12	11	ハイビスカスカップ第 11 回小中学生ゴルフ伊江島大会	優勝 スコア 6 1	3 年 玉城 豪華
12	12	第 23 回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール	那覇海上保安部長賞	3 年 知花 喜喜
12	21	水難事故防止ポスター石川警察署審査会（中学生の部）	優秀賞	3 年 又吉 南海
2		第 32 回「琉歌大賞」	大賞（1）	3 年 湊 倖多
			優秀賞（5）	2 年 安富祖 怜 3 年 伊藤 藍梨菜 3 年 大城 花歩

2		第 32 回「琉歌大賞」	優秀賞	3 年 島袋 紗月 3 年 山城 琉音
			入選（12）	1 年 當山 奈野羽 1 年 饒波 千 1 年 東野 夏姫 2 年 津波古 真輝 2 年 佐藤 琉童 3 年 伊佐 はるな 3 年 今村 心優 3 年 ラゾウド バルキス 3 年 内間 友都 3 年 比嘉 うら来 3 年 東江 旭 3 年 伊波 璃音

恩納村の村章・村花・村木

昭和48年5月15日制定



(村 章)

円は平和を表わし左右に鋭く延長して
平和の中にも恩納村の飛躍発展の姿を
象徴したものである。



(村 花)

ユウナ 和名・オオハマボウ アオイ科
「黄色のなごやかと香りで平和と純真を
表わす。」



(村 木)

フクギ(福木) オトギリソウ科
「村の融和と団結によって平和で無限に
繁栄する常緑色」

チャレンジ！自主学習チェックシート(4・5月)

<目標 (内容や時間など)>
15分間しっかり
しゅう中する!!

恩納小学校
5年1組
名前

日付 学習した時間	学習時間(分)		学習したこと(○)	保護者 サイン
	予定	実際		
4月24日(日)	15分	17分	■宿題の復習() ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
4月27日(水)	15分	30分	■宿題の復習() ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
5月1日(日)	15分	13分	■宿題の復習() ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	父
5月3日(火)	15分	30分	■宿題の復習() ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント(○) ■その他(○)	父
5月8日(日)	15分	13分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
5月9日(月)	15分	14分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
5月10日(火)	15分	15分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習(○) ■プリント() ■その他(○)	母
5月11日(水)	15分	15分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
5月12日(木)	15分	13分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	父
5月13日(金)	15分	13分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
5月16日(月)	15分	17分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
5月17日(火)	15分	10分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
5月18日(水)	15分	13分	■宿題の復習(○) ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習(○) ■プリント() ■その他(○)	母
5月19日(木)	15分	17分	■宿題の復習() ■教科書の復習・予習() ■音読() ■ドリルの復習・予習() ■プリント() ■その他(○)	母
2週間の合計	実際の取り組み ()分		【2週間のふりかえり】	